

官報

號外

明治二十七年五月二十四日 木曜日 內閣官報局

第六回 衆議院議事速記録第七號

明治二十七年五月二十三日(水曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第七號 明治二十七年五月二十三日

午後一時開議

- 第一 (甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二 (乙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第三 (丙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第四 (丁)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第五 (戊)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第六 (己)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第七 (甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第八 (乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第九 (丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十一 國稅徵收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十二 明治二十二年勅令第四百十一號第一條改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十三 明治二十三年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十四 東京砲兵工廠据置運轉資本増加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十六 府縣非常土木費國庫補助法案(林有造君外三名提出) 第一讀會

第十七 震災地方未納地租延納法案(小室重弘君外八名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 諸君、例ニ依ッテ報告ヲ致シマスル

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治二十三年法律第二十五號中追加法律案

國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スル法律案

政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

東京砲兵工廠据置運轉資本増加ニ關スル法律案ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也

明治二十七年五月二十二日 內閣總理大臣伯爵伊藤博文

明治二十三年法律第二十五號中追加法律案ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也

明治二十七年五月二十三日 內閣總理大臣伯爵伊藤博文

貴族院ニ於テ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案ヲ否決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

島根縣石見國濱田港ニ於テ朝鮮貿易ニ關スル船舶出入及貨物積卸許可法律案

- 提出者 恆松 隆慶君 園山 勇君
- 並河理二郎君 佐々田 戀君
- 山田東次君

電話事業ニ關スル建議案

北海道ニ鐵道ヲ敷設シ及港灣修築ニ關スル建議案

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

帝國醫科大學ニ於ケル腦脊髓病治療ニ關スル建議案

輸入棉花關稅免除法律案

地租條例改正法律案

衆議院議員選舉法改正法律案

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案

特別委員左ノ通り指名セリ

陸軍召集旅費支出ニ關スル法律案審查特別委員

請願委員會ノ特別報告ニ係ル地租引當米過剩金下戻ノ請願審查特別委員

郡制改正法律案外一件審查特別委員

質屋取締條例改正法律案審查特別委員

佐々木正藏君

東尾平太郎君

議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマスル

中島祐八君

工藤行幹君

板倉中君

柏田盛文君

秋山忠夫君

古莊嘉門君

長谷川泰君

神鞭知常君

長谷場純孝君

木暮武太夫君

加藤六藏君

山田東次君

高田早苗君

蒲生仙君

坂本理一郎君

○中村彌六君(九十七番) 此場合ニ當リマシテ一ノ動議ヲ提出致シマシテ先

決問題トナサムコトヲ希望致シマス、ソレハ今日ノ此鐵道問題デゴザイマス、

是ハ議院ノ内外ヲ問ハズ隨分重要ナル問題ニ致シテ種々運動モ致シマシタル

コトハ皆知レ渡ツタルコトデゴザイマス、而シテ其中ニ於キマシテ最モ重キ

ヲ置キマスルノハ官設鐵道デゴザイマス、故ニ短期ノ間ニ於テ此多々ナル鐵

道問題ヲ議決致シマスルニハ成ル丈迅速ニ運ブ方法ヲ執ルガ宜シイト思フ、

最モ議論等ノ多イノハ第一項ノ議案デゴザイマス、即チ官設鐵道ニ關スル案

デゴザイマシテ、願クハ私設ニ關シマスル所ノ鐵道案ヲ先ニ議シマシテ、サ

ウシテ此第一項ノ甲號議案ヲ後トニ廻ハシテ議スルコトニ致シタレバ自然

議事モ相摺取ルヤウニ考ヘマス、此事ヲ先決問題トシテ提出致シマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○小室重弘君(二百二十一番) 贊成シマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 九十七番中村彌六君ノ動議ニ此第一ノ議案ヲ鐵道ノ案

ノ結末ニ廻ハシテ議事日程ノ變更ヲ致シタイト申ス、之ニ贊成ガアルヲ以テ

第一 (甲)鐵道比較線路決定ニ關スル 第一讀會ノ續(特別委員)

○佐藤里治君(二番) 此比較線ノ決定ノ八王子ヨリ云々ト云フコトニ就イテ

委員會ハ原案ヲ可ト致シマシタルノデゴザイマス、原案ヲ可ト致シマシタルノ

デゴザイマスルカラシテ、委シイ説明ハ要セヌト考ヘマスルケレドモ、諸君ノ

御參考ニ供スル材料モゴザリマセウト考ヘマスルカラシテ之ヲ可ト認メマシ

タ理由ヲ單簡ニ申上ゲマス、此八王子甲府間ノ比較線路ハ御殿場甲府間ト云

フ一項モゴザイマスガ、八王子甲府間ノ此一年ノ豫算デゴザイマシテ

政府カラ提出シマシタルモノヲ見マスト九百八十九萬四千二百十三圓ト云フコ

ス、ツレハ八王子甲府間ノ其再調査ノ結果ニ依リマス、此あぶと式ヲ避ケルタメニ隧道ヲ長ク穿チマシテ、ツレカラ線路ヲ迂回シマシタメニ工費ガ百五十万圓程増額スル結果ニナツテ居リマス、此比較線路極メマスルニハ此八王子カラ參リマスルツレコトハ非常ナ工費ヲ要シマス、ツレデ御殿場ノ方ヲ取リマスル工費半額以內テ出來マスルノデゴザリマスケレドモ、此御殿場ノ間ニモ十三哩程ノあぶと式ガアリマス、隨分此線路モ困難ナ線路デゴザイマスノミナラズ、抑々中央線ヲ定メマシタ目ハ重ニ國防上軍事ニ必要ト云フノガ要點ニナツテ居ルノデゴザリマシテ、此御殿場ヲ經過スルツレコトハ此八王子中線ヲ選ビマシタ趣旨ニ適ハヌト云フ點ガゴザリマスノデアリマス、ツレガタメニ此八王子線ト云フモノモ甚ダ此費額ノ増加致シマスル點ニ於キマシテハ吾々モ好マヌ所デアリマスケレドモ、止ムヲ得ヌ八王子ヲ可ト認メマシタ、又經濟ト云フ點ニ就キマシテノミ選定ヲ附ケマスレバ、寧ろ御殿場ヨリモ比較線ニハナツテ居リマセヌケレドモ、岩淵線ガ甚ダ經濟ノ目的ニ適ツテ居リマス、然ルニ前段述ベマシタル通り此中央線ノ目的ハ最モ此甲府ト云フ所ニ重キヲ置キ、此甲府ト東京トノ直接ノ連絡ヲ必要ト致シタノデアリマスカラ(簡單ニヤラヌト贊成シナイゾト呼フ者アリ)詰リ八王子線ヲ可ト認メタノデアリマス、ツレカラ次ニ至ツテ木曾線、ツレカラ飯田地方ヲ經マスル線路ノ比較デゴザイマス、是ハ此木曾ト伊那線、伊那線ノ中ニモ三河線ト云フモノヲ採リマスルト一千万圓以上ノ差ガアルノデゴザイマス、又清内路線ト云フモノヲ採リマスルト殆ド四百万圓程木曾線ヨリマダ増加シナケレバナラヌト云フコトニナル、此線路ニ就キマシテハ昨年モ矢張之ヲ當局者ガ再調査ヲ致シマシテ尙ホ此外ニモ神阪線ト云フモノヲ昨年調査ヲ遂ゲタノデゴザリマス、然ルニ此神阪線ハ傾斜ガ五哩以上ノ隧道ヲ要スルツレコトヲ結果ヲ現シタ、殆ド清内路線ヨリモ四百万圓程増額ヲ爲スト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ見マスルト詰リ此木曾ヲ採リマスルト此伊那線ヲ採リマスルコトニ就キマシテハ、清内路ハ十一哩餘ノあぶと式ノアル清内路ヲ取ルトシテモ四百万圓ヲ増シ、尙ホ神阪越ヲ採リマスレバ殆ド八百万圓ヲ増スト云フ結果ニナルノデゴザリマスルガ、此事ニ就キマシテハ或ハ吾々一箇ノ考デ言ヒマスルト、此木曾ト伊那トノ關係ニ就キマシテハ縱令費額ガ増加致シテモ或ハ經濟ト云フ點ニ至リマシテハ此増額ヲスルダケノ費用ヲ償フ價ガアルヤ否ヤト云フ此線路ノ選ミ方ハ茲ニ至リマシテ經濟ト云フコトヲ能ク斟酌シタイト云フ考デ居リマス、故ニ詰リ此比較線ノ事ニ就キマシテハ成ルベク熟考ノ上ニ決定ヲ致シタイ考デゴザイマシタケレドモ、併シ差當ル所ニ依ツテ此工費ノ判斷ト線路ノ良否カラ言ヒマスルト、ドウシテモ木曾ニ打勝ツト云フコトハ出來ナイコト、考ヘテ居リマス、ツレデ先ツ此線路ハ木曾線即チ西筑摩ノ線ガ至ツテ良イノデ可ト認メマシタノデゴザイマス、此線路ノコトニ就キマシテハ一昨年以來ノ問題ニ上リマシテ又各地方ニ於キマシテモツレ、調査ヲ遂ゲ、又當局者モ再調査マデ爲シタノデゴザイマスカラシテ、既ニ諸君モ此線路ノ御判斷ニ附キマシテハ餘リ喋々ノ辯明ヲ要セズシテ最早御決斷ニナツテ居ルコト、考ヘマスカラ、唯大要ノミ簡單ニ申述ベタノデアリマス

○綾井武夫君(十一番) 委員長ニ質問ヲ致シマス、此政府ハ鐵道案ヲ緊急ノ事件トシテ議決アラシコトヲ要求シテ來ラレマシタガ、此緊急ト云フコトハ

鐵道ハ早ク架ケケレバ鐵道廳ニ於テ技師ガ餘ツテ困ツテ居ルト云フノデア
ルカ、乍チ架ケケレバナラヌト云フ必要ガアツテ出シタノカ、一應之ヲ聞
イテ、ツレカラアラトハ追々質問致シマス

○佐藤里治君(二番) 此原案ノ緊急ト云フコトハ……

○綾井武夫君(十一番) 簡單ニ申シマス、政府ハ此議案ヲ此秋ノ議會マデ待
ツコトガ出來ズ是非早ク著手シナケレバナラヌト云フ積デアアルカ

○佐藤里治君(二番) 政府委員ノ方ヘ御尋ヲスル方ガ……

○綾井武夫君(十一番) ケレドモ委員長ガツレヲ聞イタカト云フコトヲ、ツ
レヲ聞クノデス

○佐藤里治君(二番) ツレハ聞キマシタ、直ニ著手シタイト云フコトヲ述ベ
タノデ、ツレハ何トナレバ詰リ長イ年月ヲ要スルコトデアリマスカラ、成ル
タケ早クセヌト十二箇年ト云フ年限內ニ竣工セシムルコトガ出來ヌト云フコ
トデアリマシタ

○綾井武夫君(十一番) 分リマシタ、ツレカラ其次ニ問ヒマス是ハ單線デア
ルカ複線デアアルカ

○佐藤里治君(二番) ツレハ單線デアリマス

○綾井武夫君(十一番) 則チアツコハ御殿場デアツタカ一寸記憶セヌガ、東
海道線路ハ政府ハ前ニ單線ヲ敷イタタメニ今日ハ甚ダ不便ヲ感ジテ之ヲ複線
ニシタ方宜カツタト云フコトヲ聞キマシタガ、工費ノ莫大ヲ要スルガ複線ニ
置イテ後來差支ナイト云フ御見込デゴザイマス

○佐藤里治君(二番) ツレハ他日ドウ云フ形勢ヲ爲スカト云フコトデゴザイ
マスガ、隨分單線ニスラ非常ナ二千幾万圓ト云フ金ヲ要スルカラ、目下ノ狀
況ニ照シテ複線ニスル必要ハナイト認メマシタ

○綾井武夫君(十一番) ツレカラモトツ此線路ヲ第四議會デ延バシタ精神
ヲ聞クト、詰リ調査ガ不行居ノタメニ尙ホ調査ヲシテ見タイト云フコトデ延
バシタト云フコトヲ聞キマシタガ、何シロ日本デハ大キナ線路デアリマス、
所ガ其線路ノ組方ハ甲府八王子ハ政府ノ初ノ豫算ハ度々狂ツテ居ル、最初ニ
ハ三百九十万圓ト政府ガ提出シテ其後ハ四百九十万、ツレカラ後ハ九百八十
九万何千圓ト云フコトニ修正ヲシテ今日デハ一千二百萬圓ニ成ツテ居ル、斯
ノ如クスルトモウ是カラハ上ルコトガアルカナイカト云フコトヲ確メテ置キ
タイ

○佐藤里治君(二番) ツレハ私ハ御答ヲスルニ苦シミマスガ聞受ケマシタ所
ニ依リマスルト昨年——一昨年(大聲デト呼フ者アリ)調査シマシタ費用ガ
今度百五十五萬程増シマシタ、ツレハ何ゼ増シマシタカト問ヒマシタ所ガ、一
昨年ハあぶと式ト云フモノヲ以テ此連絡ヲ附ケル積デアツタ、然ルニ昨年來
調査シマシタ所デハあぶと式ヲ避ケテ四十分一ト云フ勾配デ此線路ヲでかす
ト云フ調査ガ出來タ、ツレガタメニ線路モ延ビ、費用モ増シテ百五十萬増シ
タト云フコトガ分リマシタ、其他ノ事ハ其筋ノ者ニ御聞ヲ願ヒマス

○綾井武夫君(十一番) 委員會ガ此事ニ就イテハ速記録モ御配布ニナラズ、
サウシテ原案ノ儘デアリシタ、第四議會デ不十分デアツタト云フ原案ヲ委員會
ハ其儘提出ニナツテ居ル、故ニ此等ノコトハ御取調ニナツテ居ルコト、思フ
カラ聞クノデアアル、今ノ處デハ設計ガ變ツタタメニ金ガ増シ、則チ最初三百

圓デアツタモノガ千二百萬圓ニナツテ、其儘出テ來ルト云フコトハナイ筈デア
アル、ドウ云フ譯テ斯ウ豫算ガ變更シタノデアアルカ、狂ッテ來ルノデアアルカ
○佐藤里治君(二番) 此委員會ニ於キマシテ先ツ速記録ノ事カラ諸君ノ御參
考ノタメニ申シマス、是ハ屢々速記者ヲ委員會ニ於キマシテハ請求致シマシ
テゴザリマスルケレドモ、是ハ費用ノ節減セラレタト、且ツ他ニ對シテモ
豫算委員會ノ外ハ一切速記者ヲ遣ラヌト云フコトニ決定シテ居ルカラト云フ
ノデ再三求メマシタガ、詰リ其求ニ應ゼラレヌノデアアル、ソレカラ特ニ再三
請求ノ上ニ此決定ヲシマスル前討論ヲ遣リマスル其日ニ際シテ、特ニ速記者
ヲ請ヒマシタ、午前丈ケ速記者ヲシマシタノデゴザリマス、ソレハ御廻シニナ
テ居ルト考ヘマスガ……

○綾井武夫君(十一番) モウ一ツ序ニ御尋シマス
○佐藤里治君(二番) 其豫算ノ是カラ狂フヤ否ヤト云フコトニ就キマシテハ
吾々ノ信ジテ居リマスル所ニ依レバ、其以前ノ三百萬圓カラ五百萬圓ニ飛ン
ダト云フヤウナコトハ或ハ是ハ唯當局者ガ紙ノ上デ算盤ヲ取ツタト云フヤウ
ナ計算デハナカッタト思フ、御承知ノ通り一昨々年以來——此敷設法ノ發布
以來當局者ガ實地ニ臨ンデ調査ヲシマシタ、其後ノ形勢ニ附イテドウカト申
シマスルト唯今述ベマシタ通り其設計ヲ更ヘルタメニ二百五十萬圓増シタト云
フ(綾井武夫君百五十萬圓ト呼フ)百五十萬圓増シタト云フ譯デ、増シ
タノハ則チ百五十萬圓ト開イテ居ル、其あぶと式ヲ除イテ四十分一ノ勾配ニ
變更シタタメニ百十有餘萬増シテ其後ノ形勢ハドウカト言ヘバ最早實地鎖引
キヲ遣ツテ調ベタノデゴザリマスカラ、此上ハ唯實地ノ建築ノ上ニ豫算ニ多
少ノ變更ハアラウト思ヒマスケレドモ、大ナル豫算ノ變動ハ以來ハ無カラウ
ト吾々ハ考ヘテ居ル

○綾井武夫君(十一番) モウ一ツ御尋申シマスガ、此線路ニ當ツテ居ル所
ノ彼ノ有名ナル笹子峠、是ハ委員長ガ御話ニナリマシタ通り、初ハあぶと式
ニスルモノトナツタガ、今度ハ四十分一ノ勾配ニシタ所ガ、近時私共ハ素人
デアアルカラ存ジマセヌガ、其道ニ明ルイ人カラ——或人カラ聞キマスニ隨分
四十分一ノ勾配ト云フモノハ甚シイ勾配デアアル、其勾配ハ荷物ヲ運搬ス
ル力ハあぶと式ヲ少シ改良シテ用ヒレバ却テあぶと式ノ方ガ其力ガ餘計アル
ト云フコトヲ聞イタコトガゴザイマス、ソレ等ハ委員會ニ於テ御取調ニナ
テ居リマスガ

○佐藤里治君(二番) 其事ハ比較線路ヲ決定シマスル上ニ關係ガナイノデ
アツテ、今度豫算ガ此議會ニ出テ來テ始テ設計ノ可否ヲ議スルコトニナリマ
ス、今日ハ右カラ往クカ左カラ往クカト云フ唯法律上ノ比較線ノ決定ヲスル
ノデ、設計上ノ豫算ノコトニハ議及致シマセヌ
○藤金作君(八十五番) 委員長ニ質問致シマスガ、是迄ニ私設鐵道其他決定
致シテ居ルモ後來起業ヲ致スモ資本金、ソレカラ官設ニシテ建築スル所ノ資
本金、此節委員會デ許可スベキモノト認メマシタ所ノ各私設鐵道會社ニ對ス
ル總資本金額此三ツノモノヲ合セテ何程ノ金額ニ上ツテ居ルカ、其總金額ノ
中ニ於テ外國品ヲ購入スル金額ハ何程デアアルカ、尙ホ之ヲ區分スレバ將來二
十七年ヨリ何年間ニ外國品ヲ何程ツ、買得ルモノト云フコトノ御調ガ附
イテ居リマスレバ拜聽シタイ
○佐藤里治君(二番) 次ノ議案ノコト、思ヒマスガ

○議長(楠木正隆君) 次ノ議案ノコトハイケマセヌ、第一ノ質問ヨリ外出來
マセヌ

○藤金作君(八十五番) ソレナラバ委員長ニ於テハ單ニ線路ノ優劣ヲ御審
査ニナツタモノデアリマスガ、又鐵道ト云フモノハ我日本ニ大ニ經濟上ノ關
係ガアルガ第一ニ經濟ノ關係ハ御調ハナカッタト云フモノデアリマスガ、唯
線路丈ノ審查會デアリマシタカ、ソレデアレバ他ノ議案ニ對シテ鐵道全體經
濟上ノコトハ御尋ハセヌガ、先ツ以テ右等ノコトハ我議會ニ於テ考案スベキ
コトデアラウト存ジマスカラ御調ガアツタト思ヒマスカラ御尋シマスガ、
其他ノ議案ノコトハ御調ガナイトアレバソレハ政府委員ニ御尋シマスル
○佐藤里治君(二番) 一寸——ソレハ御尤、其事ニ就イテ取調ヲシマシタ
ガ、此私設鐵道許可ト云フ方ノトキニ御答ヲシマセウ、ソレカラ豫テ參考書
トシテ私設鐵道會社ノ金額ヤ是カラ使フト云フ鐵道全體ノ金額等ハ活版ニシ
テ、鐵道調査參考書トシテ御配布ヲシテ置キマシタ、ソレヲ御覽ニナルト大
要ハ分リマス、尙ホ細イコトハ後トデ説明シマス

○加藤平四郎君(六十九番) 委員長ニ質問致シマス、私ハ全體鐵道問題ニハ
甚ダ疑問ヲ多ク持ツテ居ルモノデアアルガ、中ニ政府委員ニ質問致シタイ箇條
モアルガ、是ハ後トデ御尋スルガ、取敢エズ委員長ニ御尋シタイノハ一箇條
ニ止マリマセヌカラ引續イテ質問ヲ致シマスガ、第一ニ御尋致シマスノハ此
國家ノ大問題而カモ十一件ト云フモノヲ僅ノ日數ニ委員會ガ審查ヲ終ラレタ
ト云フコトハ私ハ甚ダ一ノ疑ヲ置ク所以デアアル、非常ノ盡力ヲ以テ爲サレタ
コトデアアリマスガ、委員會ノ經過ノ報告ハ爲スツタカ知リマセヌガ、開取
リ兼ネマシタガ、委員會ハ幾日ニ幾回開カレテ、是ダケノ審查ヲナサ
レマシタカ、是ダケノコトヲ第一ニ御尋ヲ致シマス

○佐藤里治君(二番) 委員會ハ十八日ノ夕方カラ、ソレカラ十九日ノ午前十
午後ト、ソレカラ二十日ハ日曜デアゴザリマシタケレドモ夜會ヲヤリマシテ、
二十一日ハ午前八時カラ引續イテ午後三時過迄……
○加藤平四郎君(六十九番) 前後合セテ時間ハ凡ソドノ位ニナリマス
○佐藤里治君(二番) 左様デス、時間ハ一寸算盤ヲ取ツテ見ナケレバナリマ
セヌガ五回デアゴザリマスカラ、マア凡ソ二十時間位ヤリマシタデセウ
○加藤平四郎君(六十九番) 二十時間ニ十幾通ノ議案ヲ議了スルコト、致シ
マスレバ、凡ソ平均一時間ニ一議案ヲ議了ツタコトニナリマスガ、全體是ハ
國家經濟上ニ大關係ノアルモノデアゴザリマスカラ、慎重ヲ要スルモノト考ヘ
テ居リマス、併ナガラズノ如キ僅ノ時間ニ此困難ナル問題ヲ審查シテハルト
云フハ委員長ハ初カラ此鐵道ノコトニ熱心ニシテ委員御方デアアルカラ出來タ
トハ信ジマスガ、併ナガラ尙ホ其間ニ迅速ニ斯ク仕遂ゲラレタト致シマシテ
モ私ノ疑ヲ置クモノハ國家經濟上ハ杯ノコトハ勿論委員諸君モ十分御注意ノア
ルコト、信ジテ居ル、而シテ此大問題ヲ此短縮ナル議會ニ政府ガこて、山
ノ如クニ出シテ政府ノ意モ凡ソ推測スルコトガ出來マスガ、委員會ニ於テハ
政府ノ云フ所ヲ信ジテ此短期ノ議會ニ斯ク多數ノ問題ヲ悉ク議了致シマシテ
モ、粗忽ニ涉ラズニ十分ニ將來誤リナキコトニ成シ遂ゲルコトガ出來ルト云
フ御見込デアアルヤ否ヤ之ヲ御尋致シマス

○佐藤里治君(二番) 唯今ノ御尋ハ僅ノ時間ニ澤山ノ殊ニ重大ナル此問題ヲ
遺憾ナク決スルコトガ出來テアツタカ否ヤト云フ御尋ノヤウニ聽受ケマシタ、

粗忽ニ詰り時間ガ足ラヌデアアルカラ、此決議ト云フモノハ十分是ニテ必ズ遺憾ガナイト云フ迄ニ至ラヌデアハナイカト云フ御尋ニナリマスカ

○加藤平四郎君(六十九番) ツレハ委員長ハ迅速ニ敏腕ヲ以テナサリマシタラウカラ出来ルトシテ出来ルトシタレバ十分ニ審査ヲナスツタニ違ヒナイ、其審査ヲナスツタ結果ニ於テハ此僅ニ三週間ノ議會ニ政府カラ澤山出シタ案ヲ其儘ニ通シテモ將來誤リナイト云フコトヲ期セラレルダケ、ツレハ御考案ガ附イテ居リマスカ

○佐藤里治君(二番) 成程將來ニ對シマシテ誤リガナイカアルカト云フヤウナコトハ茲デ斷言ハ出来マセデゴザリマス、ト云フモノハ鐵道ノ形勢ハ諸君モ御承知ノ通り初メヤリマシテ鐵道ヲ措ヘマス、ツレカラ又其鐵道ノタメニ大變ニ形勢ガ一變シテ來ルコトガアル、是ヨリ是ノ方ヘ敷ケバ宜カッタト追々後ニナツテ發見スルト云フヤウナコトハ往々是迄ノ形跡ニ就イテアリマスコトデ、將來ノコト、云フコトニ附キマシテ斷言シテ是ハ誤リナイト云フヤウナコトハ申上ゲ兼ネマスガ、目下ノ狀況ニ照ラシテ是ハ諸君御承知ノ通り一昨々年來吾々ガ調査スルト云フ考ヲ持ツテ居リマス、今度始テ此議案ニ接シタト云フ考デハナイノデゴザリマスカラシテ、先ヅ微力ノ及ブ丈ハ調査ヲ盡シ講究ヲモ致シタト云フ考ヲ以テ居ルノデゴザリマス

○加藤平四郎君(六十九番) 尙ホ續イテ御尋申シマス、勿論委員ハ格別ノ御盡力デ御調査ニナツタデゴザリマセウガ、唯今ノ綾井君ガ申シタ通り速記録ノ御配布モナク、其他ニ格段ニ參考ニナルベキモノガナイカラ甚ダ疑惑ニ堪ヘヌノデアアル、サウシテ第四議會ノ時ニ奧羽線ト北陸線ト二線ヲ決議ヲ致シマシテ、他ノ線路ハ第五議會ヲ期スルト云フコトデ當時否決ヲ致シマシタ、其精神ハ其時ノ政府委員ニ向ツテ種々質問ヲ致シマシタ結果ガ、政府ノ調査ハ尙ホ不十分デアアルト云フコトヲ認メテ議會デ延期ヲ決シタノデアアル、而シテ政府ガ其以來今日マデ議會ノ決議ノ精神ニ依ツテドレダケノ調査ヲ致シタレマシタガ、其以來政府ノ調査ト云フモノハ、參考書モ回ツテ居ラナケレバ吾々ガ見ル所聞ク所ニ依レバ殆ド其儘ニ打捨テ、置キタイト云フ様ナ線路杯モアル様デアアル、然ルニ今度出タ所ノ案ヲ見レバ矢張第四議會ノ時ニ調査不十分ト云フ趣意ヲ以テ決議シタ議案ヲ其儘ニ出シテ來タノデナイカト疑ハル、程ノモノデアアルガ、委員會ニ於テハ政府ニ向ツテ是等ノ點ハ十分御質問ニナツタデアラウト思ヒマス、然レバ政府ハ第四議會ノ後今日マデ其以來ドレ丈ノ調査ヲ致シマシタカ、其調査ノ結果ガドウデアアツタカト云フコトハ定テ委員會ニ於テモ御調ニナツタデアラウ、御質問ニナツタデアラウト思ヒマス、是等ノコトニ就イテ尙ホ委員長ヨリ御説明ヲ求メマス

○佐藤里治君(二番) 其事ハ委員會ニ於キマシテモ當局者ニ質問ヲ致シマシタノデゴザリマス、丁度御説ノ如ク(モウチツト大キナ聲デ願ヒマス)ト呼フ者アリ) 調査不十分ト云フノガ其比較線延期ノ理由ニナツテ居ルカラシテ、其不十分ト云フノニ對シテドレマデノ調査ヲシタカト云フコトハ質問ヲ致シマシタ、然ルニツレハ尙ホ委員コトハ政府委員カラ御答ヲ致シマセウト存ジマスケレドモ、私ノ聞キマス所ニ依リマスルト最モ此世上ノ認メテ議論ノ多ク困難トスル八王子線、之ニ就キマシテ是ニ調査ヲシテ伊那線ニ清内路、神坂、八王子甲府間ノ小佛笹子、此邊ノ地勢ニ就キマシテハ陸軍省

ニ於テモ地勢測量マデシテ居ル、鐵道廳デモ更ニ設計ヲ變更スル程ノ調査ヲシタト云フコトモ第一ニ答ヘラレテ居ル、其他ノ線路ニ就キマシテハ十分以前是ハ調査ヲ遂ゲテアツタ積リデ、然ルニ其後尙ホ各地方ノ有志者ニ於テ技師ヲ雇ヒ種々測量ヲシテ之ヲ以テ鐵道廳ニ持出シタモノガ澤山アル、ツレニ就イテモ最早以前ノ調査ガ十分デアアルト云フコトハ信セラレテアツタカラシテ、最早遺憾ノナイ調査ト考ヘテ居ルト云フコトヲ答ヘラレテアルノデゴザリマス、尙ホ委員コトハ別ニ政府委員ニ御尋ニナツタラ宜イト思ヒマス

○加藤平四郎君(六十九番) 尙ホ續イテ御尋申シマス、或ル線路ニ就イテハ政府ハ第四議會ノ決議ノ精神ヲ重シクシテ十分ツレダケノコトハ如何トナレバ第四議會ノ争ノアツタ點ニ就イテ民間ノ同業者若クハ有志者ガ調査シテ新ナル線路ヲ發見シテ鐵道局ノ調査ヲ求メテモ尙ホツレヲ調査シナカッタト云フ結果モアル、サスレバ第四議會以來今日マデニ當局者ノ所爲ニ就イテハ餘程疑ハシイコトガ澤山アルデアアルガ、委員會ハ政府ノ第四議會以來ノ舉動ニ於テ、第四議會ノ決議ノ精神ヲ重シクシテ十分ツレダケノコトハシタト云フ認デアアルカ、尙ホ政府ノ所爲ニ就イテハ信用ヲ措カナイ所ガアルト御調ニナツタデアアルカ、ツコヨ一ツ御尋致シマス

○佐藤里治君(二番) 政府ノ調査ト云フコトニ就キマシテ或ハ未ダ不十分デアアルカ、是デ十分認メタルカト云フマデニ講究ハ致シマセヌノデアアリマス、詰リ一通リノ比較線ノ決定ヲスル材料丈ハ是デハ爲シ得ルデアアラウト云フ考デ……

○加藤平四郎君(六十九番) 十分認メナイガ——政府ノ所爲ヲ十分デアアルトハ認メナイガ、先ヅ宜シカラウト云フ御考デスカ

○佐藤里治君(二番) サウデゴザイマス

○加藤平四郎君(六十九番) ツレカラ尙ホ一ツ御尋シタイノハ鐵道ト云フモノニ就イテ政府ノ方針ガ屢々變更スルヤウニ思ハレル、最初第二議會ノ時ニ政府ハ鐵道買収法ト云フ法案ヲ出シテ鐵道國有論ヲ主張サレタ、當時本員ガ政府委員ニ質問シマシタ時ニ政府ハ僅前日マデ官設ノ鐵道マデ之ヲ民設ノ會社ニ賣拂フト云フ相談迄アツタト云フヤウニ聞イテ居リマシタガ、今ハ忽チ私設鐵道マデ皆買上ゲテ國有ニシヤウト云フ——鐵道國有論ト云フモノハサウ一朝一夕ニ極メラレルモノデアナイト思フガ、此方針ハ確乎トシテ動カナイノデアアルカト聞イタ時モ、モウ今度ハ變ラヌ積リデアアルト云フコトヲ即チ玆ニ出席ニナツテ居ル松本委員ヨリ御答ニナツテ居ル、然ルニ今日ノ有様ヲ見ルト政府ハ成ル丈私設ヲ許スノ方針ヲ執ツテ居ルヤウニ思ハレマス、鐵道敷設法ト云フモノハ豫定線ハ官設アツテ、或ル場合ニ取除法ニシテ私設ニ許スト云フ位ノ趣旨デアアルノニ殆ド官設ハ廢メテ皆私設デアラス方針ノ様ニ今日ハ思ハレル、此私設ノ可否ヲ論ズルノデアナイガ、此有様カラ推シテ考ヘルト又此大會議ニ政府ハ又鐵道買収法案ヲ復ヒ持出スカモ知レナイト思フ、此等政府ノ方針ハ愈今度ハ一ツ方針デアアルカナイカト云フコトヲ委員會ニ於テ御確メニナツタカドウカ

○佐藤里治君(二番) 是ハ別ニ確メテハ致シマセヌノデス

○加藤平四郎君(六十九番) 確メハ致サレマセヌノデスカ

○佐藤里治君(二番) 左様

○丹後直平君(百二十八番) 報告書ニ間違ガアル答デスカ……

○佐藤里治君(二番) 報告書ニ間違ガアル答デスカ……

○佐藤里治君(二番) 報告書ニ間違ガアル答デスカ……

○佐藤里治君(二番) ツレハ唯今私カラ正誤スル積リデ...

○工藤行幹君(百四十五番) 私ノ御尋スルノハ唯今委員長ガ何番カノ問ニ答...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 委員會デ殊更ニ記シタノデハアリマセヌカ...

○佐藤里治君(二番) 左様デス

○大村和吉郎君(二百七十八番) 政府カラ提出ニナツタノニハ題號ハナイヤ...

○佐藤里治君(二番) スウ云フ順序ト云フコトハ議長カラ御言渡シニナツタ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) ツレニ依リマシタノデスカ

○佐藤里治君(二番) サウデス

○大村和吉郎君(二百七十八番) 此甲ト御記シニナリマシタ全線デゴザイマ...

○佐藤里治君(二番) サウデハナイ、詰リ此法律上ノ比較ハ八王子カラト御...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 是ハ政府カラ出サレタ順序デアリマス、議長カラ御陳...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 委員會デ殊更ニ記シタノデハアリマセヌカ...

○佐藤里治君(二番) 左様デス

○大村和吉郎君(二百七十八番) 政府カラ提出ニナツタノニハ題號ハナイヤ...

○佐藤里治君(二番) スウ云フ順序ト云フコトハ議長カラ御言渡シニナツタ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) ツレニ依リマシタノデスカ

○佐藤里治君(二番) サウデス

○大村和吉郎君(二百七十八番) 此甲ト御記シニナリマシタ全線デゴザイマ...

○佐藤里治君(二番) サウデハナイ、詰リ此法律上ノ比較ハ八王子カラト御...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○佐藤里治君(二番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○大村和吉郎君(二百七十八番) 岩淵ト云フモノハ甲府ニ連絡ヲ通ズル線路デゴザイ...

○伊藤大八君(四十四番) 唯今委員長ヨリ此第四議會ニ於テ政府ノ調査致シタノガ不十分ナル、故ニ調査ヲ盡シテ更ニ出スガ宜シト云フテ、是ハ否決致シタ譯ニナリテ居ルノデアル、然レニ鐵道廳デハ此比較線ノ調査ヲ更ニ致シタト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルガ、御同僚ニ鐵道會議ニ出テ居リマシタ所ガ此比較線ヲ再調査ヲ致シタト云フコトヲ鐵道會議ニ諮ラントハ未ダ一向ニ承ラナイノデアル、又委員長ニ於テモ此事ハ知ラヌダラウト私ハ察スルノデアル、鐵道會議ニハ即チ掛ケテ居ラナイト云フコトハ委員長モ御認ニナリ、吾モ知ツテ居ルノデアルガ、何レノ處デ此調査ヲ爲シテサウシテ此議會ニ出シテ參リマス時ニ委員會デ調査ヲシタト云フコトヲ言ハレタノデアルカ、其邊ノ委員長ニ於テモ十分ニ御確メニナツテ居ルコトハ、考ヘル、又八王子線ノコトニ就イテあぶと式ノ設計變更更ニ云フコトダケハ成程吾モ即チ其諮詢ヲ受ケタモノデアル、ケレドモ伊藤君ノ如キモノ或ハ木曾線ノ如キモノ即チ西筑摩線ノ如キニ就イテハ吾モ十分ニ調査ヲシテ貫ヒタイト云フコトヲ以テ、民間ノ有志者則チ技師ヲ雇フテ調査ヲシテ而シテ鐵道廳ニ再調査ヲシテ吳レト云フコトヲ屢々請願致シテ終ニ吾モ民間ガ技師ノ見タ所ノモトヲ確メタルニ鐵道廳デ調査ヲシテ吳レタ譯デアル、ケレドモ之ヲ以テ鐵道會議デソレ等ノコトニ就イテハ斯クハナク、調ヲ致シタニ就イテ更ニ是ハ伊藤君ヲ採ルコトハ出來ナイ、或ハ西筑摩線ヲ採ラナケレバナラヌト云フコトヲ御諮リニナツタルノデアル、又其外山陰山陽連絡線ノ如キ何レノ線ニ於テモ議論ノアルノデアル、又中央線ニ於テモ岩淵線ト云フモノガ宜イ線路デア、或ハ篠ノ井松本間モ宜イ線路デア、是等ノ調モ政府ニ於テシテナイ、是等ノ理由トシテアル、ケレドモ岩淵線ニ就イテハ成程篠ノ井線モ一期線上ゲト云フコトモ出テ居ル、ケレドモ岩淵線ニ就イテハ一向鐵道會議ニ掛ツテナイ、吾モ報出モ受ケナイノデアル、又成程調査ハ一期線二期線モ調査ハ致シタ、致シタケレドモ其結果ト云フモノハ御報道致ス積デア、ケレドモ承リタイ人ハ御聞キナサイ位ノモノデ、吾モハ其時ニ曰クドウカ十分ナル書類ハ要ラヌ、ケレドモ簡略ナル書類デモ御渡シ下サイト云フコトヲ言フタ、ケレドモ鐵道會議モ閉ヂテ仕舞フ、即チ今日マデ出シテ吳レテナイ、斯様ナ譯デ以テ調査ヲ致シテ之ヲ出シテ來タト云フコトハ十分私ハ承ツテ置カナケレバナラヌコト、思フノデアル、委員長閣下モ此事ハ十分ニ何ダラウト思ヒマスカラ、ドウカ御願ヒ申シマス

○佐藤里治君(二番) ツレハ一寸四十四番ニ御答シマスガ、始テ此特別審査委員會デ開キマシタ
 ○伊藤大八君(四十四番) サウデスカ、尙ホ一寸一應承ツテ置キタイ、木曾線ヲ採ツテ伊藤君ヲ捨テタト云フモノハ唯此工費ガ高イカラ木曾線ニ比シテ伊藤君ノ方ガ工費ガ高イカラ捨テタト云フノ簡單ナル理由デアリマスガ、マダ其外ニ理由ト云フモノガアルノデゴザイマスガ、一應ツレレ確メテ置キタイ
 ○佐藤里治君(二番) 先ヅ工費ガ一番ノ原因ニナツテ居ラウト考ヘマス
 ○加藤平四郎君(六十九番) 私ハ段々政府委員ニ御質問致シマスガ、先ヅ第一ニ御尋ラシタイノ近頃甚ダ驚入ツタコトデア、神戸大阪ノ間ニ複線ヲ敷クノ計畫ガ昨年來アツテ既ニ著手シテ工事モ進ンデ居ルト云フコトヲ聞イ

テ居リマス、是ハ何ノ金ヲ以テ斯ウ云フコトヲナサレルノデアルカ、之ヲ第一ニ承リタイ
 (遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)
 ○政府委員(松本莊一郎君) 加藤君ニ御答致シマスルガ、神戸大阪間ノ複線ノコトハ……唯今ノハ少シ違フカト思ヒマス
 ○加藤平四郎君(六十九番) 問題外デゴザイマスガ、私ハ此政府案ヲ議スルニ當ツテ政府ノ意ヲ確メテ置カナケレバナラヌ關係ガアツテ御尋ラスルノデゴザイマス、自ラ精神上ノ關係ガアツテ其質問ガ起ツテ來ルノデアリマス
 ○議長(楠本正隆君) 問題外——問題外ニ涉リマスルト整理上ニ大ニ困リマス

○加藤平四郎君(六十九番) ツレハ其事ハ置イテ外ノ事ヲ御尋致シマス、ツレハ私ハ議長ノ御差止ガ分リマセヌガ、ツレハ理窟ニ涉リマスカラ止メテ、更ニ他ノ方法ヲ以テ御尋致スコト、致シ、他ノ事ヲ御尋致シマスガ、免ニ角議會開ケテ居ル立憲政治ノ下ニ於テ五十萬圓デ出來ルカ、百萬圓デ出來ルカ知ラヌガ、議會ノ協贊ヲ經ナイ金ヲ以テ勝手ニ政府ガ工事ヲスルト云フコトハ不當ノコトデアラウト思ヒマス、是ハ一言シテ置キマス、尙ホ續イテ御尋致シマスルノハ先列委員長ニ御尋致シマシタケレドモ分リマセヌカツタガ、則チ政府ガ此鐵道ニ就イテノ方針デゴザイマス、今日ノ政府カラ出タ議案ヲ見マスレバ政府ハ殆ド私設ハ成ルベク許シテ官設ノ計畫ヲ減シヤウト云フ様ニモ見受ケマスガ、果シテサウデアリマスルカ、又果シテサウデアリトスレバ私設鐵道國有論ノ方針トハ又忽チ變ツテ來テ居ルガ、モウ今度ハ再ビ變リマセヌカ、ドウデアアルカト云フコトヲ伺ヒマス
 ○政府委員(松本莊一郎君) 御答申シマス、政府ハ如何ニモ國有主義ヲ以テ鐵道公債法案竝ニ私設鐵道買収法案ヲ出シタニ相違ナイ、併ナガラ帝國議會ハ之ニ大ナル修正ヲ加ヘテ即チ現行ノ私設鐵道敷設法ガ出來タト云フコトハ諸君御承知ノ通りデアリマス、其敷設法ニハ御承知ノ如ク第十四條ニ於キマシテ豫定鐵道線路中ニアルモノデモ未ダ敷設ニ著手セザルモノニシテ私設ノ出願ガアリマスレバ則チ諸君ノ協贊ヲ得テ之ハ許スコトヲ得ルト云フ條ガアリマス、決シテ政府ガ氣儘ニ方針ヲ變ヘタクモ變ヘラレナイ、則チ諸君ノ協贊ヲ經テ許スノデアリマス、ツレデ敷設法ノ精神ハ固ヨリ國家デアノ豫定線路ヲヤルト云フコトヲ正則ト致シテ居リマスカラ國有ノ方ガ多キヲ占ムル様ナ法律ニ見エマスルケレドモ、要スルニ鐵道ノ擴張ヲ早クシタイ、斯ウ云フコトガ一番ノ主眼ニナツテ居ルト信ズルノデゴザイマス、則チ全國樞要ノ地ニ早ク鐵道ヲ行ラセテ普及セシメテ鐵道ノ需用ヲ完全ナラシムルノガ國家ノ最モ急務デアリマス、ツレ故ニ若シ私設鐵道ノ出來得ルト云フコトヲ認ムル場合ニハ私設ニモ許ス、又國家ノ事業トシテモ必要ナル所ハ漸々ヤツテ行ク、斯ウ云フモノト心得テ居リマス
 ○加藤平四郎君(六十九番) 官設私設相俟ツテヤルト云フ今日ノ方針デゴザイマセウガ、此次ノ議會位ニ又鐵道買収法案ガ出ルト云フコトハゴザイマセヌカ
 ○政府委員(松本莊一郎君) ツレハ將來ノ見込デアリマスルカラ別段此處デ御答ヲスル必要ハナイト思ヒマスガ、併ナガラ丁度二年前ニ今ノ敷設法ガ出來マシテ當時ハ此處ノ所ハ官設ニシテ貫ヒタイ、此處ノ所モ官設ニシタイト

云フテ官設ノ御希望ガ多ク、然ルニ今日ハ之ニ反シテ是モ私設ニヤラウ、是モ私設ニヤラウト云フコトガ多クナツテ居リマス、焉ゾ知ラン二年後ニハ又官設ノ方ガ宜イト云フコトガアルカモ知レマセヌガ、是ハ將來ノコトニ屬シマスルカラ御答ヲスルノ限リデナイト思ヒマス

○加藤平四郎君(六十九番) モウ一ツ御尋ヲ致シマス、曩ニ第四議會ノ時ニ奧羽線ノ決定ヲ致シマシテ其後政府ハ豫算ヲ出シテ當時議會ハ政府ノ要求ニ對シテ大ニ節減ヲ加ヘタコトデゴザイマス、然ルニ政府ハ其節減ニ對シテ不同意モナク之ヲ其儘ニ受ケラレタ譯デアッタガ、其後ニ或ル鐵道ニ關係アル官途ニ居ル人ノ話デハ、尤モ私設上ノ話デゴザイマセウケレドモ、政府ノ案ニハ斯ウモ掛直ガアルモノデアアルカト云フ質問ヲシタラバ必シモ掛直ガアルト云フ譯デハナイ、先ヅ鐵道事業ト云フモノハ到底一年二年デ濟ムモノデナイ、五年七年ノ先ニ涉ル繼續事業デアアル、サウスレバ繼ギキ、金ノアルダケヤツテ見テ、ソレカラ先ハ先ノコト、詰リ足ラナカッタラバ工事が殘ルダケノ話ダカラ、今議會デ是デハイケルノイケナイト云フテヤカマシク言ッテ争フヨリハ先ヅ議會ノ決議ノ儘決シテアルダケノ金デ出來ル式ヤツテ、ソレカラ先ハ又吾々ガサウ何時マデモ其地位ニ居ラレ、ヤラ居ラレヌヤラ分ラヌト云フ話ヲシタ人ガアルト云フコトヲ聞キマシタ、是ハ一家ノ私言デゴザイマセウ、私ノ話デゴザイマセウガ、併シ此事實ヲ以テ鐵道廳ノ鐵道局ガ年來ノ方針ハ穿テ得ルト私ハ思フノデアアル、而シテ今日此事ヲ必ズ證トシテ論ズルノデハゴザイマセヌガ、政府ハ今日鐵道工事を於テハ無責任ナルコト凡ソ斯ノ如キ考ヲ以テ始終居ラレルノデアアルカ、ドウカト云フコトヲ御尋シマス

○政府委員(松本莊一郎君) 少シク唯今ノハ問題外カト心得マスガ、併シ御答辯ハ何時デモ致シマスガ、議長ノ許可ガアレバ致シマセウ

○議長(楠本正隆君) 議論ハ止メルガ宜イト思フ

○加藤平四郎君(六十九番) 御答ガ出來ナケレバ……

○政府委員(松本莊一郎君) 答ハ出來マスガ、問題外ノ御返答ヲ限リナク致シマスルハ整理上ニ差支ルト云フ議長ノ御言葉デアリマスカラ、議長ノ命ニ從フノデアリマス

○加藤平四郎君(六十九番) 政府ハ此度御出シニナリマシタ官設私設ノ總テノ線路ヲヤリマスト二期線ヲ一期線ニ繰上ゲルノモアリ、或ハ新ニ加ヘタモノモアリマスルヤウデアリマスガ、澤山ノ線路ヲ皆ヤリマスト鐵道敷設法ノ第一期ノ線路ガ是レ、第一期ノ線路ハ是レ、第一期ニハ是ダケヤリ、第二期ニハ是ダケヤルト云フ凡ソ期限ヲ定メテ區別ヲ立テ、アル鐵道ノ敷設法ノ精神ト云フモノハ無クナツテ仕舞ヒマスガ、此鐵道敷設法ニ對シテ政府ハ斯ウ云フ方針ヲ續キヤツタ以上ハ最早一期ダノ二期ダト云フコトハ構ハナイ、法律ハドウデモ宜シイト云フ考デアリマスカ、或ハ此決議ヲ經タナラバ鐵道敷設法ヲ改正デモシヤウト云フ御考デアアルカ、ソコヲ承リタイ、

○政府委員(松本莊一郎君) 政府ハ唯鐵道敷設法ノ命ズル所ニ從ツテ致スダ

ケノコトデゴザイマス

○工藤行幹君(百四十五番) 先刻委員長ニ御尋シテマダ盡キナイノデアリマスカラ政府委員ニ御尋スルノデゴザイマスガ、此案ガ議決ニナレバ此中央線此外ニ極ツタモノ、官設鐵道ニ對シテハ豫算案ヲ取調ベニ此會期ニ出ス御積デゴザイマスカ、或ハ又此會期ニハ是々ノ鐵道ハ出シ、此他ハ十二月ノ會ニ出スト云フコトデゴザイマスカ、定メシ政府ニハソレ丈ノ御見込ガアリマセウカラ、確タル所ヲ殘ラズ、此會期ニ是ガ議決ニナレバ直グニ出スト云フカ、或ハ是ハ直グニ出シ、其他ハ出ストコトガ出來ヌト云フコトカ、ソレヲ確ニ承リタイ

○政府委員(松本莊一郎君) 百四十五番ニ御答致シマスガ、御承知ノ如ク中央線ハ當比較ガ決定致シマシテモ此一期線中デ一番工事も困難デアリ、從テ工事ノタメニ一番餘計ニ年月ヲ要シマスルニ依ツテ比較線ノ決定ガ濟ミマシダナラバ、成ルベクハ此會期ニ中央線ノ豫算案ヲ提出シテ此度提出ニナツテ居リマス篠ノ井線デゴザイマス、アレガ矢張中央線ノ一部トナルベキ位ノモノデ工事ノ著手上下ウシテモ篠ノ井ノ方カラ中央線ノ中部ヲ穿ツコトガ甚ダ必要デアリマス、故ニ是等ノ豫算ハ成ルベクナラバ此會期ニ提出ニナルコトヲ望ムデ居リマス、其他ノ線路ノ義ニ附キマシテハ尙ホ追々著手順序等ガ定マリマシタナラバ、此次ノ議會ニ提出ニナル様ナコトニナラウト存シテ居リマス

○長谷川泰君(二百十七番) 一寸委員長ニ質問致シタイ、委員長ニ御尋申シマスガ、此議案ノ中ニハ官設線ガ大分アルヤウデマスガ、委員長ハ此政府ノ鐵道豫算ニ信用ヲ置カレマシタノデアリマセウカ、之ヲ御尋申シマス、定テ御調ニナリマス以上ハドレ程ノ豫算デアアルカト云フコトヲ御尋ニナツタラウト信ズル、ソレデ一寸御尋致シマスガ、例ハバ吾々ハ政府ノ鐵道豫算ニ更ニ信用ヲ置カヌ者デアアル、一例ヲ申上ゲマスレバ八王子甲府間五十哩ノ建設費ハ政府ノ提出案ニハ其建設費ハ二百九十萬圓トシテ提出サレタノデアリマス、然ルニ凡ソ一箇月ヲ經ル後之ヲ四百九十萬圓ニ修正シテ議會ニ答辯セラレタノデアアル、ソレデ政府ハ十分ニ測量ノ結果、同線路ガ意外ニ困難デアアルカラ、ソレ故ニ之ヲ九百八十九萬二千四百三十一圓ニシテ更ニ此度ノ鐵道會ニあぶと式ノ設計ヲ變更シテ四十分一ノ勾配ニシタト云フコトデ、其工費ガ千二百萬圓ト承ツテ居ル、單ニ五十哩ノ線路ニシテ豫算ガ前後ニ三度モ變レマシテ、初メ三百九十萬圓デ後ニ千二百萬圓トナツタノデアリマス、ソレデ定テ此官設線ニ附キマシテハ、此豫算ニ對シテ十分御審議ニナツタラウト思ヒマスガ、是等ノコトニ對シマシテ委員長ハ政府ノ豫算ニ信任ヲ置カレマシタノデアリマセウカ、之ヲ御尋致シマス、御答ヲ願ヒマス

○佐藤里治君(二番) 大層長イ御問デ能ク分リマセヌガ、詰リ八王子甲府間ノ豫算ニ信用ヲ置カセマシタカ、將タ不信用デアリマスカ

○長谷川泰君(二百十七番) 斯ウ云フ御尋デアリマス、政府ガ從來此鐵道ノ豫算ニ對シマシテハ猫ノ目ノ變ルガ如ク變ツテ居ル、吾々ハ信用ヲ置カヌノデアアル、此官設線ノ則チ擔當サレマシタ以上ハ審査ニナリマス際ニ其邊ニ附イテ委員長ハ十分御調デアアラウト信ズル、委員長ニ於テハ政府ノ此鐵道ノ豫算ニ對シテ信用ヲ置カセマシタカ、將タ不信用デアリマスカト云フノデアリマス

○佐藤里治君(二番) 是ハ信用ヲ置キマシタ、隨分此色ノナ材料、細カナ設計書類ニ附イテ調ベテ見マシタガ、其金ノ掛ルト云フコトハ實際分リマシタ、線路ガ惡ルイカラ金ガ掛ル、一千二百萬圓ト云フノハ成程此設計上カラ言フタナラバ此金額ハ要スルデアラウト云フコトヲ認メマシタノデアリマス

○綾井武夫君(十一番) 政府委員ニ質問ガアリマス
○千田軍之助君(百六十七番) 政府委員ニ一吋質問シタイコトガアリマス、此大阪ヨリノ和泉ヲ經テ和歌山ニ至ル鐵道……

○議長(楠本正隆君) ツレハ問題外デス
○山口千代作君(二百六十一番) 政府委員ニ質問ヲ致シマス、此鐵道法案中ノ私設會社ニ許スト云フ件ハ數箇所出テ居リマスガ、是ハ定テ御調ニモナツテ居リマセウガ、設計上遣リ遂ゲル御見込ガ政府ガ立ツテ、サウシテ是ハ許可スルコトニナツタノデアリマセウ、此前ノ鐵道會ノ時分ニハ隨分私設會社ハ或ハ中途ニシテ或ル會社ニ頼ンデ買ツテ貫ツタトカ、政府ニ買ツテ貫ヒタイトカ云フ様ニ、始テモ中途ニシテ止メルヤウナコトハ隨分アツタ事蹟モアル、然ルニ總テノ私設會社ノ願ハ是等ハ何分位ノ利子ニ當ツテ將來繼續シ得ラルル御見込デ、ドウ云フ設計ニナツテ居ルト云フコトガ政府ハちやんと御調ニナツタデゴザリマセウ、ソレ等ハ少シ私共之ヲ議スル材料ニ致シタイト考ヘマスカラ、明細ニ御説明ヲ請ヒタイ積デゴザリマス

○政府委員(鈴木大亮君) 私設會社ニ許可スルト云フ箇條ニ附イテハ問題外ノ様ニ思ヒマス
○議長(楠本正隆君) 唯今ノハ日程ノ第二ニ至ツテ御尋ナサル様ニシタイ

○山口千代作君(二百六十一番) 併シ鐵道官設ト云フ問題ガアリマスレバ問題外デハナイト思ヒマス、或ハ比較線ノ方ニ種々ノ議論ヲ是カラ胚胎シテ往カナケレバナラヌ、吾々ハ官設ニシテ往カウト云フ見込モアリ、ソレカラ私設ニシテ往カウト云フ見込モアリマス、ソレ等ヲ皆鐵道ト云フコトニ附イテハ種々材料ヲ備ヘナケレバ議スルニ困ル、鐵道ノコトハ是モ問題外、アレモ問題外ト云フコトハ私ハナカラウト思ヒマス

○綾井武夫君(十一番) 政府委員ニ質問ガアリマス、一寸之ヲ——少シ問題外ト言ハル、カ知ラヌガ、私ハ問題外トハ思ハヌ、政府委員ニ一應聞イテ置カナケレバナラヌコトガアリマス、其事ハ第四議會ニ與羽線ト北陸線ガ決定ニナツテ、政府ハ著手シテ其工事ハ今ドノ位連ンデ居リマス

(政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(松本莊一郎君) 御答致シマスガ、與羽線ノ方ハ青森ノ方カラ手ヲ邊ケマシテ本年中心ニ弘前マデハ開業ヲ致ス積デアリマス、尙ホ進ンデ碇ケ關ノ邊マデ參ツテ居マシマス、モウ一ツ福島ニ於キマシテ板谷峠ヲ經テ米澤ニ至ル方カラ著手シテ居リマス、兩方ノ端カラ著手シテ居リマス、北陸線ノ方ハ敦賀カラ手ヲ著ケテ福井ノ先キノ森田ト云フ所マデ一般ニ今工事中デアリマス

○綾井武夫君(十一番) 富山マデハ何時出來マスル積デアリマス
○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ年限ガ御承知ノ通り七箇年ニ割ツテ、初カラ豫算ガ請求シテアリマスカラ、豫算ノ線上ガ出來レバ工事ハ早く出來ル積デス

○綾井武夫君(十一番) ソレカラモウ一ツ豫算ノコトニ就イテ序ニ伺ヒマス、先刻工藤君カラ御尋ガアリマシタガ私モ甚ダ疑ヒマス、此議院法ノ第四十條ニ豫算ヲ衆議院ニ出シテ委員ガ請取ツテカラ十五日以内ニ審査シテ出ス、以內ト云フノハ二日デモ三日デモ以內デハゴザイマスガ、鐵道ノ事ハ國家重大ノ問題デアリマス、而シテ金額ニ依リマシテモ大變ナ金額デゴザイマス、之ヲ豫算委員ガ調査スルニ當ツテ或ハ今日ノ豫算委員諸君ハ立派ナ人ノ御揃デゴザリマスカラ、二日カ三日デ鐵道委員ガナサツタ様ニ直キ出來ルカハ知リマセヌガ、若シ出來ナカッタ時ニハ既ニ今日カラ當議會ハ十五日ノ日數モゴザイマセヌ、シテ見マスト當議會ダケスラモウ議決ガ出來ヌ、則チ議事ニ上ラヌト云フコトニナルト尙ホ貴族院ニ出スコトモ出來ヌ、シテ見レバ茲ニ可決シテ置イテモ豫算ガ議決ニ至ラズシテ工事ニ著手スルコトハ出來マイト思ヒマス、ソレデモ著手スル見込ガアルノデゴザイマスガ、或ハ豫算委員ガ一日カ二日ノ中ニ屹度出來ルト云フ御手心ガアルカヲ承リタイ

○政府委員(松本莊一郎君) ツレハ固ヨリ分リ様ノナイコトデゴザイマス、別ニ手心モ何モアリマセヌガ、出來得ルダケノコトヲ盡スト云フニ止マリマス
○山口千代作君(二百六十六番) 私ノハ彌々問題外デゴザイマスガ
(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(楠本正隆君) 問題外ヲ許ストドウモ限ガゴザイマセヌ——、田中正造君
○吉富簡一君(二百六十九番) 私デゴザイマスガ
○田中正造君(二百六十一番) 田中正造君ニ許シテアリマス

○田中正造君(二百六十一番) 私ハ唯今參ツタデドウ云フ質問ガアツタカ重複ナラバ止メテ仕舞ヒマス、政府ハ鐵道敷設條例ニ基イテ架ケルノデアルト云フコトヲ仰シヤツタガ、鐵道敷設條例ニ背ケテ居ル所ノ鐵道ハ——從來ノ鐵道ニ於テ鐵道敷設條例ニ背ケテ鐵道ハ必ズナイト云フコトデゴザイマスガ、是迄架ケタ從來ノ鐵道モ鐵道敷設條例ニ違ツテ居ル所ハ少シモナイト云フ積テ居ルカ——要旨ガ分ラナケレバ何遍モ申シマス、政府ハ鐵道敷設條例ニ背ケタ仕事ヲシテ居ルト云フコトヲ云ヘバ、是ハ議論ニナリマスカラ、ソレデ是迄鐵道敷設條例ニ背ケタ鐵道ハナイカ、ナイト云フ御答ガアレバソレデ宜シイ、サウシレバ更ニ質問書ヲ出シテ背ケテ居ル所ヲ質問スル、併シ此處デアナタライジメテ此鐵道法案ニ就イテお前サンヲ困ラセルノガ趣意デハナイ、唯サウ云フコトガナイト思フテ居ツテハイケンナイ、アルト思フテ居ルカ、ナイト思フテ居ルカ、お前サンハ——松本サンハ商賣人デアルトシ、私ハ素人デアアルカラ、素人ガ商賣人ニ聞クノデアアルカラ能ク分ル様ニ願ヒタイ

○政府委員(松本莊一郎君) 少シク要領ヲ得マセヌ
○田中正造君(二百六十一番) 是デ要領ヲ得ナイデハ困ル、從來ノ鐵道ガアル、其鐵道ノ中ニ敷設條例ニ背イテ居ル所ガアルト思フテ居ルカ、ナイト思フテ居ルカ

○政府委員(松本莊一郎君) 敷設條例トハ何ノコトデゴザイマスガ
○田中正造君(二百六十一番) ナニ、敷設條例ナリ法案ナリ議案ナリ(笑聲起ル)先刻來政府ノ信用ト云フモノガ大切ニアルカラ政府ノ信用ガナケレバ鐵道ノコトニ就イテモ議論ガヤカマシクナルノデアアル、信用ヲ十分置カウカト云フト、ドウシテモ置ケナイコトガ出來テ來ルノデアアルカラ、信用ヲ成ルタ

衆議院議事速記第七號
明治二十七年五月二十三日
(甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

一五七

ケ回復シテ掛ラシケレバナラヌ、彼ノ八王子線ノ如キモ能ク辯明ヲ與ヘナケ
レバナラヌ、四百萬圓ガ千二百萬圓ニナツタ初メハテ一ふる上ノ調ダ、て
ふる上ノコトヲ以テ之ヲ完全ナル説明ト思フテハ違フカラシシテ、政府ノ調
云フモノハドウモ鐵道ナリ何ナリ 本年ハソレデモ議員買収案ト云フモノ
ガ追加案ニ出ナイケレドモ(笑聲起ル)斯ウ云フコトガゴザイマス、如何ニ
モ鐵道ニ信用ヲ置カヌトキニハ困ルカラ、此鐵道法案ハ通過スル様ニ從來ノ
鐵道ノ敷設ニ就イテハ法律ニ差支ノアル所ガナイナラ、ナイト云フコトヲ其
處デ明言ガアレバ宜シ

○政府委員(松本莊一郎君) 先刻ドナマカノ御尋ニモ鐵道敷設法ヲ眼中ニ置
カヌカト云フ御尋ガアリマシタガ、鐵道敷設法ヲ遵奉シテ則チ此等ノ案ヲシ
タト云フコトヲ答ヘマシタ、ソレハ則チ此案ニ關係ガアルカラ御答シタノデ
アリマス、唯今ノ御尋ハ其以外ニ涉リマス

○田中正造君(百六十一番) 能ク取調ベテカラ答ヘルト云フノデスカ(此時
政府委員松本莊一郎君演壇ヲ降ル)是レ、知ラナイト云フノデゴザイマス

○政府委員(松本莊一郎君) 知ルモ知ラヌモナイ少シク問題外ト思フ

○田中正造君(百六十一番) 是ハ問題外デハナイ、分ラナイカ(笑聲起ル)

○吉富簡一君(二百六十九番) 分リマスルデアリマセウカ、御取調ガアルデ
ゴザイマセウカ、此官設ノ方ノ金額ハ何程ニナリマスカ、唯今ノ所デハ……

(政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(松本莊一郎君) 是モ矢張豫算ニ關係スル事ト思ヒマスカラ……
○吉富簡一君(二百六十九番) イヤ、總體デ何程ニナル御考デアリマスカ、
唯今出テ居リマスル案ノ金額ガ

○政府委員(松本莊一郎君) ソレハ中央線條ノ井線、サウ云フモノヲ併セテ
デゴザイマス

○吉富簡一君(二百六十九番) 左様

○政府委員(松本莊一郎君) サウ云フモノヲ中央線條ノ井線、ソレカラ陰陽
聯絡線ト云フ様ナモノニ鹿兒島線皆集メマシテ、是ニ既ニ成立ッテ居リマス
ル奥羽北陸線ノ二線則チ豫算モ極ッテ居ルモノ迄モ併セルト六千五百萬パカ
リニナルカト存シテ居リマス

○吉富簡一君(二百六十九番) ソレハ唯今此案ニアル所ガ可決シマシタ時分
ノ金額デアリマスカ、總體デ

○政府委員(松本莊一郎君) サウデゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 討論ヲ初メマス、大分質問ガ盡キタ様ダカラ

○綾井武夫君(十一番) 先決問題ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 討論ニ掛リマス、伊藤大八君——(此時質問ヲ求ムル
者數名アリ) 限リガナイ

○加藤平四郎君(六十九番) 質問ガ終ラヌ中ニ討論ニ掛ルトハドウカ

○福田久松君(七十二番) 今日ハ一日質問デ終ッタラドウデスカ

○綾井武夫君(十一番) 先決問題ガゴザイマス、宜シウゴザイマスカ、述べ
テ
○議長(楠本正隆君) 此議案ニ就イテ
○綾井武夫君(十一番) サウデス
○議長(楠本正隆君) 伊藤君、ドウデゴザイマス

○伊藤大八君(四十四番) 宜シウゴザイマス、先決問題ナラ宜シウゴザイマ
ス

○綾井武夫君(十一番) 私ハ此議事日程ニ上ッテ居リマスル官設ニ關スル鐵
道ハ此會期デハ延期シテ次ノ會期マデ延バスト云フ先決問題デゴザイマス、
此會デハ私設ニ關スル分ダケ議スル、其譯ハ第四議會デ之ヲ延バシマシタノ
ハ尙ホ政府ノ設計ヲ不十分ト認メルガ故ニ再調査ヲシテ出セヨト云フテ出シ
マシタ、然ルニ其儘ニナツテ此所ヘ來テ居リマス、其間御取調ニナツタカト云
フト御取調ニナツタカハ知リマセヌ、併ナガラ鐵道會議ニモ御掛ケニナラズ
委員會デモ原案ノ儘報告ニナツタ、委員長ニモドナタカ質問ガゴザイマシタ
ガ、不完全ナコトハナイカト云ツタラ、マア無イト思フト極ク不安心ナ御
答デアル、而シテ鐵道ノ事タルヤ國家重大ノ事柄ニシテ一度極リマスレバ百
年ノ大計ニ關スルコトハ諸君モ御承知デアラウト思フ、然レバ之ヲ今日唯今
議シテ仕舞ハヌナラヌ必要ガアルカト云フト今日議決シテ置カナケレバナラ
ヌト云フ程ノ急要ジャナイ、僅カ半年ヤ三月ヤ五月位ノ所延バシタ所ガ差支
ナイ、然ルニ委員會ニ於テモ亦之ヲドウシタ都合カ知リマセヌガ、速記録モ出
サズ輕々ノ間ニ出シテ、諸君等ハ以前カラ御取調ニナツテ居ルカハ知リマセ
ヌガ、私共ハ此度始テ此議會ヘ現レ出タ人間デアル、所ガ此處ニ出テ來テ此
議案ヲ議セヨ、此國家重大ナル經濟ニ關係スル問題荷メニモ一タビ可決ス
レバ六千何百萬ト云フ費用デ國家ノ經濟上ニ大恐慌ヲ起シハセヌカト云フ問
題、其問題ヲ一日二日調ベル猶豫モ與ヘズシテ置イテ委員會ガ今日報告シ
テ、今日此所デ決シヤウト云フニ至ッテハ吾々ハ委員會諸君ハ如何ナル御考デ
斯ウ云フコトヲスルカ知ラヌガ、甚ダ穩カナラヌ處置デハナイカト思フ(ひ
や)ソレ故私設鐵道ノ方ハ是ハ經濟ニ關係ハナイ(の)許スベキハ
許シタラ私設會社ガアルノデアル、其外モ間接デハゴザイマセウガ、日本ノ歲
計ノ上ニハ關係ハナイ、然ルニ今日ニ至ルマデ(の)の)ト云フ諸
君ニ聞カナケレバナラヌコトガアル、此頃迄或ハ政府ハ不信任、私ガ不信任
ト云フ動議ニ贊成シテ條約改正ナドヲサセテハ惡ルイ惡ルイト云フ諸君ガ
國家百年ニ關係スル重大ナル鐵道問題、ソレガ宜イナカ惡ルイナカ知リマセ
ヌガ、是迄吾々ガ能ク耳ニ挾ンダ鐵道廳ニ願ッテ居ル問題、其問題ニ就イテ
十分ナル審査ヲスル時間ヲ吾々ニ與ヘズシテ——吾々議員ガ二年トカ三年ト
カ出テ居ルナレバ成程調ベテモ居ラウカト云フ説モゴザイマセウガ、始テ出
テ來タモノニ二日カ三日ノ間ニ之ニ就イテ可否ヲ決セヨト云フノハ吾々ハ甚
ダ迷惑デアル、諸君ハドウデアアルカ知ラナイガ——半年位猶豫ヲ與ヘテ十分
之ニ就イテ調査ヲサセ考ヲ定メサセテ議シマシタ所ガ遅クハアルマイト考ヘ
ル、ソレ故是ハ當暮ノ議會迄延期セシコトヲ茲ニ先決問題トシテ出シマス

○工藤行幹君(百四十五番) 私モ先決問題ガアル

○議長(楠本正隆君) 伊藤大八君

○工藤行幹君(百四十五番) 私モ先決問題ガアル

○議長(楠本正隆君) 伊藤大八君

○伊藤大八君(四十四番) 私ハ本問題ニハ反對ノ演說ヲシヤウト思ッテ居
タノデゴザイマス(登壇スベシ)ト呼フ者アリ)唯今綾井君カラ先決問題ガ出
マシテ、成程至極御尤ト考フル故ニ、私ハ之ニ贊成スル趣意ヲ述ベヤウト考

ハル

○議長(楠本正隆君) 然ラバ登壇ヲ促シマスル(先決問題ニ討論ハ出來ナイト呼フ者アリ) 先決問題ハ討論ヲ許シテ宜シウゴザイマス(大岡育造君「議事日程ハ何時變更ニナリマシタ」ト呼フ) 議事日程ノ變更ハ要シマセヌ、既ニ一昨年先例モアリマス

(伊藤大八君演壇ニ登ル)

○伊藤大八君(四十四番) 是等ノ問題ニ就イテ々々スルヤウナ諸君ハ私利ヲ營マウトスル諸君ト私ハ斷定スルノデアアル(ひやく) 拍手起ル、河島醇君「伊那線ハドウダ」ト呼フ(諸君ガ望ム所ノ私設鐵道ニハ拙者ハ反對シナイノデアアル、サウ云フコトハ大賛成ヲシテ諸君ガ勝手ニ金ヲ儲ケルガ宜イワイ(笑聲起ル) 此中央線ト云フコトニ就イテハ是ハ一部ノ之ハ問題デハゴザイマセヌ(の) 諸君ガ御承知ノ如ク政府ガ執テ居リマシタ所ノ大方針ト云フモノニ大ニ關係ヲ持ツ所ノ問題デゴザイマス、決シテ是ハ京都線トカ或ハ和歌山線ト云フヤウナ區々タル一小線トハ違ヒマスルノデアアル、是ハ則チ諸君モ記憶セラレテ居ル如クニ我國ニハ中央ノ線路ガイル、中山道鐵道ト云フモノヲ拵ヘナケレバナラヌ、是ハ軍事或ハ經濟上中央線路ガ必要デアルト云フコトハ則チ明治十七年頃デゴザイマシタカ決定ニナリマシテ、彼ノ二千万圓ノ公債ヲ募ツタノデアアル、然ル所ガ此當時ニハ井上勝ト云フ鐵道廳長官ノ勢ガ蔓リマシテ、則チ陸軍ノ趣意ヲ打破ツテ、陸軍デハ中央線ハ中山道ノ線路ヲ取リタシテ、則チ陸軍ノ趣意ヲ打破ツテ、陸軍デハ中央線ハ中山道ノ線路ヲ取リタシテ、其當時ノ本會ヲ通ツテ名古屋ニ抜ケル、即チ碓氷峠ヲ通ツテ木曾線ニ依ツテ名古屋ニ抜ケルト云フ鐵道ハ出來ナイノデアアル、云フコトヲ其當時ノ内閣ニ上申セラレテ居リマス、其當時ノ總理大臣ハ唯今ノ總理大臣伊藤博文デゴザイマス、其上申書ニ何ト書イテアル、隨分中山道ノ困難ナルコトヲ説イテ東海道線ノ即チ易イ平易ナルコトヲ説イテアル、其文中ニ木曾線ヲ惡ク言フテアル

線路ノ經由スル所山腹ヲ洞シテ行クニ非レハ必ス窮谷ニ沿フテ走ル之ヲ概言スレハ全部隧道ト稱スルモ又可ナリ加旃其土地タル礪確不毛ニシテ到處窮郷僻邑ナラサルハナク接近ノ村落ニタモ相往來交通スルノ便少ナク地形ノ險工事ノ難キハ固ヨリ避ケサル所ナリト雖モ莫大ノ鉅額ヲ費ヤシテ之ヲ經營スルモ竟ニ徒勞ニ歸シ曾テ其功用ヲ見ス併セテ鐵道ノ價格ヲ失フ之ヲ譬フルニ饑者ニ鐘鼓ヲ與ヘ、饑者ニ利器ヲ借スト異ナルコトナシ況ンヤ殖産開墾ノ業固ヨリ言ヲ待タサル所ナリ

ト云フコトヲ以テ即チ中山道ニ鐵道ハ目下敷設ノ急ガナイ、故ニ東海道鐵道ニ敷設スルガ宜イト上申シテ中山道鐵道公債ト云フモノヲ二千万圓公債ヲ募ツテ、ソレヲ内閣ノ議デ直ニ變ジテ東海道線路ニ用ヒタト云フ線路デゴザイマス、然ル所ガナカク、茲ニ入ラツシヤル參謀本部ニハ是ニハ御同意ガナイノデアアル、參謀本部デハ貴族院ニ出テ居ラレル御方モアルガ、隨分參謀本部ノ長官ヲヤツテ居ル御方デ、隨分中山道鐵道ニ骨ヲ折ツタ御方ガアツタサウダ、ソレニ續イテ川上今ノ中將ハ、今ノ參謀本部次長ニナラレタ方ガ中央線ノ必要ナルコトヲ縷々説イテ、吾々ニ於テモ其説ヲ聞イタルコトハ數回デアアル、ドウシテモ我國ニハ中央ヲ貫ク所ノ鐵道ガナケレバナラヌ、故ニドウカ甲州ノ野ヲ通シテ信州ノ南部ノ方ニ通ズル所ノ線路ガ欲シイ、斯フ云フコトヲ言ハレタノデアアル、ソレ故ニソレ等ノ説ガ即チ第二議會ニ於テ勝ヲ制シタ

モノト見エマシテ、政府部内デ鐵道公債法案トナツテ現レテ來タノデアアル、其時ノ理由書ニ何トアル、諸君モ御承知デゴザイマセウガ、即チ鐵道公債法案ニハ

大體ニ就イテ其得失ヲ比較スルニ甲府ニ出テ信州ノ南部ヲ經過スル線路ハ最直線ニ近キモノナレハ

ト云フコトヲ書イテ即チ八王子カラ甲府ニ出テ、甲府カラ即チ信州ノ南部ヲ過ギテ、所謂名古屋ニ出ルト言ハレテ居ルノデアアル、斯様ナ譯ニナツテ來テ居ル所ノ線路デアアル、故ニ此鐵道廳ガ則チ軍事ニハ重キヲ置カナイ、鐵道ト云フモノハ經濟ノ一編ノモノデアアル、故ニ軍事デヤカマシイコトヲ云フテモ算盤ノ取レナイ鐵道ハ敷イテモ少シモ價ガナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ判然言ハレテ居ルト云フコトハ松本君ト雖モ心ニ問フタナレバ其實ヲ言フダラウ、併ナガラ陸軍ト云フ大キナ眼玉デ睨ニ附ケラレルト(笑聲起ル) 或ハ自分ノ信ジテ居ル所ノ説ニ枉ガテモ陸軍ノ説ニ贊成シナケレバナラヌト云フヤウナ有様ニナリハセヌカト私ハ心配スルノデアアル(笑聲起ル) 斯様ナ線路デアアル、自分ノ本心ニ問ハバ曰ク斯ウ云フダラウト思フ、中央線ハ六ヶ敷イ所ヲヤルヨリモ中央線ノ篠ノ井線ト云フノニ或ハ岩淵線ニ線ニ上ゲテ、サウシテ岩淵線ヲ先ニヤル、或ハ篠ノ井線ヲ線ニ上ゲテ中央線ノどてつばらニ工事ヲ施シテ雙方ノ工事ヲヤルガ宜シイ、斯ウ云フコトヲ言フト思フ、暗間デハ云フト思フ、表向デハ云フマイガ宜シク譯テ先ツ入込シタ線路デアアル、諸君ニ於テモ同様に處ニ考フ持ツテ居ラレ、ト思フケレドモ、吾々ハ此篠ノ井線本間ノ線路丈ハ即チ政府ガ一夜ニ作ツテ來タカ何ダカ知ラヌガ、鐵道會議ニ一夜ニ出テ來タ案ヲ以テ之ヲ線ニ上ゲタケレドモ、吾々ハ怪シム、篠ノ井線ヲ線ニ上ゲルナラバ岩淵線モ線ニ上ゲテ此方ノ鐵道ノ營養線ハ拵ヘナケレバナラヌ、是等ハ鐵道ヲ拵ヘルタメニ必要デ、甲府ニ早ク鐵道ヲ作ルタメニハ必要ナル線路デアナイカト私ハ疑ツテ居ルニ必要デ、甲府ニ早ク鐵道ヲ作ルタメニハ必要ナル線路デアナイカト直チニ前決シタ案ヲ此滿場諸君ノ前ニ出シテ前同ニ於テ理由書マデ附ケテ出シタノニ、此度ハ唯案ダケデアアル、ノミナラズ委員會ニ於テ何カ參考書ヲ要求シタ所ガ出テ來テ居ル、ソレニ附イテ出テ來テ居ルガ隨分吾々ノ思フテ斯様ナ理由ヲ附シテ貫ヒタイト云フ處ヲ抜イテ居ル、所謂得手勝手ノ調査書ガ出テ居ル、斯様ナ不親切ナルモノダノニ諸君ハ未ダ鐵道ノ事ニ就イテハ憚リナガラ經驗ノナイ諸君モ私ハアルト斷定スルノデアアル、ソレニ何ゾヤ之ヲ緊急問題トシテ直ニ議スル何ゾト云フコトハ是ハ私ハ國家ノ事ヲ輕ンズルト云フコトニ陥リハセヌカト憂フルノデアアル、故ニ是等ノ線路ト云フモノハ深ク調査ヲ要スルト云フコトニ致シテ則チ綾井君ノ説ニシテ此官設ニ關ルモノハ到底是ハ唯今議シタ所ガ直樣政府ニ於テ豫算ヲ持ツテ來ルト云フ様ナコトハアリマス、斯ウ云フハ屹度意地ニツツセツテ持ツテ來マセウガ、心デハ持ツテ來ルト言ハナイノデアアル、大體コンナモノヲ持ツテ來ズニ豫算トシテ共ニ出シテ來サウナモノダ、吾々ハ鐵道會議ニ於テサウ云フコトヲ述ベタノデアアル、諸君モ一地方ノ線路ト思召サズニ、國家ノ命脈ニ關スル重大ナル線路ト思召シテ、鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ此第七期マデ之ヲ延バスコトヲ贊成アラントト希望シテ置キマス

○長谷川泰君(二百十七番) 綾井君ニ御尋致シタイ
○工藤行幹君(二百四十五番) 先決問題ガアルカラ述ベタイ、併セテ唯今ノ綾

井君ノ説ト雙方決ヲ採ラムコトヲ希望シマスカラ、一言述べタイ、宜シウゴザイマスカ、ソコヘ出マセウカ、此處デ宜シウゴザイマスカ

○伊藤大八君(四十四番) 一寸御注意ヲ致シマス、私ハ中央線ダケデアリマス、延バスト云フノハ官線ト申シマシテモ

○綾井武夫君(十一番) 一寸其前ニ私モ此中央線ダケデアリマス

○伊藤大八君(四十四番) 其次ニ至ッタラ、其次ニヤルノデスカラ、其御積デ私モ先決問題トシタイ、宜シウゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 唯今ノハ贊成ガアツテ議場ノ議題トナツテ居リマスカラ、ソレデアリマスハ……

○工藤行幹君(百四十五番) 私モ先決問題トシテ少シク綾井君トハ違ッテ居ル處ガアリマスカラ、ソレヲ申シ述ベテ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ宜シイ、百四十五番

○工藤行幹君(百四十五番) 此處デアリマス、私モ綾井君ノ先決問題ニハ略、同一ナルヤウデアリマスケレドモ、到底綾井君ニハ贊成スルコトハ出來ナイト云フノハ、今鐵道問題ト云フモノハ實ニ國家重要ノ事デゴザイマシテ數年來第四議會以來皆熱望シテ居ルコトデアリマス、全國ノ人民ガ極ク熱望シテ居ッテ一日ヲ過レバ一日ノ國家經濟上又ハ軍事上ニ害ガアルト云フコトハ分リ切ツテ居ル、然ルニ今又中央線路ヲ削除シヤウト云フト、今諸君ガ質問モアリ議論モアリ、伊藤大八君ガ述べタヤウナコトモアリマスガ、私ノ見ル所デハ比較線ヲ決定シテモ是カラ貴族院ニ廻ッテ之ガ決定後ニ再ビ豫算ヲ出サナケレバ當會ニ於テ決シテ其效ガアリマセ、然ルニ若シ此八王子線官設鐵道ニ多ク日ガ掛ツテ居ル、其他ノ私設鐵道ヲ希望シテ居ル人ハソレガタメニ私設鐵道モ潰レナケレバナラヌト云フヤウナ遺憾ガアル、是レノ御相伴ノタメニ私設鐵道モ潰レナケレバナラヌト云フヤウナ遺憾ガアル、此内ニ明瞭ニマス、サレバト云フテ綾井君ノ言フガ如クシマレバナカク、此内ニ明瞭ニ御取調ニ成ツテ居ラヌ方モアリマセウガ、又隨分澤山調ベテ居ル人モアル、然ルニ我レ一人調ベヌカラ、之ヲ併セテ延バスト云フコトハ恐ラク社會ノ輿論デアアルマイ、又此議場ノ滿場ノ御望デアアルマイト思フ、故ニ免ニ角之ヲ併セテ延バスト云フハ又デ、此私設ニ係ル方ヲ議事ノ順序トシテ先ニ決シテ、其上デ餘裕ガアレバ官設ノ方ニ掛ツテ免ニ角私設ノ方ニ掛ルモノヲ先ニシテ餘暇ガアツタナラバ、此時ニ於テ官設ノ方ヲ議スルコトニシタナラバ、恐クハ滿場ノ諸君ハ不贊成ハアルマイと思ヒマス、故ニ其飽マデ延バスト云フハ又、私ノ先決問題ハ此私設ニ係ル方ヲ先ニシテ、餘暇ガアレバ官設ノ方ニ掛ルト云フ先決問題ヲ出シタモノデアリマス

○川上源一君(百五十七番) 今ノハ前ニ決ヲ採ッテ倒レタ説ト同ジデアリマス

○中村彌六君(九十七番) 若シ此先決問題ニ就イテ討論ヲ御許シニナルノデスカ、ソレデアリハ私ハ綾井君ノ動議ニ對シテ反對ノ意見ヲ述べタウゴザイマス、簡單ニヤリマス、宜シウゴザイマスカ

○加賀美嘉兵衛君(百五十五番) 綾井君ノ説ニ反對ナラバ、發言ノ順序ガアル

○中村彌六君(九十七番) 發言ヲ御許シニナリマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 少シ混雜ヲシマスカラ……

○中村彌六君(九十七番) 先決問題ノ討論ヲ許スナラバ、私ニ發言ヲ御許シニナツテ然ルベシト思フ

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナス如何ハ贊成ガアリマスカラ問題ニナツテ居リマス、ソレデアリマスハ……

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 先決問題トナツテ居リマス

期ノ材料ニナツテ居ル、ケレドモガ政府ハ既ニ清内路線ノ外ニ神阪線ニ向ツテ調査ヲシタノミナラズ民間ノ人モ亦此線路ニ向ツテ調査シタト云フコトハ事實ノ上ニ明カデア、抑々先年ノ議會ニ於テ伊那線ノ如キハ一日モ捨テ、置カレナイ、之ヲ捨テ、置クハ國家經濟ノ上カラ云フテモ大變不利デ、一日ヲ延バセバ一日ノ損ガアルト云フテ説キ廻ツタル伊藤大八君ガ、今日ハ其一日モ早クシナケレバナラヌト云フ口ヲ翻ヘシテ、暫ク先ヘ延バサウト云フ説ヲ贊成セラレルノハ本員ノ怪シム所デア、要スルニ西比利亞鐵道ノ落成モ遠キニアラズ、東方ノ形勢ノ一變スルハ目睫ノ間ニ迫ツテ居ル、今日日本ガ其衝路ニ當ツテ日本全國ヲ縦貫スル所ノ大切ナル鐵道ヲ未ダ早イニト云フテ先ヘ延バシテ何時ニナツテスル積デア、大切ノ線路デア、先ヘ延バシテ、成程大切ノ線路デア、尙ホ更早くシナケレバナラヌト云フ理窟ガ出テ來ル、詰リ先決問題ヲ提出シアル人ノ議論、贊成シアル人ノ議論ヲシテ行ハシメバ此鐵道比較線ニ落第シアル人達ノ不平ヲ慰スルタメニ、悉ク比較線ヲ敷設スル案ハ議會ニ提出シタトキデナケレバ鐵道敷設ノ時期至リト云フテ滿場ノ贊成ヲ得ルコトガ能ハヌト云フ場合ニ至ルデアラウ、免ニ角國家ノタメニ必要ナル線ヲ敷設シヤウトシタナラバ、區々タル私ヲ棄テ、公ニ從ツテ此大問題ヲ結了セラレンコトヲ希望スルノデア

○議長(楠本正隆君) 討論終結ノ動議ガ出テ居リマス、併ナガラ最早討論終結ヲ宜シト云フ御見込デアレバ大體ニ就イテ……

○時岡又左衛門君(九十八番) 討論終結ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 討論終結ニ就イテ決ヲ採リマス(異議ナシ 異議ナシト呼フ者アリ) 討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 大多數——先決問題ガ二ツアリマス、綾井武夫君ノ動議ト工藤行幹君ノ動議ト二ツアリマス、綾井君ノ動議ヲ此處ニ趣意ヲ認メマシタカラ朗讀ヲシテ、ツレカラ決ヲ採リマス、之ヲ先ニ採リマス、工藤行幹君ノハ其後ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 違ヒマス——朗讀シマス

○綾井武夫君(十一番) 甲ノダ

○議長(楠本正隆君) 工藤君ノ動議ヲ讀ミマス

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

○大井憲太郎君(四十番) ツレハ中村君カラ出テ居ル

○議長(楠本正隆君) 中村君ノハ……

○大井憲太郎君(四十四番) 官私ノ二ツニ分ツテ私設ヲ先キニシテ然ル後ニ官設ヲ後ニスルハ仔細ナイト云フ總體ノ論ヲ動議ガ出テ居ル

○議長(楠本正隆君) 報道シテ置キマスガ、工藤君ニ贊成ガアツテ議題トナリマス、綾井君ノ丈——綾井君ノ唯今ノ朗讀シアル動議ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 少數——工藤君ノニ贊成ガゴザイマセヌ、是ヨリ伊藤君ノ御登壇ノ積デスガ……(ヤリ給ヘヤリ給ヘト呼フ者アリ)

○伊藤大八君(四十四番) 修正説ガ出テ居リマス、山田東次君小室重弘君ノ修正説ガ出テ居リマス

○議長(楠本正隆君) ツレハ二讀會ノコトニ致シマスカラ大體……

○議長(楠本正隆君) 加藤平四郎君

○加藤平四郎君(六十九番) 諸君、私ハ本案ニ反對スルモノデゴザリマス、既ニ此問題ニ就イテハ先刻綾井君ノ出サレマシタ先決問題ニ就イテハ雙方ノ間ニ討論モアリマシテ、大略其意ヲ盡シテ居ルト考ヘマスカラ、唯簡單ニ私ガ反對スル理由ヲ少々述ベテ御參考ニ供シタイ、唯今先決問題ノ時ニ加賀美嘉兵衛君ノ述ベラレマシタコトハ自ラ此贊成説ト同様ニナルヤウニ聽取リマシタ、加賀美君ハ殆ド政府委員カト思ハレルヤウナ口調ヲ以テ之ヲ贊成スルノ意ヲ述ベラレマシタガ、私ハ決シテ其説ニ服スルコトガ出來ナイ、今日日本ノ經濟社會ノ有様ヲ考ヘテ見マス、併ナガラ今政府ガ計畫シツ、アル如ク又今日ノ——今度ノ議會ニ政府ガ提出シタル議案ノ如ク、總テノ問題ヲ此際ニ通過シテ悉ク之ヲ官設私設ト爲スダケノ餘力ガ日本ノ經濟社會ニアルカト云フナラバ私ハ甚ダ資本ノ不十分ナルコトヲ感ズルモノデゴザリマス、若モ政府ガ無責任ナル所ノ此設計ヲシテ此儘ニ通過セシムルガ如キコトアラバ、他日日本國ノ經濟社會ハ如何ニ紊亂セラル、デアラウカ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ譯デゴザリマス(ひやく)デ抑私——本員ニ於テモ此線路ノ到底何レニカ決シナケレバナラヌ、何レニカ決シテ著手シナケレバナラヌト云フコトニ附

イテハ大體不同意ハゴザリマセヌ、併ナガラ政府ハ今日斯ル國家重要ノ問題ヲ政治的ニ使用スルコト云フ一事ニ至リマシテハ最モ私ハ反對ヲシナケレバナラヌ一理由デゴザリマス、政府ハ一方ニ於テ此國家多事ノ時ニ議會ヲ開クニ期日ヲ短縮シテ成ル丈議事ヲ早く終ラシメタイト云フ意ヲ表シツ、一方ニ於テハ困難ナル煩雜ノ問題ヲ澤山積重ネマシテ議會ヲ混雜致サセマスヤウナ政略ヲ執ツテ居ルモノデア、則チ此鐵道問題ノ如キハ直接ニ地方ノ利害ニ關係スル所ノ問題デゴザリマスカラ、議員中ニモ吾ニガ邪推ヲ恣ニシテ其人ノ心事ヲ穿ツタナラバ地方熱ニ浮サレテ、或ハ地方問題デアルト云フコトノタメニ己ノ獨立ヲ失フテモ、議員タルノ體面ヲ失フテモ、此問題サヘ通過スレバ宜イ

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

○議長(楠本正隆君) 水野書記官朗讀

ト——是ニ偏シテ熱ヲ發スルモノガアルカト思ハル、位デアアル(ひやく)サ
 ウシテ政府ト人民ト或ハ委員トガ、互ニ之ヲ政略上ノ——政略的ニ用ヒ用井
 ラレテ相待ツテ斯ウ云フコトヲヤツテ往クト云フコトニナレバ議會ハ即チ政略
 家ノおもちやニサレルト云フ結果ヲ見ルノデアラウト思ヒマス(ひやく)ツ
 レデ若シモ此政府ガ幾多シマシタ鐵道問題ヲ正當ニ又慎重ニ手順ヲ盡シテ
 審議シ調査スルナラバ委員會ニ於テモ少クモ十日十五日ノ日數ハ要スル
 筈デアアル、然ルニ此委員ガ如何ナル人ニ依ツテ成立シテ——組織サレテ居ルカ
 ト云ヘバ諸君モ既ニ御承知ノ通り此鐵道問題ニ就イテ一種ノ團體ガゴザリマ
 ス、其一種ノ團體ナルモノハ甲乙幾多ノ線路ヲ併セテ、其線路ニ關係アル人
 ガ相結ンデ交換的ニツチヲラヲ贊成スルカラ、コチヲラヲ贊成シテ吳レト相結ン
 デ議會ヲ通過サセヤウシヤナイカ、政府ヲ助ケヤウシヤナイカト云フ團體ガ
 アルノデゴザリマス、其團體ノ意見ハ常ニ鐵道局ニ用ヒラル、ノデアアル、ト
 云フモノハ政府ハ此團體ヲ利用シテ己ノ意見ヲ行ハウト云フ考ガアルカラデ
 アル、故ニ或ハ鐵道ノ團體ガ今日決議シタ所ノモノハ明日ハ直チニ鐵道局ノ
 問題ニナル、明後日ハ鐵道臨時會ヲ——會議ヲ召集シテ問題ニナルト云フ
 様ナ變體モ隨分現レテ居ルコトナノデゴザリマス、斯ノ如ク私ヲ以テ當局者
 ノヲ通過サセヤウ即チ己レノ意見ヲ以テ成立シテ居ル案デアアルカラ、或ル團
 體ノ人ガ手ヲ組ンデ他ニ連合團體ガナイノヲ幸ニ(他ニモアル)ト呼フ者アリ
 (過半數ニ至ラナイガ、自分ノ黨派デ委員ヲ拵ヘテ調査シ、委員會ハ儀式
 的ニヤツテ此儘報告シヤウト云フ計略ヲ組織サレテ居ルト云フコトハ、諸君
 モ既ニ看破セラレテ居ルコトデアアル(加賀美嘉兵衛君)の「ト呼フ又、其
 通り其通り」ト呼フ者アリ)其通りデアアル、加賀美君其人ノ如キモ八王子線ニ
 關係ノアル人デアアル、(加賀美嘉兵衛君)「岡山線ガ這入ラナイカラデスカ」ト
 呼フ又(穿チ得テ妙ナリ)ト呼フ者アリ)委員會ハ斯ノ如キ政略ニシテサウ云
 フ事情カラ成立シテ調査モセズ、ト言フハ甚ダ失敬デゴザリマスガ、質問
 ヲ致シマシテ奥ノ方ニ往ケバ何時モ御答辯ガ曖昧デアアル、吾々カラ見レバ十
 分ナ調査ガ出來テ居ラヌト思ヒマス、斯ノ如キコトデアアルト大體經濟上カラ
 言フテモ、斯ノ如キモノヲ縱シ一時ニ皆可決シテ行フコトガ出來ルトシタ所
 ガ、是丈ノ私設是丈ノ官設ヲ皆議決シテ皆政府ノ要求通り著手スルトシタ所
 ラバ、殆ド日本ノ資本ハ鐵道問題一ツニ打込ンデ仕舞ツテ、天下ノ商業ハ皆止
 メテ仕舞ハナケレバナラヌト云フ結果ニナルカ知ラヌ(「簡單々々」ト呼フ者
 アリ)又鐵道局ノ近日ノ有様ヲ以テ見マスルト吾々ハ甚ダ不安心ニ思フノデ
 アル、或ル場合ニ於テ此人民ト官吏トノ間ヲ親シクスルコトハ至極宜シイ
 ガ、其或ル部分ニ向ツテ親シイ反動ニハ、或ル部分ニハ疎遠デアアル、一方ニ
 利益ヲ與ヘル代ハリ他方ニ向ツテ甚ダ害ヲ與ヘルコトガ今日ノ當局者ノ所業
 ノ上ニ常ニ現レテ居ル(大ニ然リ)ト呼フ者アリ)甚シキ説ヲ此頃聞クコトガ
 アルノデスガ、或ル私設鐵道會社ノ事務所ガ鐵道局ノ内ニ置イテアツテ、鐵道
 局ノ中デ其會社ノ自論見設計、地圖、總テノコト技師モ何モ一緒ニヤツテ居
 ルト云フ評ヲ世間ニ立テ、居ルモノモアル、是等ハ縱シ世間ノ惡口ニシテ事
 實デアナイトシテ見タ所デ、鐵道局ガ此社會ニ向ツテ是位ニ信用ガナイト云フ
 コトヲ證明スルニ足ラデアラウ(其會社ノ名ヲ言ヒ給ヘ)ト呼フ者アリ)尙ホ
 是カラ私ハ鐵道局ハ殆ド世間デハ化物屋敷ト云ハレテ居ル程ナモノデゴザイ

マシテ、其あらヲ探シテ言フマナラバ(長谷川泰君)化物屋敷ノ家探シヲシ給
 (ト呼フ)二時間モ三時間モアリマスガ、サウ云フコトハ生來私ノ好マヌ
 コトデアアルカラ、ソレハ宜シイガ、宛ニ角今ノ當局者ガ鐵道問題ニ就イテハ甚
 ダ不熱心デ、甚ダ不親切デアアル、容易ニ大事業ヲ一時ニ託スルコトハ出來ナイ
 (條約改正ハ如何)ト呼フ者アリ)ソレカラ又議會ノ體面カラ言ヒマシテモ今
 日ノヤウニ短期ナ議會ニ政府ガ政略ヲ持ツテ來タモノヲ眞受ケニ受ケテ縱シ
 自分ノ利益ハアルニシテモ、之ヲ眞受ケニ受ケテ短期ノ議會ノ間ニ皆之ヲ通
 過シタナラバ、議會ハ必ズ輕忽ニ私情ニからざレテ大事ノ問題ヲ決議シタト
 云フ謗ヲ免レヌコト、思フ、併ナガラ吾々モ鐵道事業ヲ盛ニスルコトハ反對
 デハゴザイマセヌカラ、政府ニ任シテヤルヨリハ民間ノ人ガ、有志家ガ、會
 社ヲ拵ヘテ自ラ利害ヲ任シテ遣ルニ於テハ自分ノ頭ニ直接ニ利害ヲ感ズルカ
 ラ甚ダ親切ニ之ヲヤルダラウト思フ、其方カラ見レバ則チ直接ニ國庫ノ金デ
 ヤル仕事デアナイ、斯ク不信任ナル政府ノ當局者ニヤラセルノデナイカラ、成
 ルベク私設ノ方ハ此會期ニ於テ出來ルダケノコトヲ議シ終ツテ、官設ノ分丈
 ハ次ノ議會迄延バシテ吾々ノ調ベヤウト思フコトハ十分ニ調ベ、又政府ニ向
 テ調査ヲ促スベキ事ガアレバ促シモシ、種々盡スベキ手順ヲ盡シ、考フベ
 キ時間ヲ以テサウシテ十分ニ次ノ議會ヲ期シテ決議スルヤウニ致シタナラ
 バ、疎略ニ涉ル憂ハナイト思フ、唯徒ラニ之ヲ遷延スルノデハゴザイマセ
 ヌ、別シテ今度ノ政府案ガ通ルトスレバ、最早鐵道敷設法ノ精神ハ廢レタノデ
 ゴザイマス、ドウシテモ鐵道敷設法ノ大體カラ改正シテ來ンケレバナラヌコ
 トニナラウト思ヒマスカラ、次ノ議會ヲ期シテ法律ヲ改正モナシ、實業ノ進
 歩ヲ圖ルト云フコトガ兩全ノ策デアラウト思ヒマスノデ、第一ノ線ニ就イテ
 ハ反對ヲ致シマスノデアリマス

○長谷川泰君(二百十七番) 一寸議長ニ伺ヒタイ、他ノ委員ニ付セラレマス
 案ハ總テ此會ニ上リマスル前ニ特別委員諸君ガ政府委員ト押問答サレマシタ
 詳細ナル議事録ヲ必ズ吾々ニ配布ニナル譯デアリマス、然ルニ今日議事日程
 ニ上ツテ居ル鐵道ノ會議案ニ對シテハ速ニ右ノ速記ノ配達ガナイ……

○議長(楠本正隆君) ソレハ先例ニサウ云フコトハアリマセヌ

○長谷川泰君(二百十七番) 凡ソ各議案ニ對シマシテハ特別委員諸君ハ政府
 委員ト委シテ押問答セラレマシタ、特別委員外ノ吾々ニ至リマシテハ其委員諸君ガ
 承知セラレテ居ルケレドモ、特別委員外ノ吾々ニ至リマシテハ其委員諸君ガ
 十分ノ討論審議ヲサレマシタル其結果ノ報告ヲ見テ、而シテ成程此線路ハ委
 員ノ報告ガ尤デアアル、或ハ是ハ委員ノ報告ニ反對シナケレバナラヌト云フ則
 チ判斷ヲ極メナケレバナラヌノデアアル、然ルニ如何ナル譯デアリマセウカ本
 員ハ之ニ對シテ甚ダ困難ヲ感ズルノハ若シ斯ノ如キ重要ナル案ヲ總テ熟考シ
 マスル材料タル速記ノ議事録ヲ與ヘズシテ、議事日程ニ上セマシタルノハ如
 何ナモノデアリマスカ、他ノ諸君ハ如何デアリマスルカ、吾々ノ如キ殊ニ此
 鐵道問題ノ如キニ至リマシテハ最モ素人デ暗イ者デアアル、ソレ故ニ委員諸君
 ノ審議セラレマシタル速記ヲ仔細ニ見テ、而シテ後アナケレバ吾々ハ議スル
 コトハ出來ナイ、滿場諸君ニ於テモ多數ハソレニ相違ナイト思フ、ソレ故ニ
 本員ハ爰ニ建議案ヲ提出致シマス、此鐵道問題ハ……

○議長(楠本正隆君) 一寸御待ナサイ、此場合ニハ……

○長谷川泰君(二百十七番) 速記ヲ十分見マシテ其上デ議スルヤウニ、暫ク

此議事ヲ延ベマスヤウニ、是丈ヲ...

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

○議長(楠本正隆君) 是ハ速記ヲ廻スト云フコトハ致シテゴザイマセヌ、其

○議長(楠本正隆君) 今迄取扱ヒ來ツタ、ソレガ通例デアリマス、ソレニ就

○議長(楠本正隆君) モウソレハイケマセヌ、此場合ニハ建議ハ許シマセ

私ハ信ジテ居ルノデアル、諸君ニ少シク虚心平氣ニ願ヒタイコトハ、加藤君

モ言フ如クドウシテモ此線路ハ何レニカ定メテ拵ヘナケレバナラヌト云フハ

同意デアアルト云フ居ル、而シテ斯ノ如ク國家ノタメニ盡サナケレバナラヌ

ト云フ線路デアアル以上ハ、一日モ早ク此議會ハ之ヲ容レルト云フコトヲスル

ノガ至當デアアルト思フノデアル、例ヘバ第四議會ニ於テ東北線若クハ北越線

ヲ取ツタルガ如キモ、是等ハ國家ニ必要ナルモノデアアル、必要デアレバ著手

スルガ宜シト云フ議論デ以テ採用シタノデアアル、何故之ヲ吾ミガ地方ノ關

係モナクスルケレドモ、斯ノ如キモノヲ取ルカト云ヘバ、今日ノ日本ノ有様

ヲ見ルト實ニ此鐵道熱ナルモノハ幾多ノ此不生産的ノ金ヲ費スデゴザイマセ

ウカ、現ニ今期ノ如キモ全國ヨリ鐵道運動ト稱スル委員ノ如キハ殆ド二千以

上ノ人間ガ參ツテ居リマセウ、是等ノ者ガイヤ運動デアアルトカ或ハ何トカ云

フ名義ヲ以テ奔走西走シ、而シテ自分ノ線路ヲ成立タセントスルガタメニ費

ス所ノ金錢ト云フモノハ少シモ生産的ノモノデアナイ、皆不生産的ニ費スモ

ノデアアル、此金ハ恐ラクハ此短期ノ議會ト雖モ或ハ千万圓ニモ上ルデアラウ

ト私ハ思フノデアアル(笑聲起ル)諸君、此地方デ相談會ヲ開ク、ヤレドウ云フ

コトヲスルト云フ騷ヲシ、ソレヨリ東京ニ來テ運動ト云フガ如キヤ全國ヲ

見タナラバ、實ニ多額ノ金デアアル、若シ此多額ノ金ヲ一線路ヲ造ルニ持ツテ行

テ費シタナラバ、誠ニ此不生産的ノ金ガ變ジテ國家ニ必要ナル事業ニ使ヘル

金ト云ハナケレバナラナイ、果シテ斯ク考フレバ天下ノ人ガ之ヲ公平ナリト

見、又天下之ヲ國家將來ニ必要ナリト思フ線路デアアル以上ハ或一局部ノ地方

的ノ關係若クハ其他ノ事情ノタメニ之ヲ無理ニ延バスト云フヤウナコトハ早

ク廢シテ、公平ニ此線路ト云フモノハ採用シテ、此人民ノ不生産的ニ費スト

云フコトヲ防グト云フコトガ吾ミ間接ニ實ニ國家ニ必要ト信ジテ居ルモノデ

○議長(楠本正隆君) 百五十五番ノ動議ハ直ニ二讀會ヲ開クベシ——直ニ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數

起立者 多數

○綾井武夫君(十一番) 異議ノ申立ニ賛成ガアリマス

(賛成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 異議ノ申立ニ賛成ガアリマス

(アリマス)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 二十名ノ賛成ガナケレバイケマセヌ

(ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 十一番ノ異議ノ申立ニ同意ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

起立者 無シ

○議長(楠本正隆君) アリマセヌ、直ニ二讀會ヲ開キマス

(甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中中央豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一東京府下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

○議長(楠本正隆君) 次ニ修正案ヲ朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中中央豫定線比較線路中東京府下八王子ヨリ起工スル所ノ法律案ニ左ノ但書ヲ附スル事

但シ八王子ヨリ甲府ニ至ルノ線路ハ追ッテ決スヘシ

○山口千代作君(二百六十八番) 唯今ノ修正案ハ何人ガ出シタノデス

議長(楠本正隆君) 今出シタノデスカ

○山口千代作君(二百六十八番) 願クハ其姓名ヲ

(町田書記官朗讀)

提出者 角田眞平君

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中中央豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一神奈川縣下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道トアル内(神奈川縣下八王子)トアルヲ

(静岡縣下御殿場)ト修正ス

提出者 山田東次君 小室重弘君

○山田東次君(二百六十八番) 私ハサウ云フモノ、提出者ニナッタコトハゴ

ザイマセヌ、何者ガ……

(町田書記官朗讀)

提出者 江原素六君 大村和吉郎君 角田眞平君
東京府下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ上伊那郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

提出者 山田東次君 小室重弘君

鐵道比較線路決定ニ關スル法律案中神奈川縣下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ長野縣下西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道ニ左ノ但書ヲ加フ

但岐阜縣下中津川以西ノ線路ハ岐阜縣下多治見及愛知縣下瀬戸ヲ經ルモノトス

提出者 太田善四郎君

○議長(楠本正隆君) 修正ガ四ツゴザイマス、角田眞平君ヨリ登壇ヲ促シマス

(角田眞平君演壇ニ登ル)

○角田眞平君(四十九番) 此線路ニ就キマシテハ修正ノ提議ヲ出シテ居ル人ガ澤山ゴザイマス、ソレ故ニ私ハ極ク極メテ簡略ニ言ハウト思フ、加之ナラズ私ノ修正説ハ線路上ニ就イテ深刻利害ノコトヲ此處デ討議スル要ガナイト思フ、滿堂ノ諸君ガ恐ラクハ御同意ヲナサルコトデアラウト信ジテ居リマス、此事ハ外デモゴザイマセヌガ、東京府下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道、是ハ但書ガ殖ニルダケガ私ノ説デアアル「但シ八王子ヨリ甲府ニ至ルノ線路ハ追ッテ決スヘシ」

而シテ「追ッテ決ス可シ」ノ意味ハ直ニ此暮ノ議會デ決シテモ宜ケレバ、暮ノ議會デ決シ兼ネル未ダ調査ガ行居カナケレバ、其次ノ議會デ決シテモ宜イ、而シテ此間ニハドウ云フコトガアルカト云フト、政府ガ法律ノ上ニ認メテ居ル所ノ比較線路ゴザイマス、而シテ此間ノ線路ニ就イテハドウ云フ經過デアアルカト云ヘバ三百九十九萬圓ト云フノガアリ、四百九十九萬圓ト變テ來タコトガアリ、九百八十九萬四千三百有餘圓ト變ツタコトガアル、遂ニ此度ノ報告ニ依ルト云フト建設費ガ千四百九十九萬八千八百八十圓、最初ノ調ヨリ三倍モ餘計多クナツテ居ルノデゴザイマス、私ハ此間ニ直ニ甲乙ノ線路ヲ極メルト云フコトニ就イテハ意見ヲ述ベヨト言ヘバ、私ハ別ニ考ガアル、意見ヲ述ベ得ルノデアツテ、而シテ其事ニ就イテハ、或ル提議者ニ同意ヲ致シテ居ルノ

デゴザイマス、併ナガラ鐵道ノコトニ就イテ而カモ不思議ヲ極メ、而カモ政府ニ向ッテ信任迄ナイト最初ニ大ニ論ジタノハ此八王子甲府ノ間ノ線路ノコトデゴザイマス、延ビタノニ就イテモ止メヨト云フ議論ニ就イテモ大ニ政府ノ失策ヲ擧ゲタ討論ニ就イテモ、是ダケノコトニ就イテ政府全部ヲ攻撃スルル大ナル材料デアアル、今私ハ之ニ就イテ直ニ廢滅ヲシヤウト云フノデハナイ、

定テ三百九十九萬兩ガ千二百萬兩ト云フコトニ急ニ變更シテ見テモ尙ホ維持セントスルコトニハ深キ仔細ガゴザイマセウ、深キ理由ノ存スルモノガゴザイマセウ、政府ハ屢々解散ヲ命ジテ屢々新議員ヲ出シテ居ル、是ト撞著ヲスル

重キヲ負フテ出來ル議員ハ何モ斯モ知ッテ居ル積デアアル、國家ノ事ヲ負フテ大ナル間違デアアル、議員ハ己ガ法律上若クハ公務上相當ノ責任ヲ持ッテ居ルガ、己ハ豫テ政府ノ案ヲ知ラナケレバナラヌ責任ヲ持ッテハ居ラヌ、ソレ故

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

トス

ニ突然ニ前カラ調ベテアル筈ダト言ヘバ、ドノ經濟問題デモ委員ニ付セズニ即決ヲシナケレバナラヌト云フノガ原則デナケレバナラヌ、然ルニ政府案及他ノ一院カラ來タノ總テ委員ニ付スト云フノガ原則アレバ相當ノ審議ヲ盡サセル時間ヲ與ヘルノガ政府ノ責任デアツテ、國民ハ又左様ナ時ニ調査ヲセヨト云フ意味ヲ以テ議員ニ選出シテアルニ違ヒナイ、故ニ吾々ノ考ヘマス所ニ據リマスレバ、若シ此僅ノ間五十有餘哩ノ間僅ノ數ノ間ニ三百萬圓或ハ四百萬圓出カレト云フノモアリ、或ハ千二百萬圓ヲ投ジナケレバナラヌト云フノガ、此所三四箇月ヲ過ギタラ如何ニ國民ハ不平ヲ鳴スデゴザリマセウ、恐ラクハ満足ヲスルデゴザイマセウ、ノミナラズ政府ノ提出中ニ、諸君ノ同意シテ居ラル、中ニ篠ノ井線ト云フノガ出テ居ル、是ハ誠ニ適當ナ案ト私ハ信ジテ疑ハヌデアリマス、何トナレバ此篠ノ井線ト云フモノヲ拵ヘナケレバ中央線ノ仕事ガ出來ヌト辯明ヲシテ居ラレマスカラ、丁度二階ヘ上ガレ稽子ノ如キモノデ、稽子ガナケレバ仕事ガ出來ヌト云フ、然ラバ之ヲ先ニ拵ヘテ徐ニ二階ノ天井ヲ張ラウデハゴザイマセウ、故ニ當年度ニ於テハ先ヅ篠ノ井線ノ方ヲ決定シテ置イテ、ソレカラ此篠ノ井線ニテ決シテ何シテ遅イデゴザリマセウ、ノミナラズ此篠ノ井線ナルモノハ一方ハ北陸ニ續イテ一方ハ名古屋ニ通ズル、而シテドウカト云ヘバ又碓氷ヲ越エテ江戸ニ出ヅルコトガ出來ル、海ノ憂ガゴザイマセウカラ、ソレデモ不満足デアルト云フナラバ、何故ニ政府ハ第一期第二期ヲ分ツタカ、第一期ニ殘ラズ——一時ニ五年カ三年ノ間ニ一億萬兩ノ金ヲ積ツテ何故ニヤラヌノデゴザイマセウ、又五六十年經テネバ日本ノ砲臺ガ出來上ガラヌ様ニ、日本ノ陸地ヲ數十年經ナケレバ十分ニ測量ガ出來ヌト云フ様ニ、政府ハシテ居ルカ、動モスレバ鐵道ガナケレバ戰ガ出來マセウ、併ナガラ日本ノ陸地ハモウ二三十年經タナケレバ本當ニ測量ガ出來マセウト云フ自家撞著ノ議論ト言ハナケレバナリマス、故ニ吾々國民タルモノハ一概ニ斥クルハ無能ノ人ト云フノデゴザイマセウ、又一概ニ贊成スルモノモ同一ノ評ヲ受クルデゴザイマセウ、故ニ私ハ斯様ニ決心シテ居リマス、已ムヲ得ズ當年度ニ於テハ篠ノ井線ハ是非トモニ贊成シナケレバナラヌ、篠ノ井線ハ既ニ陸軍省ノ豫テ用意サレル所ノ海ニ近寄ラズ殊ニ北陸ト名古屋ノ方角ニ通ズル所ノ大幹線ヲ茲ニ續ケルト云フコトガ出來、及江戸ニ通ズルコトガ出來ト云フコトガアルノミナラズ、之ガ出來テカラ中央線ガ出來ルノニ、ソレヨリ先ニ若クハソレト同時ニ、ソレノ出來マセウ中カラ出來ル線路ヲ決定スル必要ハナイノデゴザイマス、ノミナラズ其中ノ一部分ハ直チニ篠ノ井線ガ出來ルト役ニ立ツベキ方角ニ附イテ、即チ甲府カラ先ニ付イテ或ハ此中ニ伊那線ト云フ説ヲ主張スル人モゴザイマセウ、木曾線ヲ主張スル人モアリマセウ、其方角ニハ吾々ハ立入ラヌ、ソレニ就イテハ又別ニ議論ガアレバ格別デスガ、吾々ノ見込ハ向フニ行ク連絡ノ分ヨリハ、ソレカラ此方ノ江戸ニ來ルモノハ止メテ置イテ宜シ、而シテ一番ノ問題デア

ル所ノ問題ハ斯様ナ簡單ノ筋合デ算盤ヲ取ラナケレバナラヌ、更ニ深キ討議ヲナサナケレバナラヌト云フ意味デアリマセウカラ、希ハクハ滿堂一致ヲ以テ御贊成アラシコトヲ望ミマス

○松田吉三郎君(百八十番) 角田君ニ質問ガアリマス

○角田眞平君(四十九番) 下デ御答致シマセウ

○松田吉三郎君(百八十番) 角田君ハ修正案ヲ一ツ出シテ居ラル、ヤウニ思フ、神奈川縣下八王子ヨリ山梨縣下甲府及ヒ長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道トアル中「神奈川縣下八王子トアルヲ静岡縣下御殿場ト修正ス」ト云フノガ出テ居ル、之レガ出テ居ルノニ今又但書ノ修正ヲ出スト云フコトハ一向譯ガ分ラヌ

○角田眞平君(四十九番) 御答ヘ致シマス、ソレハ加藤平四郎君ノ時ニ御尋ニナルガ相當デアリマス、今ニナツテ問ハレルノハ後レ走セデアリマス、私ハ則チ本當ヲ申シマス、暮ニナツテ殘ラズ調ベルノガ宜シト思ヒマス、ガ、何分ニモ鐵道問題ガヤカマシイカラ、此中デ思ヒ切ツテ宜シイモノ丈ケ極メテ行ク、其中ノ希クハ之ヲ延バシテ——之ガ行カナケレバ何レノ線路ヲ採ルカト云フニ御殿場線ヲ採ルデアリマスカラ、修正中ノ第一ニ演説スルコトヲ希望シタデアリマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ第二ノ修正ノ提出者小室重弘君

(小室重弘君演壇ニ登ル)

○小室重弘君(二百二十一番) 諸君ガ提出シマシタノハ此「八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ上下伊那郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道」ト云フ修正案デゴザイマス、私共ハ元來今日ノ鐵道ニ就イテハ經濟ノ上カラ大ニ觀察ヲ下シタモノデゴザリマシテ、則チ此中央線幹線ニ附イテハ軍事上ノ上カラ議論ヲナサル、——專ラ軍事上ヨリ議論ヲナサル方モアリマスガ、私共ハ寧ろ經濟ノ上カラ觀察ヲシタ者デゴザイマス、則チ此木曾ト伊那トノ比較ト云フモノニ論及シテ參リマス、此伊那線ノ經由スル所ノ木曾線ヨリモ優ツテ居ルト云フコトハ、私共常ニ信ジテ居ル所デゴザリマス、勿論政府ガ初メ此木曾線——伊那線ニ就イテ反對ヲサレマスコトニ就イテハ私共幾ラモ不審ニ堪ヘナイコトガアル、初メ中山道鐵道ヲ敷ク時分ニ先程ドナタカノ御話モアラヌ様デアリマスガ、中山道ハ土地ガ確固ニシテ寒村ノ僻邑デアツテ、此處ニ鐵道ヲ通シタ所ガ殖産工業上ニ於テ利益ガアルモノデナイト云フコトヲ信ジテ居ル、吾々ガ專ラ今日ニ於テ木曾線ニ反對スルノハ此譯デゴザイマス、先程委員長ノ御説デゴザイマシタ、經濟ノ點カラ之ヲ觀察シテ見テモ木曾ハ伊那ニ勝ツコトハ出來ヌト云フ御言葉ガアツタ様ニ存ジテ居リマス、併ナガラ私共ガ此事ヲ考ヘテ見ルト木曾ト伊那トノ間ニハ非常ナ經濟ノ上ニハ違ガアラウト思フ、極ク簡短ニ其有様ヲ述ベテ見マスナラバ、伊那ノ區域ト云フ者ハ天龍川ニ沿フテ下ル所ノ平坦ナル土地デアルトハ諸君ノ知ラルル所デ、其伊那線ノ區域ト云フモノハ殆ド二百二方里ノ廣サデアリマシテ、木曾ノ方ノ百四方里ノニ比ベマシタナラバ、幾分カ是ハ——八十八方里モ廣イ所デアリマス、所デ此廣イ伊那線ニハ何等ノ物産ガアリ、何等ノ生産物ガ出來ルカト申シマスナラバ、此間ニハ最モ我國ノ高評ヲナス所ノ彼ノ養蠶事業或ハ製絲場ノ如キモノガ澤山ゴザイマス、又人口ノ上カラ申シテ見マシテモ伊那ノ人口ニ至ツテハ二十一万何千ト云フ程ゴザイマス、木曾ノ人口數ハ四万ニ足ラナイ位ノモノデゴザイマス、而シテ其土地或ハ田畑其他ノ生産物ニ至リマシテモ六倍或ハ七倍ノ差ガアル譯デアリマス、ソレ故ニ私共ガ此點カラ考ヘテ見マシテモ此伊那ヲ通ズルト云フコトガ最モ中央線ニ取ツテハ利益デナケレバナラヌ、然ラバ——然ラバ是ダケノ利益ガアル、國家將來

ノ上ニ鐵道ノ百年ノ計ニ就イテハ經濟ノ觀察ヲナサナケレバナラヌト致シマシタナラバ、ソレナラバ軍事ハ少シモ願ミナイデ宜イカト云フ議論ガ出マセウガ、或ル論者ハ陸軍ト言フモノヲ頭ニ被ツテ一切陸軍的ノ論ヲ以テ打破ラウト云フ人モアルデゴザイマセウ、私共ガ考ヘテ見ルニ陸軍ノ上カラ見ルニ伊那線ヲ引張ツテ往クノガ今ノ我國ノ兵事ニ就イテ兵略上ニ就イテ害ガアルデアアラウガ、或ハ此線ガ海岸デアアルト云フコトナラバ仕方モナイコトデアリマス、ケレドモ決シテ海岸デアアル譯デモナイ、其間相距ルコト誠ニ僅ノコトデゴザイマス、矢張我國ノ中心ヲ貫イテ行ク所デゴザイマスカラ、陸軍ノ上ニ就イテモ強チ不可ナリト云フコトノナイコトハ陸軍ノ政府委員ガ答ヘラレマシタ中ニモ書イテアルヤウニゴザイマス、ソレナラ何故ソレガ惡ルイカト云フニ工費ガ高ク掛ル、四百萬圓モ金ガ餘計掛ルト云フ議論ニ歸著シマスデゴザイマセウ、ケレドモ其四百萬圓ノ金ガ掛ルカラ此事ハ安イ、木曾ヘ持ツテ往テアラナケレバナラヌト云フ議論ニ至ツテハ私共ハ俗ノ一極ク卑俗ノ言葉デ言ツタナラバ、一文惜シミノ百知ラズト云フコトデアツテ、詰リ一時澤山ノ金ヲ投ズルト云フコト止メテ國家將來ノ利益ヲ顧ミナイト云フコトニナルデアラウ、ソレ故ニ私共ハ此本案ニ於テハ大ニ工費ノ差ニ於テ違フカハ知ラヌケレドモ、廣ク經濟上ノコトヲ考ヘテ見、又陸軍ノ上ニモ差支ナイ以上ハ此伊那線ヲ取ルト云フコトガ最モ利益デアアルト考ヘマス、又私ガ此政府案ニ就イテ信用ヲ措カナイ點ガ間ミゴザイマス、ソレハ諸君ノ中ドナタデゴザイマシタケカ、高田君デアツタカ、内閣ハ信用シナイガ、技師ニハ不信用ノ投票ヲシナイト云フ御話デアツタガ、併ナガラ私ハ内閣ハ信用シナイガ、技師ニハ信用スルト云フコトハ尙ホ斷言ガ出來ナイノデゴザイマス、技師モ亦吾々ガ信用シナイコトガ澤山ゴザイマス、ソレハ先刻ノ御議論ニモゴザイマシタ通り、初ニ甲府八王子間ノ工事ノ時分ニモ初ニハ三百九十九萬圓、其次ハ九百八十萬圓、其次ニハ千二百萬圓、僅ノ間ニ三遍モ變ツテ居ルト云フヤウナコトハ技師ニ向ツテノ……イヤ此政府ノ調査ニ就イテ一ノ粗漏ト言ハナケレバナラヌカ、或ハ又轉變限リナキ信用ノ出來ナイ所ノ點デアールカモ知レヌ、然ラバ政府ガ木曾ト云フモノヲ測量致シマシテ、決定致シテ此議案ヲ出シタト云フコトハ、又吾々ハ政府ニ信用ヲ置ケナイト云フ點ガゴザイマス、將來是丈ノ利益ガアリ、又軍事上カラ申シマシテモ差支ナイ以上ハ、此間ニ若干ノ工費ガ澤山掛ツテモ、此線ヲ取ルト云フコトハ私共ノ望ムデアアル所以デゴザイマス、マダ御話ヲ致シタイコトガゴザイマスルガ、簡單ニ此案ヲ提出シテ趣意ヲ述ベテ置ク次第デアリマス

○議長(楠本正隆君) 第三ノ修正法律案提出者江原素六君

(江原素六君演壇ニ登ル)

○江原素六君(二百二十四番) 諸君、私ハ八王子線ノコトニ就イテ線路ニ就イテ痛ク反對スル者デアリマセヌシ、又深ク金錢ノコトニ就イテ關係スル者デモナイノデゴザイマス、軍事鐵道トシテ當局者ノ設計ガ如何ニモ未熟ナルガタメニ巴ムコトヲ得ズ、之ニ賛成シナケレバナラナイノデゴザイマス、勿論鐵道ノ事或ハ軍事ノ事ハ各々専門ニ屬シテ居リマスルカラ、素人ガ申シタ所ガ殆ド價值ガナイデゴザイマセウ、併ナガラ偽リノ君子ヨリハ真ノ小人ノ

方ガ罪ガ少イト云フヤウナ如ク當局者ガ情實ノタメニ總テノコトヲ枉ゲルコトハ素人ガ熱心ニ國家ノコトヲ思フト云フ方ガ價值ガアルト云フコトヲ自ラ信シテ居リマス、海軍陸軍並ニ鐵道局ハ日本政府中ノ三すくみ中ノ化者屋敷デハゴザイマセヌカ、三すくみノ化者屋敷ノ人ガ目論ムコトニ就イテハ隨分間違フコトアルハ當然デアラウト思ヒマス、諸君ガ海軍ノコトヲ攻撃スル時分ニハ船ヲ拵ヘテモのつとガのろつとカ、或ハ大砲ガ惡ルイトカ言ツテ、或ハ機關ガ惡ルイトカ云ツテ隨分攻撃シマシタ、船ヲ拵ヘルノニ、斯ノ如ク大砲トカ鐵ノ厚サトカ速力トカ色々ナルモノ、必要ガアル如ク、軍事鐵道ニ於テモ物ヲ運ブ力、或ハ速力ト云フモノニ注意シマセヌナラバ矢張船ノ速力ガ少イノト大砲ガ役ニ立タナイトカ、或ハ機關ガ不十分デアルト云フノト少シモ變ツタコトハナイノデアアル、然ルニ軍艦ノコトニ就イテハ隨分ヤカマシク言ヒナガラ、斯ノ如ク不完全ナル鐵道ヲ軍事ト云フ名ヲカコツケテ莫大ノ金ヲ費スト云フコトガ當局者ニ對シテ甚ダ不満足ヲ抱カナケレバナラナイノデゴザイマス、當局者ハ隨分上手ナ言譯ヲ言フデゴザイマセウガ、是迄當局者ノシタコトハ間違ダラケデアアル、此前ノ辯士モ言ハレル通り統計ノ豫算デアールトカ、或ハ始テ橫濱カラ東京ニ敷ク時分ニ廣軌デアナケレバ天下後世ノ鐵道ニ惡ルイ模範ヲ遺スト云ツテ類リニ有志者ガ申シマシタケレドモ、狹軌鐵道ヲ敷イタト云フコトヲ今日大ニ悔イテ居ル如ク或ハ確氷時ノあぶ式ヲ敷ク時ニドウモア云フ所ハ初ヨリ複線ニシナケレバ逆モイクマイト云フ議論ガアルノニ、鐵道局ハ素人ガ知ツタコトデアナイト云フテ、單線ニシテ今日ハ善光寺參リガ少シ多イト云フト一番二番三番ト云フ風ニ客ヲ待タセルト云フコトニナツテ居ル、善光寺參リノ人ハ鐵道局ノ役人ガ附ケレバ停車場ニ待ツテ居ルケレドモ、戰サノ時ニ敵ガサウ云フ風ニオトナシク待ツテ居テ呉レ、バ宜シイケレドモ(笑聲起ル)サウハイクマイト思ヒマス、日本ノ鐵道ハ御存ジノ通り物ヲ挽ク力ハ平地ニ在ツテハ歐羅巴ニ比ベテ見ルト大抵四ト六ノ割合デゴザイマセウ、歐羅巴ノ鐵道ハ亞刺比亞ノ大キナ馬ヲ十四乘セルノガ、日本ノハ小サイ物ヲ辛ウシテ六匹乘セルト云フ割合デアアル、速力ノ如キモ大抵三分ノ一位デ速力ヲ得ナイノデアアル、殊ニ斯ノ如ク急勾配ノ多イ所ハドウシテモ複線デアナケレバ到底圓滑ナル運動ハ出來ナイコトハ始メテ箱根ノ鐵道ヲ敷ク時分ニモアレバ到底圓滑ナル運動ハ出來ナイコトハ始メテ箱根ノ云フテ民間ノ疑ヲ來タシタガ、果セル哉誠ニ不都合デ間モナク鐵道局ハ沼津ト山北ノ間ニ複線ヲ設ケタヤウナモノデ、隨分是マデ始ヨリ仕舞マデ間違ダラケト云フノガ鐵道局ノ仕事デアアルデアアル、鐵道ハ斯ノ如ク小サナ車ヲ持ツテ速力ハ三分ノ一デアアル、或ハ載セル力ハ一萬噸ノモノガ六千噸シキヤ出來ナイト云フヤウナ譯デアツタナレバ、責メテ是ハ複線ニシテ置カナケレバ益軍事ノ役ニ立タナイノデアアル、サリナガラ國家ノ經濟ト云フモノガ許サヌカラ、遽ニ複線ニハ出來マイケレドモ、始メヨリ隧道トカ或ハ橋梁ノ如キモノハ複線ニシテ置イテ平時ハ漸ク……經濟ノ許サヌ時ニ於テ複線ニシテモ宜イノデアアル、然ルニ斯ノ如ク僅五十二哩ノ間ニハ隧道ガ二十七モアリ、或ハ橋梁ガ六十三モアルト云フヤウナ日本一ノ險阻ナ所ニ莫大ノ金ヲ使ツテ單線ヲ敷キマシタナレバドウデアリマスカ、後世ドウシテ之ヲ複線ニスルコトガ出來マスカ、當局者ハ勿論十分ニ言譯ガ出來テ居ルサウデアリマス、始カラ

複線ニスルヨリモ後ニ複線ニスル方が得アル、大ナル穴ヲ明ケルト云フト天井が高クナル、あゝちガ高クナルカラ工事ガムツカシイノデアアル、左様ニ二ツ併ベテヤルト云フトあゝちガ低イカラ工事モ樂デアアル、工事ガ樂デアルト云フ風ニ若モツレニ攻撃ガ出テ來タナレバサウ云フ風ニ言譯ヲシヤウデハナイカト云フ風ナコトマデ出來テ居ルサウデアリマスガ、ツレガ廣ガツタメニ其比例ニあゝちガ上ルト云フヤウナコトガドウシテアルデゴザイマセウカ、ソノナ學術、建築學ト云フモノハ、不十分ナモノデハゴザイマス、又今一ツニハ斯ノ如キ嶮路ヲ初メカラ複線ニシマセマデ、單線ニシテ後ニ經濟ノ許ストキニ複線ニシヤウト思フテモ當局者ノ見込通り二本敷クコトガ出來ルカト云フト、出來ナイノハ極ツテ居リマスガ、當局者ノ言フニハ、イヤハ王子線ハ誠ニ道ガ良クツテ二本敷クコトハ樂デアルト云フト言フサウデアリマス、ケレドモ若シモ樂ナ道ナレバ五十三哩ノ間ニ斯ノ如ク二十七ノ隧道ガアリ、六十三ノ橋梁ヲ架スルト云フヤウナ譯ハナイ管デアアル、此橋ノ數隧道ノ數ニ於テモ道ノ最モ險阻ナルコトハ分ツテ居ルノデアアル、又當局者ハ未來ノコトヲ以テ言フナレバ吾々ハ素人デアアルカラ少シモ分ラナイ、ケレドモ過去ノコトニ就イテ考ヘタナレバ確水時ノあぶ式ハ今二ツ併ベテ穴ヲ開ケルコトガ容易ニ出來ルカト云フト容易ニ出來ナイノデゴザイマセウ、或ハ小サイ隧道、山北ノ七ツノ隧道ノ左右ニドチラニデモ宜シイカラ一線ヲ増スコトガ出來ルカ、是又出來ルコトデハナイ、又東海道デ小サイ所デアリマシテ薩埵峠ノ下ニ隧道ヲドウシテ二ツ併ベルコトガ出來マスガ、或ハ又大崩ノ隧道ノ如キモ、到底後トテ樂ニ二ツ併ベルコトノ出來ナイノハ極ツテ居ル、箱根其他ニ二本隧道ヲ斯ノ如ク穿ツ所ノ場所ハ容易ニヤレナイ、二線後トカラ數クコトノ出來ナイコトハ始メテ數クトキニハ一番良イ線路ヲ撰ム以上ハ、次ギニ數クトキハ縱令出來テモ前ヨリ餘程惡イ隧道ト云フトハ分ツテ居ル、併ナガラ費用ハ莫大ニ掛ルノデアアル、諸君ヨ、軍艦ノ製造ヲ見テ其國ノ海軍ノ技術如何ヲトスルコトガ出來ルト云フ如クニ、鐵道ノ敷設法ヲ見テ其國軍人社會ノ氣風ヲトスルコトノ出來ルト云フハ、西洋各國デ言フ所デハゴザイマセウカ、然ルニ區々タル甲武鐵道會社ノ株主ノ利益ヲ計ルタメニこぢつけタル理窟ヲ拵ヘテ軍事上役ニ立タナイモノヲ拵ヘ、徒ラニ國家ノ經濟ヲ紊亂スルノミナラズ、外國ニ對シテモ日本ノ軍人社會ハ斯ノ如ク役ニ立タナイモノヲ拵ヘテ軍用ト云フテ誇リ、多クノ人民モ成ル程サウデゴザルカト云フテカラニ感服スルノミナラズ、苟モ身ヲ軍事ニ委ネルモノガ貴族院ニモアリマセウシ、或ハ現役土官モ澤山アリナガラ、役ニ立タナイ鐵道ヲ拵ヘテ默ツテ居ルト云フヤウナ氣風デアリマシタナレバ、隨分是ハ小サイ問題デアリマスケレドモ、是ハ鐵道ノ敷設法ノ宜シキニ合フト、軍事ニ適スルト適シナイハ更ニ經濟上ノミナラズ日本ノ兵學ノ進歩ヲ海外ニ現ハスコトガ出來ルシ、又此事ニ就キマシテ少クモ軍人社會ニドウカまきカノトキニ役ニ立ツヤウニシテ吳レナケレバ困ルト云フトコトヲ云フモノガナイト云フ風ニ何ンボ軍人社會ニ服從ノ義務ガ必要トハ言ヒナガラ、吾々ハ鑄ビタル刀曲ツタル矢ヲ取ラナイノハ又軍人ノ平素心掛ケナケレバナラヌ所デアアル、歐羅巴ニ於キマシテモ軍人社會ハ長上ニ對シ服從ト云フトハ最モ重シシマスルガ、彼ノ有名ナルぬるそんノ如キモ「平素汝ノ火藥ヲ濕ラスルコト勿レ」ト云フ

格言ヲ下シタコトガアリマス、則チ平素自ラ火藥ヲ濕ラサナイヤウニシテ國防ノコトニハ徹頭徹尾苟モ身ヲ軍籍ニ置クモノハ十分ニ注意シナケバナラヌト云フトデアアル、然ルニ此不完全ナル鐵道、一向役ニ立タナイ所ノ鐵道ヲ敷イテ、或ハ役ニ立ツトカ或ハ素人デアアルカラソノコトハ一向直打ガナイト云フ風ニ私共ノ議論ヲ御聽取ニナルカ知リマセウガ、ドウアツテモ此設計デハ實際ノトキニ唯ダスラ不完全ナモノヲ此山阪ノ間ニ單線ヲ敷キマシタナレバ決シテ迅速ナル運動ノ出來ナイコトハ是マデノ例ニ於テ能ク分ツテ居ルノデアアル、箱根ノ隧道即チ沼津ト山北ノ間ニ於テハアノ通り四十分一ノ眞直グナ線路デアリナガラドウシテモ役ニ立タナクシテ遠ダシク複線ヲ敷イタ如クデアアルカラ、此崎嶇タル所ノ恐ロシイ山道ヲ通ツテ通常ノ時デスラ單線ハ役ニ立タナイノヲ、況ヤ軍事ノ目的トシテ斯ノ如キ不完全ナルモノヲ設クルノハ日本ノ兵學上ノ耻辱デアアルノミナラズ、誠ニ國家百年ノタメニ經濟上ノ目的ヲ誤ルト云フ事デアアルカラシテ、之ヲ改正シタノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 次ニ太田善四郎君

(太田善四郎君演壇ニ登ル)

○太田善四郎君(百三十七番) エー此修正案ニ一寸文字ノ誤ガアリマスカラ、訂正ヲ願ヒマス、(神奈川縣下八王子)トゴザイマス、エー私ガ此本案ニ對シ「ノ誤デゴザリマス、ドウゾ是ハ訂正ヲ願ヒマス、エー私ガ此本案ニ對シマシテ修正案ヲ提出致シマシタ理由ヲ簡單ニ述ベテ諸君ノ御贊同ヲ仰ガント致シマスルノデゴザイマス、此修正ヲ致シマスル要點ハ、美濃國ノ土岐郡ノ和泉村カラ分岐シテ名古屋ニ達スルノ間三ツノ線路ガゴザリマスルノデス、一ツハ瀬戸線、一ツハ高藏寺線、一ハ小牧線ト云フ通ニナツテ居ルノデアリマシテ、唯今ノ原案ノ線路ハ高藏寺線ト云フモノヲ以テ豫算ガ成立ツテ居リマスヤウニ承知致シテ居リマス、少シク是ハ平坦ノ地ガ多クアリマシテ、自然里程モ近クアリマスルシ、尙ホ又此費額モ此瀬戸線ニ對照致シマスレバ輕クゴザリマス、併ナガラ費用ハ此高藏寺線ト云フモノヲ取ツタモノト推測スルノデゴザリマス、併ナガラ費用ハ此高藏寺線ハ唯今ノ原案ハ瀬戸ニ對シマスレバ減ズルノデゴザリマスルガ、其費用總額ハ何程デアアルカト云フト僅ニ三十一萬圓バカリ此唯今ノ原案ト瀬戸ニ數キマスルノト金員ガ違フノデゴザリマス、如何ニモ目下一時ニ金員ハ三十餘萬圓ノ違ハアルノ、デゴザリマスルガ、全體瀬戸ト云フ土地ハ陶器ヲ產出致シマスル土地デ、今ヲ去ル七百有餘年前ニ加藤四郎左衛門ト云フ人ガ陶器ヲ發明ヲシテ此地ニ始テ開キマシタノデ、日本ノ陶器ノ元祖ト云フテモ宜シイ土地デゴザリマス、又其證據ハ既ニ陶器モ陶磁器モ澤山世ノ中ニゴザリマスケレドモ、總稱瀬戸物ト申スノハ即チ陶器ノ現今總稱トナツテ居ル、從テ獨リ是ハ我地方ノ方言デナイ、此東京ヘ來テ見マシテモ瀬戸物屋ト云フノハ陶磁器ヲ賣ル店デゴザリマス、何故ニサウ云フ名稱ガアルカト云フト、瀬戸ハ陶器ノ元祖デゴザリマス、故ニ、一ノ方言ヲ以テ燒物ヲ瀬戸物ト稱スル如キデゴザリマス、其瀬戸ノ陶磁器ノ產出高ハ一箇年ニ六十二萬九千七百圓、幾ト六十三萬圓程アルノデゴザイマス、又此瀬戸ノ傍ニ多治見ト云フ所ガアリマス、尤モ是ヨリ此地モ矢張此鐵道ニ關係スル土地デゴザイマス、是ニモ矢張產出高ガ六十二萬圓バカリ

ル、合セマスレバ凡ソ百二十三十万圓バカリノ金員ガ毎年一年々歳々此地ヨリ產出致シマス、此地ニ向ヒマシテハ殊更ニ鐵道ヲ敷キマシテモ相當デア
 ル、況ヤ茲ニ中央線ガ此所ヲ通過シマスルニ際シテ此瀨戸ヲ經過シナイト云
 フコトハ誠ニ不當ナル原案デアアル、其當ヲ得ナイモノデアアル、斯ウ云フ本員
 ハ考デゴザイマス、然ルニ經濟ノ點ニ就イテハ如何デアアルヤト云フニ此經濟
 ノ點ニ就キマシテモ先ツ二ツヲ以テ區分ヲ致シテ、一ツハ國家全般ノ經濟、
 一ツハ鐵道其者ノ經濟ト先ツ二ツニ別ケテ鐵道其者ノ經濟ニ取ツテ見マシテ
 モ、此瀨戸ノ一箇年ノ貨物及乗客ノ賃銀ヲ積ツテ見マスルト一箇年六万二千
 五百圓程ノ收入ガアル、シテ見マスルト一時三十一万圓ノ金員ヲ費シテモ一
 年ニ六万二千五百圓ノ收入ガアリマスレバ、一割二分ノ利益ガアル、鐵道其
 者ノ利益ヲ算出シテ見テモ三十一万圓ノ金員ニ恐レテ瀨戸ニ鐵道ヲ敷カヌト
 云フ道理ハナイノデス、又國家全般ノ經濟ノ上カラ論ジテ見マスルト、今日ノ
 現今ノ貨物乗客ノ見積ガ即チ二十三万六千圓程イルノデス、是ガ即チ今日貨
 物乗客ノ運賃デゴザイマス、鐵道ヲ敷設シタ以後即チ貨物乗客ノ鐵道ニ就イ
 テノ賃銀ヲ積ツテ見マスルト、六万二千五百圓デゴザイマス、シテ見マスル
 ト此二十三万六千圓ノ中カラ其六万二千五百圓ヲ引クト差引十七万三千五百
 圓ノ瀨戸ノミノ地ニ於テノ利益ガアル、マダ此外ノ多治見ト云フ所ニモ利益
 ガアリマスガ、先ツ私ハ此瀨戸ニ就イテ利益ヲ算出シタノデアリマス、其外ニ
 又薪炭ヲ運搬スル運賃ハ頗ル多額ノモノデゴザイマス、是モ積算ヲ今日現
 在ノモノヲ致シテ見マスルト二十九万二千圓程年々支拂ヒマスルノデゴザイ
 マス、是ガ鐵道ヲ敷設シテ鐵道ニテ運搬ヲシマスレバ即チ其鐵道敷設後ハ二
 十九万二千圓ノモノガ十三万四千圓デ足リルノデアアル、之ヲ又差引ケバ十六
 万圓ノ利益ガアル、其外ニ又此水會ノ山間ヨリ伐出ス薪ガ自然出來ル、今
 日マデ運搬ガ不便デアリマスカラ無盡藏デ薪ノ得ラレル所モ不便ノタメニ廢
 物ニナツテ居ッタモノガ、此鐵道敷設ノ後ハツレガ利用サル、コトニナレバ、
 是モ一箇年ニ五六万圓程廢物ガ金ニナル、此三ツノ利益ヲ合算シマスレバ一
 箇年ニ凡ソ三十八万九千五百圓ノ利益ヲ得ルノデゴザイマス、是ガ瀨戸ノミ
 ノ利益デゴザイマス、シテ見マスレバ一時ノ此金員ノ三十万圓位ヲ客ンデ此
 所ニ瀨戸ニ鐵道ヲ敷設セヌ時ニハ國家全般ノ經濟ノ上カラ見マシテモ唯今申
 スガ如ク三十八万圓ノ不利益ヲ生ジナケレバナラヌ、然ラバ軍事上ニ於テ如
 何ナル關係ヲ持ツテ居ルト申シマスレバ、此軍事上ニ於テモ曩ニ申シマシタ
 如ク、此三ツノ線路何レニモ優劣ハナイ、別ニ瀨戸線ハ軍事上ノ害ガアルト
 云フコトハ決シテナイ、斯ク申シマスレバ如何ニモ私ガ瀨戸ノ地ニ對シテ私
 論ノヤウニ御聽取ニナルカモ知ラヌガ、サウデナイ、實ニ此瀨戸ニ線路ヲ敷
 カザルハ國家經濟ニ取ツテ不得策極マルモノト私ハ考ヘマス、ソコデ私ハ
 是迄ノ積算ハ詰リ今日不便ヲ極メテ居ル所ノ瀨戸町ノ產出スル所ノモノヲ調
 ベタノデアリマスガ、是ガ鐵道ヲ敷設致シマシテ此處ニ開通ガ附キマシタ以
 後ハ今日ノ算立スル所ハ數倍是ガ増額ヲスルニ相違ナイ、數倍若クハ數十倍
 ノモノニナル、シテ見マスレバ全國ニ澤山ナル利益ヲ得ル瀨戸町ヲ傍ラニ見
 テ其近傍ニ敷イテ此瀨戸ニ關係ナキ鐵道ヲ敷クト云フコトハ甚ダ不得策ト思
 ヒマス、尤モ申ス迄モナク陶器ハ日本ノ美術ノ一デアリマシテ、之ヲ獎勵シ之
 ヲ保護スルハ實ニ國家當然ノ義務ト存ジマスルノデゴザイマス、何卒諸君ニ

於キマシテハ宜シク此事情ヲ御察シ下サレテ御贊成アラシコトヲ希望致シマ
 ス

○江原素六君(二百三十四番) 唯今ノ修正案ノ中ニ正誤ヲスルノヲ忘レマシ
 タ「神奈川縣下八王子」ト云フノハ「東京府下八王子」デアリマス……
 ○太田善四郎君(百二十七番) アレハ先キニ申シマシタ如ク「神奈川縣下八
 王子」ト云フノハ「東京府下八王子」ト直リマシタ(笑聲起ル)
 ○江原素六君(二百三十四番) 本員モ同ジク正誤ヲ致シマス
 (加賀美嘉兵衛君演壇ニ登ル)

○加賀美嘉兵衛君(百五十五番) 諸君ハ本員ハ此ニ八王子線ノ贊成ノ旨意ヲ
 述ベマス、即チ先刻江原素六君カラ御提出ニナツテ修正案トハ反對ト云フコト
 ニナリマス、從ツテ若シ御殿場線ヲ取ルトスレバ或ハ軍事上中山道線ヲ以テ中
 央縱貫線トシナケレバナラヌト云フコトニナルカモ知レマセヌカラ、隨ツテ中
 山道線モ中央縱貫線ニスルコトガ出來ヌト云フコトモ附ケテ述ベナケレバナ
 ラヌト心得マス、極簡單ニ要ヲ摘ンデ述ベマシタナラバ、諸君モ御承知ノ通り
 御殿場線ハ海岸ニ沿フガ故ニ軍事上ノ目的ヲ達スルコト能ハズ、中山道線ハ
 ぶぶぶ式ガ確氷峠ニアルガ故ニ軍事上不便ヲ感ズル、獨リ軍事上ノミナラ
 ズ經濟上ニモ不都合ト云フコトニ過ギナイ、元來八王子線ハ無論此議會ニ於
 テハ滿場一致ヲ以テ迎ヘラル、コト、信ジテ居ッタノデアアル、何ゼト云フニ
 第四議會ニ於テハ政府ガ提出シタルモノハ笹子峠ニ於テぶぶぶ式ガアル、其
 ぶぶぶ式ト云フモノハ甚ダ諸君ノ嫌フ所デアアル、然ルニぶぶぶ式ナルモノハ
 陸軍省若クハ參謀本部ニ於テ再三調査ノ結果トシテ四十分一ノ勾配デ僅ノ隧
 道ヲ一哩増シ工費ヲ百五十万圓増スノミデ、其ぶぶぶ式ヲ排除スルコトガ出
 來タト云フコトハ茲ニ調ガアルノデアアル、此中央縱貫線トシテ近クハ東京神
 戶名古屋、若クハ之ヲ遠クシタナラバ東京大阪間、連絡ヲ付ケテ公私共ニ全
 カラシメ、或ハ東北九州トノ連絡ヲ付ケルタメニ中央縱貫線ノ必要ナルコ
 トハ申スマデモナイ、然ルニ八王子線ニ據ラズシテ御殿場線ニ據ッタナラバ
 ドウデアアルカ、若シ八王子線ニ據ラズシテ中山道線ヲ通ッタナラバドウ
 カ、國防上ノ事ハ當局者其人ガアツテ本員ノ如キ素人ノ説明ハ格別要セヌコ
 トデアラウガ、試ニ短ク一言シタナラバ、若シ御殿場線ヲ取ルト假定スレバ
 一朝外患ノアツタトキニハドウスルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、富
 津觀音崎ノ二箇所ニ由ツテ東京灣ヲ封鎖サレ、サウスルト外海ハ直チニ紀淡
 ニ至ルマデノ間ハ日本ノ船ハ自由ニ動クコトガ出來ヌデ、外國船ガ自由ニ動
 クコトガ出來ル、敵ハ東京ガ陥レバ直チニ我ニ城下ノ盟ヲ爲サシメテ、サウ
 シテ東京附近ノ地ニ上陸スルニ至リ遂ニ大阪神戸ハ敵ノ目指ス所トナルノデ
 アル、敵ガ上陸スルコトガ出來ヌデモ沿岸カラ大砲ヲ打掛ケテ鐵道ヲ破壊シ
 テ交通ヲ遮斷スルコト云フコトハ蓋シ外國ガ日本ニ寇ラスルトキハ眞ッ先キニ
 執ル方針デアアル、御殿場線ナルモノハ外寇ノ時ニウレ等ノ衝ヲ避クルコトガ
 出來ナカッタナラバ、軍事上用ヲ爲ササル事ハ明デアアル(伊藤大八君「政府委
 員陸軍次官」ト呼フ)政府案ニ贊成スルノデアアルカラ從ツテ政府案贊成ノ旨意
 ヲ述ベルノデアアル、中山道線ナルモノハ御承知ノ通りぶぶぶ式ガアル此
 ぶぶぶ式ニ就イテ或ハ先日來一種ノ風説ヲ聞イテ居ル、若シぶぶぶ式ニ澤山
 ノ重量ヲ挽ク所ノ機關車ヲ附ケタナラバ四十分一ノ勾配ト同ジ働ヲ爲スコト

ガ出来ルト云フコトヲ或ル技術師ガ言ハレタト謂フ、諸君ガ或ハ之ヲ耳ニシテあぶと式ナルモノハ格別差支ナイト云フ觀念ヲ起シテ居ル方ガナイトモ言ハレヌカラ一言シテ置ク、四十分一ノ勾配ノアル線路トあぶと式ト同シ働アルニハ或ル技師ハ百六十噸ヲ挽ク機關車ヲ附ケレバ宜イト言フタト謂フガ、ソレハ二十分一ノあぶと式ニ附イテサウ謂ベタト云フコトデアアルガ、二十分一ノあぶと式デナケレバ六十噸ノ機關車デ四十分一ノ勾配ト同シ働ガ出来ヌト云フコトハ、現ニ碓氷峠ハ十五分一ノあぶと式デアアルガ、八十噸ノ機關車ヨリ用ヒラレテ居ラヌト云フコトハ明デアアル、又其四十分一ノ勾配ト十五分一ノあぶと式ト同シ働ヲ爲サシメルト云フコトハ今一ツノ説ニ(ヨシ給ヘ)ト呼フ者アリ)あぶと式ハ七分一ノ抵抗力アルモノト云フ算盤ノ立ツテアルト云フコトハ西洋各國ニ於テモ日本ニ於テモ四分一ノ五分一ノヨリ外ニ進メラル、コトノ出来ヌノ七分一ト云フ調ヲシテアルノハ二ツトモ根據ヲ失ツテアルカラ、あぶと式ハ如何ナル機關車ヲ用井テモ四十分一ト競争スルコトハ出来ヌト云フコトハ明デアアル、ソレデアアルカラあぶと式アル碓氷峠ノ鐵道ヲ以テ中央縦貫線ニスルコトノ不都合ト云フコトハ分ル、又昨年ノ八月ニ於テ陸軍省デ假ニ東京ヨリ直江津ニ一師團ノ兵ヲ送ルトシテあぶと式ノ效用如何ヲ試メシタニ、東京カラ直江津ニ一師團ノ兵ヲ送ルニ歩行ナレバ十四日間デ行ケル、若シアル鐵道ニ據レバ二十四日ヲ費ヤス、即チ歩行ガ汽車ヨリ早イコト十日間ト云フ實例モアル、凡ツ此等ノ者ヲ以テあぶと式ナルモノハ實際軍事上ニ不便デアアルト云フコトヲ考フレバ中山道線ヲ以テ八王子線ニ換フルト云フコトハ出来ヌ、又經濟上カラ言ヘバ御殿場線ハ多クハ富士ノ裾野ノ燒ケ土ノ役ニ立タヌ處ヲ通ツテ居ル、所ガ八王子線ハサウデナクテ廣イ沃野ヲ通ツテ居ル、サウシテ碓氷峠ハ今日デアスラモ貨物停滯ノタメニ甚ダ困ツテ居ルノデアアル、他日中山道線ガ出来タナラバ一層甚シキニ至ルト思フ、八王子線ト篠ノ井線ト連絡ヲ付ケタナラバ經濟上北陸北海ノ物ヲ東海ニ出スニ大變便利ガアル、經濟上カラ論ジテモ軍事上カラ論斷シテモ如何様ニ考ヘテ見テモ碓氷峠ノ鐵道ガ中央縦貫線ノ間ニ挾ツテ居レバ用ヲ爲サヌト云フコト、御殿場線ガ軍事上ノ用ヲ爲サヌト云フコトハ明カデアアル、今日此國防ノ急務ナル時ニ當ツテ則チ諸君ハ數千萬圓ノ金ヲ注イテ軍艦ヲ造ルニ協贊サレタ、其國防ノ必要ナルコトヲ認ムル今日ニ當ツテ日本ノ骨髄トモ云フベキ中央縦貫線ノ通過ヲ妨ゲ、若クハ不完全ナラシメテ區々己ノ目的ヲ達シヤウトスルトキハ甚ダ國家ノタメニ惜ムコトデアアル、國家ハ國防上必要ノタメニ軍艦モ造リ、砲臺モ築キ、或ハ經濟上必要ノタメニ運河港灣ヲ修築スル國家ニシテ經濟若クハ軍事上必要ト云フトキニ當ツテ區々タル僅ノ金額ノ多少ヲ以テ之ヲ左右スルコトハ出来ナイケレドモ、中央線ノ通過スル處ハ生絲ノ産出ノ一ツバカリヲ以テ見テモ年々外國ニ向ツテ二千万以上ノ輸出ヲシテ居ル、故ニ一千万圓位餘計中央線ニ掛ツテモ國家經濟ノ上ニ於テ此線ヲ貫通シテ大ニ物産ノ發達ヲ來シタナラバ、一向憂フルニ足ラヌ事デアアル、簡單ニ贊成ノ理由ヲ述ベマス

○議長(楠木正隆君) 討論終結ガ議場ノ問題ト成リマシタカ……

(「贊成々々」ノ聲起ル)

衆議院議事速記第七號 明治二十七年五月二十三日 (甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第二讀會

○伊藤大八君(四十四番) 討論終結ハ悉クデゴザリマスカ、此修正案ガ幾ツモアル、ソレニ就イテ吾々ハ此ノ修正案ニ就イテハ贊成シテ通告シテアル、ソレデ此八王子線丈ノ事デアリマスカ

○議長(楠木正隆君) 議事日程ニ就イテノ動議ニナルノデアアル、ソレデ修正ハ是ハ一ノ修正デアアルナラ、矢張討論終結トナル……

(「勿論」ト呼フ者アリ)

○議長(楠木正隆君) 決ヲ採リマスル、討論終結ノ決議ヲ採リマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 大多數

○工藤行幹君(百四十五番) 私ハ此決議ヲ採ルニハ如何ニモ此鐵道ノコトニ就イテハ色々此議會ニ就イテ醜聞モアリマス、故ニ是ハ記名投票ヲ以テ決セラレンコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君) 修正案ヨリ決議ヲ採リマス、第一ニ角田君ノ修正案ヨリ決議ヲ採リマス、念ノタメニ朗讀ヲシテ一々決議ヲ採リマス

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中中央豫定線比較線路中東京府下八王子ヨリ起工スル所ノ法律案ニ左ノ但書ヲ附スルコト

但八王子ヨリ甲府ニ至ル線路ハ追テ決スヘシ

○議長(楠木正隆君) 唯今朗讀ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠木正隆君) 次ハ山田東次君ノ修正案

(町田書記官朗讀)

東京府下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ上下伊那郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

○議長(楠木正隆君) 右朗讀ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠木正隆君) 次ハ江原素六君ノ修正案

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中中央豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

神奈川縣下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道トアル内(神奈川縣下八王子)トアルヲ(静岡縣下御殿場)ト修正ス

○議長(楠木正隆君) 決議ヲ採リマス、右ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠木正隆君) 次ハ太田善四郎君ノ修正説

(町田書記官朗讀)

鐵道比較線路決定ニ關スル法律案中神奈川縣下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ長野縣下西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道ニ左ノ但書ヲ加フ

○議長(楠木正隆君) 討論終結ト呼フ者アリ)

○議長(楠木正隆君) 討論終結ガ議場ノ問題ト成リマシタカ……

(「贊成々々」ノ聲起ル)

衆議院議事速記第七號 明治二十七年五月二十三日 (甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第二讀會

衆議院議事速記第七號 明治二十七年五月二十三日 (甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第二讀會

衆議院議事速記第七號 明治二十七年五月二十三日 (甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第二讀會

但岐阜縣下中津川以西ノ線路ハ岐阜縣下多治見及愛知縣下瀬戸ヲ經ルモ
ノトス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、右ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 少數

○東貞三郎君(百二十六番) 議長

○議長(楠本正隆君) 採決中デス——原案ヲ朗讀致シマス

○東貞三郎君(百二十六番) 決議ノ採リ方ニ就イテ一言シタイ

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中中央豫定線比較線路ハ左ノ線
路ヲ採ル

東京府下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛
知縣下名古屋ニ至ル鐵道

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、原案ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、原案ニ決シマス

○加賀美嘉兵衛君(百五十五番) 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ願ヒマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○角田眞平君(ソナナ亂暴ナコトハナイ)ト呼フ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、如何デス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 直ニ三讀會ヲ開クニ——三讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ
起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス

(甲)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出)

○議長(楠本正隆君) 直ニ三讀會ヲ開キマス 第二讀會

○綾井武夫君(十一番) 異議ヲ申立マス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 朗讀ハ省キマス

○綾井武夫君(十一番) 異議ヲ申立マス

○議長(楠本正隆君) 宣告後デゴザイマス

○田艇吉君(二百九十二番) 二讀會デ可決シマシタ通り直ニ確定セラレンコ
トヲ希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 本案確定ノ議ヲ採リマス、該案ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス

(拍手起ル)

第二 (乙)鐵道比較線路決定ニ關スル

法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員)

第一讀會ノ續(特別委員)

第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 次ノ日程ノ第二ニ移リマス——朗讀

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中北越豫定線比較線路ハ左ノ線
路ヲ採ル

新瀨縣下直江津ヨリ新瀨及新發田ニ至ル鐵道

○議長(楠本正隆君) 佐藤里治君

(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○佐藤里治君(二番) (簡單々々)ト呼フ者アリ)本案ヲ可ト致シマスル理由
ハ(粟谷品三君簡單々々)ト呼フ)線路ノ甚ダ平易デアルト、工費ノ從ツテ減
少スルノト、ソレカラ既成線路ヲ成ベク餘計ニ利用シヤウト云フノ性質ト、
ソレカラ第二期線ニナツテ居リマス北越ト北陸ノ聯絡線、富山直江津間ガ他
日敷設ニナリマシタ折ニハ、最モ此線路ハ必要ナリト云フ廉ヲ以チマシテ是
ハ原案ヲ可ト致シマシタ簡單ニ……

○新井毫君(百二番) 委員長ニ質問ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 百二番

○新井毫君(百二番) 委員長ニ御尋ヲ致シマス、此原案ノ——政府案ノ方ハ
四百七十萬圓ト云フコトヲ譯ニナツテ居リマスガ、又一方ノ私設目論見書
ナルモノガ配分ニナツテ居ルノヲ見マスルト、三百七十萬圓ト云フモノガ出
來テ居ル、官設ナラバ四百七十萬圓掛ツテ、民設ナレバ三百七十萬圓ト云フ
百萬圓ノ差ガアリマス、所デ一方ハ私設許可ノ法律案ガ出テ居ルト云フコ
トニナルト、官設ニスレバ百萬圓ト云フ丈ノコトガ此決定線ニカハリ、民設
ニナレバ——四百七十萬圓タカラ民設ダト三百七十萬圓デ、百萬圓ノ差ガア
ルト云フノハ、是ハ如何ナル事情デ斯様ナコトガ出來テ居ルノデアリマスガ、
御尋シマス

○佐藤里治君(二番) ソレハ此私設ノ願ノ工事ノ設計豫算ト、政府ノ調ノ豫
算ト違フコトガ往々アルノデゴザイマス、他ノ會社ニモ餘程アル、然ルニ此
私設願ハ御承知ノ私設鐵道條例ニ依ツテ測量スルコトヲ假リニ許スコトニナツ
テ居ル、假免狀ヲ得マサル折ニチヤんと本當ノ測量ヲシ、條例ニ依ツテ工事
ノ豫算起業ノ目論見ヲ附ケマシテ、而シテ始メテ精確ノ豫算ヲ持出スノハ
總テ鐵道願ノ順序ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ假免狀ヲ出願スル折
ニハ多少金額ガ政府ノ調ベタモノト違ガアリマシタ、所ガ是ハ假免狀測量願
丈ノ手續ニナツテ居リマスカラ、假免狀ヲ得マシタ折ニ本測量ヲシマシ
テ、始テ確定ノ豫算ヲ會社ガ出ス手續デゴザイマス、ソレデ唯私設ノ假免狀
ヲ願フト云フ目論見ニハ唯豫算ノ大體ヲ製シテ持出セバ宜シイト云フノデ、
今日ノ條例ノ手續ニナツテ居リマスカラシテ、素ヨリ是ハ大凡ノ見込ト見テ
居ルノデゴザイマス、ソレデ多少ノ違ト云フモノハ固ヨリ唯假リニ是ハめど
ヲ附ケテ會社ガ願フト來ルニ過ギナイ、條例ノ手續ニナツテ居リマスカラ敢テ
答メマセヌノデアリマス

○新井毫君(百二番) 再ビ御尋致シマスガ、假ニ見込ヲ附ケタノダカラ多少
ノ違ガアツテモ構ハヌト云フ話デアリマス、ケレドモ多少デハナイデハゴザ
イマセヌカ、四百七十萬圓ノ高デ百萬圓違フト云フコトハ多少ト云フヨリ
モ大ナル違デアリマス、然ラバ之ヲ私設ニ許可スルコトニナリマスレバ無

論其會社ハ百万圓ノ利益ニナルト云フコトニナリマス、其邊ノコトハドウナツ
テモ構ハヌト云フ趣意デスカ、世上ニハ種々斯ウ云フコトニ就イテ疑問モ
アリマスカラ、委員長ニ於テサウ云フ事情ニナツテ居ルト雖モ御承知デ、宜
シイト御認ニナツタノデアリマスカ

○佐藤里治君(二番) 是ハ委員會ニ於キマシテハ——尙ホ委シイコトハ當局
者カラ御聞ニナル方ガ宜イダラウト思ヒマス、ケレドモ此私設ヲ許可スルト
云フコトハ唯私設鐵道條例ノ手續ニ依ツテ本測量ヲスル丈ノ願デアルカラ、
其豫算ノ點ハ深く講究スル價値ハナカラウト云フ見込デ……

○新井毫君(百二番) 委員會ニ於テハ調査シナカッタノデスカ、深く研究ス
ル必要ハナイト思ッテ——サウスルト不調査デアッタノデスカ、
○佐藤里治君(二番) 不調査シヤナイ、今ノヤウナ考デ深く講究スル價ハナ
イト思ッタノデ……

○新井毫君(百二番) 宜シウゴザイマス、マダ御尋シマス、此直江津線ノ
測量ニ就キマシテ何故ニ鐵道廳ニ於テ三十分一ノ勾配ヲ以テ之ヲ測量シタ
カ、四十分一ノ上越線ハ是ハ報告書ニモアルカラ、是ハ本問題ト關係シテ居ル
カラ御尋シマスガ、直江津線ト外ノ二線トノ勾配ヲ比較シテ見マスレバ上越
線ハ三十分一ノ勾配ヲ以テ測量シテアリマスガ、民間ノ調査ニ依ツテ見レバ
四十分一デ之ヲ調査シテ十分隧道モ一哩半バカリテ出來ルガ、此三十分一
ノ調査ニ依ツテ見ルト、政府ガ爲シタル所ノ調査ニ依ツテ見マシテモ明治二十
五年ノ調査トシテ二哩九分四厘トナツテ居リマス、四十分一ノ勾配デヤツテ見
マシタ所デ、二十五年十一月民間ノ調査ニ依レバ二哩八分四厘ノ調査ノ結果
ニナツテ居リマス、清水越ノ隧道ニ就イテモ亦二十六年三月ノ再調査ニ依
テ見ルトツレガ又減シテ一哩半位ニアル四十分一ノ勾配デマス、三十分一
ノ勾配デノ測量ナレバ大隧道ノ頂上ノ隧道ノ哩數ガ減ズベキニ、却テ政府ノ
調査ノ如キ二哩九分四厘ト云フ如キ大變——大變ト云フ程デハナクモ民間ノ
調査ヨリモ、四十分一デ調査シタヨリモ深クシテ且ツドウモ……深クデハア
リマセヌガ廣ク長キ調査ノ出來テ居ルノハ頗ル疑ノ存スル所デアリマス、斯
ウ云フコトニ就イテハ大ニ利害ノ關スルコトデ、ツレハ總テ運搬力ニ影響ヲ
及ボス大利害ニ關スルモノデアアルノニ、何ガ故ニ政府ハ三十分一ノ勾配ヲ以
テ測量シタノデアリマスカ、殊ニ普通鐵道ノ四十分一ハあふと式十分一ト
同シ今日ニ於テ運搬力ヲ持ツテ居ル今日ニ於テ、殊ニ帶ニ短シ襪ニ長シト云フ
ヤウナ彼ノ勾配ヲ以テ測量シテ茲ニ報告シタト云フハドウ云フコトデアリマ
スカ、御承知デアリマスナラバ承リタイ

○佐藤里治君(二番) ツレハ當局者ニ御聞ニナル方ガ委シカラウト思フ
○新井毫君(百二番) サウスルト調べナイノデスカ
○佐藤里治君(二番) 調べハシタガ、當局者ノ方ガ……
○新井毫君(百二番) 當局者ニ聞クナラ、アナタニハ聞キマセヌ
○佐藤里治君(二番) アナタノ御尋ハ詰リ測量ヲナゼスウシタ、ア、シタト
云フ御問ノヤウデアリマスガ、私共ノヤツタ測量デハナイカラ、如何トモ御
答ハ出來ナイ

○新井毫君(百二番) ツレニシタ所ガ是丈ノ大問題ヲ決スルノニ總テノ材料
ヲ精密ニ調査シテ、アナタト云フ譯デハナイガ委員會ハ決シナケレバナラヌ

ノデアアル、ツレニサウ云フコトハおれハ知ラナイ、ア、云フコトハ知ラナイ、
曩ニ他ノ議員モ言ヒマシタ如ク、委員會ノ速記録デサハ配付シテナイ、アレ
モ知ラナイ、是モ知ラナイト云フ、サスレバ直江津線ノコトニ就イテハ他ノ
線トノ比較ニ於テハ委員會デハ調査ハ無カッタノデアリマスカ

○佐藤里治君(二番) 調査ハシマシタ、詰リ私ノ唯今述ベマシタコトハ大體
ヲ以テ判斷ヲ下シタノデスカ、三ツノ比較線ノ大體ニ就イテ特別ノ利害ヲ講究
シタノデ、其點ニ就イテハ詰リ直江津線ト云フモノハ、就中工費モ減シテ居リ、
線路ノ勾配モ宜シイノデアリマス、又從來敷設シテ居リマス鐵道ヲ成ル丈長
ク利用スルト云フ一體ノ上ニ就イテ利益ガアル、ツレカラ先度述ベマシタ如
ク他日富山ニ聯絡ヲ附ケル目的ヲ附ケマスルト、ドウシテモ三ツノ比較線路
ノ中其一ツヲ決定スルコトハ直江津ガ優等デアルト云フ、是ハ大體ノ優劣ヲ
聞ハシテ極メタノデアリマスカラ、何分ノ一ヲドウシタスウシタト云フヤウ
ナ委シイコトハ當局者ニ御聞ニナル方ガ分ル

○新井毫君(百二番) 御分リニナラナケレバ宜シイ、尙ホ強ヒテ御尋ハ致シ
マセヌ、マダ御尋シマスガサウスルト委員會ノ見込デハ富山ノ方ニ接續スル
方ガ宜イト云フ御見込デアッタノデスカ
○佐藤里治君(二番) ツレハ第二期線ノ法律ニ記載ニナツテ居リマスカラシ
テ、此線路ノ通り施行シタ曉ニハ直江津線ニ關係ヲ結付ケルノガ相當デア
ルト認メタノデアリマス

○新井毫君(百二番) 尙御尋致シマスルガ、此直江津線ト上越線ノ比較線路
ノ取捨ニ就イテハ或ル役所ト或ル役所ガサウ喧嘩ヲシテハイケヌカラ、ツレ
ハお前ノ廳ノ意見ニ任セル、おれノ方ノ役所ノ意見モ採ツテ吳レト云フヤウ
ナコトカラ上越線ガ……落チタト云フ如キコトヲ聞イテ居ル、斯様ナコトハ
諸官衙ニ於テアルベキコトデハゴザイマセヌケレドモ、其交換ニナツタ線ト
云フモノハ私ハ言ハナイ、ケレドモ斯様ナコトガ風評ニシロアルト云フコト
ハ頗ル國家重大ノ問題ニ取ツテ悲ムベキコトデアツテ、若モアツタナラバ我
國家ノ盛衰ニ大關係ガアルコトデアルト私ハ思フノデアアル、如何ニ八方美人
ガ流行シテモ全國鐵道ニ關スル——國家ノ基礎ニ關スルモノガ、斯様ナ交換
のニナツタト云フ噂ガアツタ、斯様ナコトハ委員會デハ御調ニナラナカッタ
ノデスカ

○佐藤里治君(二番) サウ云フコトハ一向存シマセヌ
○議長(楠本正隆君) 新井毫君——通告順ニ從ッテアナタノ登壇ヲ促シマス
(新井毫君演壇ニ登ル)

○新井毫君(百二番) 本員ハ本案ニ對シテハ反對ヲ致シマス、此直江津線ハ
其起ヲ尋ネテ見マスレバ、元來此政府ガ先年中山道鐵道ヲ設計セラレタトキ
ニ木材其他ノ物ヲ——材料ヲ運搬スルノ目的ヲ以テアスコニ建テタモノデア
ル、確水鐵道ノ拔ケタ以來聊カ本線ノ支線ナルガ如キ形ヲ存シテ居リマス、
ケレドモ元來斯様薄弱ナ原因ニ依ツテ起ツタモノデアリマス、又外ノ線ト比
較シテ見マスレバ成程既設線ガ多イカラ工費モ安イヤウデアリマスケレド
モ、之ヲ大體ニ於テ東京ニ接續スルノガ一番——中央府タル東京ニ接續スル
ノガ上越ノ利益デアアル、又新潟縣ノ利益デアアルト云フコトカラ見マシタナ
ラ、大ニ賃金時間其他ノコトニ於テハ差モアリマスシ、又哩數杯ニ至ッテハ大

○新井毫君(百二番) 尙御尋致シマスルガ、此直江津線ト上越線ノ比較線路
ノ取捨ニ就イテハ或ル役所ト或ル役所ガサウ喧嘩ヲシテハイケヌカラ、ツレ
ハお前ノ廳ノ意見ニ任セル、おれノ方ノ役所ノ意見モ採ツテ吳レト云フヤウ
ナコトカラ上越線ガ……落チタト云フ如キコトヲ聞イテ居ル、斯様ナコトハ
諸官衙ニ於テアルベキコトデハゴザイマセヌケレドモ、其交換ニナツタ線ト
云フモノハ私ハ言ハナイ、ケレドモ斯様ナコトガ風評ニシロアルト云フコト
ハ頗ル國家重大ノ問題ニ取ツテ悲ムベキコトデアツテ、若モアツタナラバ我
國家ノ盛衰ニ大關係ガアルコトデアルト私ハ思フノデアアル、如何ニ八方美人
ガ流行シテモ全國鐵道ニ關スル——國家ノ基礎ニ關スルモノガ、斯様ナ交換
のニナツタト云フ噂ガアツタ、斯様ナコトハ委員會デハ御調ニナラナカッタ
ノデスカ

○佐藤里治君(二番) サウ云フコトハ一向存シマセヌ
○議長(楠本正隆君) 新井毫君——通告順ニ從ッテアナタノ登壇ヲ促シマス
(新井毫君演壇ニ登ル)

○新井毫君(百二番) 本員ハ本案ニ對シテハ反對ヲ致シマス、此直江津線ハ
其起ヲ尋ネテ見マスレバ、元來此政府ガ先年中山道鐵道ヲ設計セラレタトキ
ニ木材其他ノ物ヲ——材料ヲ運搬スルノ目的ヲ以テアスコニ建テタモノデア
ル、確水鐵道ノ拔ケタ以來聊カ本線ノ支線ナルガ如キ形ヲ存シテ居リマス、
ケレドモ元來斯様薄弱ナ原因ニ依ツテ起ツタモノデアリマス、又外ノ線ト比
較シテ見マスレバ成程既設線ガ多イカラ工費モ安イヤウデアリマスケレド
モ、之ヲ大體ニ於テ東京ニ接續スルノガ一番——中央府タル東京ニ接續スル
ノガ上越ノ利益デアアル、又新潟縣ノ利益デアアルト云フコトカラ見マシタナ
ラ、大ニ賃金時間其他ノコトニ於テハ差モアリマスシ、又哩數杯ニ至ッテハ大

○新井毫君(百二番) 尙御尋致シマスルガ、此直江津線ト上越線ノ比較線路
ノ取捨ニ就イテハ或ル役所ト或ル役所ガサウ喧嘩ヲシテハイケヌカラ、ツレ
ハお前ノ廳ノ意見ニ任セル、おれノ方ノ役所ノ意見モ採ツテ吳レト云フヤウ
ナコトカラ上越線ガ……落チタト云フ如キコトヲ聞イテ居ル、斯様ナコトハ
諸官衙ニ於テアルベキコトデハゴザイマセヌケレドモ、其交換ニナツタ線ト
云フモノハ私ハ言ハナイ、ケレドモ斯様ナコトガ風評ニシロアルト云フコト
ハ頗ル國家重大ノ問題ニ取ツテ悲ムベキコトデアツテ、若モアツタナラバ我
國家ノ盛衰ニ大關係ガアルコトデアルト私ハ思フノデアアル、如何ニ八方美人
ガ流行シテモ全國鐵道ニ關スル——國家ノ基礎ニ關スルモノガ、斯様ナ交換
のニナツタト云フ噂ガアツタ、斯様ナコトハ委員會デハ御調ニナラナカッタ
ノデスカ

○佐藤里治君(二番) サウ云フコトハ一向存シマセヌ
○議長(楠本正隆君) 新井毫君——通告順ニ從ッテアナタノ登壇ヲ促シマス
(新井毫君演壇ニ登ル)

約七十哩以上モ上越線ト比シテ見マシタトキニハ延長シテ居ルト云フ譯デア
 アルカラ、時間モ既ニ五時間餘ノ差ガアル、斯様ナ點カラ觀察ヲ致シテ見マ
 スルト云フト、既設線ハ多イ、工事モ安イ、或ハ總テノ點ニ於テ之ガ容易ク
 出來ルト云フヤウナ理由ヲ以テ此線ヲ決定スルト云フコトハ大ニ不同意ヲ表
 サナケレバナリマセヌ、元來直江津線ハ加フルニ世人ガ種々物議ニモ上ツテ
 居リマス通り、此線ニハ有名ナル碓氷ノ嶺ト云フ式ガアルノデアアル、何モあ
 ぶ式其物ガ鐵道ノ便利ヲ害シ、上越線ト對シテ之ガドウダト云フコトニ就イ
 テ言フノデアアリマセヌケレドモ、あぶ式其物ガ鐵道ノ利益ヲ害シ、あぶ
 式ガ鐵道ニ害ガアルト云フコトヲ言ハナクモ碓氷ノ嶺ト云フ式ハ現實ニ
 利益ガ少ナクシテツレ丈ノ不便ガ多イ、荷物、人ノ運搬等ニ就キマシテモ此
 あぶ式ト云フモノガ不便ヲ與ヘルト云フコトハ實地上ニ於テ世間ノ人ガ之
 ヲ知ツテ居ルコトデアリマス、況ヤ總テノコトニシテ見マシタ所ガ東京ニ行
 クニハ迂迴ヲシテ八十哩モ餘計上越線ニ比シテ見マシタ所ガ東京ニ行
 至リマシテハ、此線ヲ取ルト云フ必要ハナイノデアアル、之ヲ經濟上ニ照シテ
 見マシテモ實際大ニ不利益デアアル、其點ニ就イテ見マシタ所ガ大凡年々五十
 万圓乃至百万圓位ト云フモノハ確ニ等差ヲ生ジテ居ルノデアアル、斯様ナ迂迴
 シテ此中央帝都ニ貫聯スルニ就イテ最モ不便ナ線ヲ擇ムト云フコトニ就イテ
 ハ、甚ダ悲ム所デゴザイマス、殊ニ又世人ノ能ク言フガ如ク彼ノ西伯利亞鐵
 道ガ一タヒ貫ケタ日ニハ——開通シタ日ニハ北門ト云フモノハ之ヲ貿易上交
 通上ニ又軍事上ニ就イテ種々ナ關係ヲ密接ナラシムルト云フコトハ明ナ話デ
 アリマス、斯様ナ點カラ論ジテ見マシタトキニハ之ヲ富山若クハ奥羽線ノ方
 ノミノ關係ヲ見テ獨リ此關東ヘノ關係ヲ見ズシテ此線ヲ茲ニ輕々ニ決定スル
 ト云フコトハ甚ダ國家ノためニ取ラナイ所デアアル、又此直江津線ハ工事ハ困
 難デハナイト申シマスケレドモ、近頃政府ガ設計ヲ變ジテ柏崎カラ長岡ニ參
 ルヤウニシマシタカラ如何ニモ海岸線デアアルト云フ攻撃ヲ避ケタヤウナ形ニ
 ナツテ居リマス、ケレドモ柏崎直江津間ニ於テモ諸君ガ知ラレル如ク米山ト
 云フ峻嶮ガアルノデアゴザイマス、加フルニアスコハ海邊デアリマスカラ、
 沙丘テ所謂沙ノドウモ海カラ寄セテ來ル沙丘ト云フモノガアリマシテ、此上
 ニ鐵道ヲ建設スルト云フコトハ甚ダ危險デモアリ、又經費モ掛ルト云フコト
 デアル、碓氷ノ嶺ト云フ式モ未ダ十分ニツレ丈ノ利益ヲ奏セザルニ、加フルニ沙
 地ノ上ニ鐵道ヲ建テルト云フコトハ最モ取ラナイ所デアゴザイマス、是ヨリハ
 寧ロ比較シテヨリ善キ線ガアルナラバ、其方ニ無論決定致スベキモノデア
 ル、斯様ナ不完全ナモノヲ茲ニ決定シテ速斷スルト云フコトハ甚ダ採ラナイ
 所デアアル、先ニ屢委員長ニ質問シマシタケレドモ、彼モ調査ヲセヌ、是モ調査
 ヲセヌト云フヤウナコトヲ以テ其實況ニ就イテハ大ニ其調査ノコト、又其私
 設會社ニ官設ニ關スル關係等モ明瞭ナリマセヌ、斯様ニ總テノ點ニ於テ不完
 全ナモノデアアルナラバ、委員會デサハ十分ニ細密ナ答辯ヲスルコトガ出來ナ
 イト云フガ如キモノデアアツテ、加フルニ碓氷ノ嶺ト云フ式或ハ柏崎直江津間
 ノ砂地ノアリマス如キ線ニ就イテ四百有餘萬圓ノ經費ヲ見積ツテ之ガ決定ヲ
 下スト云フコトハ總テノ點ニ於テ貿易上ニ於テモ亦軍事上ニ於テモ經濟上ニ
 於テモ種々ナコトノ點ニ於テ大ニ不便ト不利益ヲ國家ニ來スト思ヒマスカ
 ラ、私ハ之ニ反對ヲ致ス大要ヲ述ベテ置キマス

○内藤久寛君(百八十八番) 唯今ノハ一讀會デア原案ヲ廢棄スルト云フ議論デ
 ゴザイマスカ、或ハ修正ヲスルト云フ議論デアゴザイマスカ
 ○新井毫君(百二番) 二讀會ニ附スベカラズト云フノデス
 ○議長(楠本正隆君) 通告ガ最早盡キマシタニ依ツテ決議ヲ採リマス、二讀
 會ヲ開クヤ如何ト云フ決議、二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立
 起立者 多數
 ○議長(楠本正隆君) 大多數
 ○田中源太郎君(二十八番) 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
 (贊成キヤト呼フ者アリ)
 ○岡村貢君(八番) 議長
 ○議長(楠本正隆君) 八番ハ何デス
 ○岡村貢君(八番) 登壇ヲ……
 ○議長(楠本正隆君) 二讀會ヲ直ニ開キタイト云フコトガ議場ノ議題ニナリ
 マシタ、決議ヲ採リマス、此後トデ——決議ヲ採リマス、直ニ二讀會ヲ開ク
 ニ同意ノ諸君ハ起立
 起立者 多數
 ○議長(楠本正隆君) 多數、直ニ二讀會ヲ開キマス
 (乙) 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會
 ○議長(楠本正隆君) 此場合ニ修正案ヲ朗讀致シマス、本案ノ朗讀ハ省キマ
 ス
 (町田書記官朗讀)
 明治二十五年法律案第四號鐵道敷設法第七條豫定鐵道線路中北越豫定線ノ
 比較線ハ左ノ線路ヲ採ル
 群馬縣下前橋ヨリ新潟縣下新潟及新發田ニ至ル鐵道
 提出者 新井 毫君 長谷川 泰君
 (長谷川泰君演壇ニ登ル)
 ○長谷川泰君(二百十七番) 諸君、本員ハ此法律案ノ修正案ヲ提出致シマシ
 テゴザイマスカラ其修正ノ梗概ヲ述ベマシテ御贊成ヲ仰ギマスノデアアリマ
 ス、第一本員ガ此修正ヲ致シマシタ所ノ精神ハ若シ此直江津線路ヲ取リマス
 ルト云フト幹線ヲ捨テ、支線ヲ取ルト云フコトニナルノデアアリマス、諸君、
 新潟縣ノ地勢ハ滿堂ノ諸君ハ御承知デアリマセウ、如何ナル地勢デアリマス
 カ、先ヅ此東京ヨリ——上野ヲ起點ト致シマシテ新發田ヲ終點ト致シマス、
 丁度脊柱ノ脊骨ニ一本鐵道ヲ通スト同ジコトデアアル、若シ之ヲ譬ヘマカス
 云フト日本鐵道會社ノ線路ニ譬ヘマシタナラバ、丁度上野カラ青森ニ達シマ
 スル脊骨ヲ真中へ一本貫キマカスルノト同ジコトデアアル、若シ鐵道ヲ造リマ
 スレバ幹線ノ脊骨ヲ一本通シテ貫キマカスルノト同ジコトデアアル、若シ直江
 津線路ヲ先ニヤリマスレバ恰モ日本鐵道會社ノ幹線ヲ第二ニシテ水戸線カ若
 クハ兩毛線或ハ日光線ノ如キ線路ヲ先ヅヤリマスルノト丁度同ジコトデアアル、
 能ク政府ハ斯ウ云フコトヲヤリマス、元來是ハ政府ガ初メ斯ノ如キ間違
 計畫ヲシテツレレニ執著ヲシテ居リマスルノデ、諸君初メ政府ガ電線ヲ新潟ヘ
 架ケマシタトキニ如何ナルコトヲシマシタカ、若シ此直江津線ヲ先ヅヤリマ
 スルト當初政府ガ電信ヲ新潟ニ架ケタ失策ヲシタトト丁度一般デアアル、如何

ナル所ニ電線ヲ架ケマシタカ、當時即チ工部省ノ電信局ノ官吏ハ技師タル者ハ日本繪圖ヲ見マシテ、サウシテ新瀾縣ノ一等道路官道ニ先キニ電線ヲ架ケタノデアアル、諸君御承知デアリマセウ、ずつと海岸ヘ架ケマシテ柏崎、推谷、宮川ヲ通りマシテ而シテ出雲崎寺泊、ツレカラ新瀾ニ出タ、ツレハ成程多ク未開ノ越後ノ内地ニ人間ノ棲息シテ居リマセヌ海岸カラ先ニ開ケマシタ砌ハ、即チ今申シマシタ所ノ海岸線ニ一番人ガ澤山住ンデ居ッタニ相違ナイノデアアル、其多クノ開拓ヲ始メマシタトキニ則チ海岸ナル其官道ノ一等道路ニ一番人間ガ澤山住ンデ、一番人間貨物ノ集合點デアアルト斯ウ云フ風ニ政府ガ間違ッタンデアアル、ツレデアリマスカラ出雲崎ノ電信局デアリマシテモ、寺泊ノ電信局デアリマシテモ、官吏ハ技手達ハ終日唯椅子ニ凭ッテ眠ッテ居ルト云フ有様デアアル、元來新瀾縣ニ電線ヲ架ケマシナラバ先ヅ海岸カラ持ッテ參リマシレバ、長岡ヘヤツテ即チ三國峠ノ方カラ參リマシレバ長岡ヘ寄ッテ、三條新瀾ト架ケナケレバナラヌ、何トナレバ即チ人口五万モアリマシラス、ツレニ續イテ人口三万モアリマシラス三條、新瀾縣下即チ第一ノ都府デアラス、其一番人間貨物ノ集散スル燒點タル所ノ商業其外ノ一番繁榮ナル所ニ電信ヲ架ケ、若シ須要デアアルナラバ出雲崎或ハ寺泊ノ如キ特ニ人ノ行キマセヌ所ニハ、ツレハ須要ナラバ架ケテモ宜シイノデゴザイマスカ、初メ政府ハ間違ッテサウ云フコトヲ云フノデアアル、ツレデスカラシテ今度イラヌ所カラ電信ヲ架ケ三條ノ方ヘ引張ル支線ニ則チ引張タ方ガ詰リ幹線ノヤウナ有様ニナツテ居ル、丁度直江津ヲ先ヅヤルノハ恰モ同様デアアル、政府ガ電信ヲ新瀾ニ一等道路ニ一番人ガ通ルモノト間違ッタント同ジデアアル、大ナル誤デアリマスカラ、東京カラシテ新發田マデ一本ヅツとス、ツレカラ即チ支線ヲ直江津ナリ何所ヘナリ引張ル、ツレカラ富山縣ニヤツテ宜シイ、先ヅ幹線ヲ先キニ敷クノガ第一須要デアアル、ツレカラ第二直江津線ヲ先ヅヤルノ、不都合ナルコトハ凡ソ鐵道ヲ持マシマスニハ、其鐵道ノ通リマス所ノ縣各縣ノ則チ關係都府人口ヲ第二ニ見ナケレバナラヌデアアル、諸君、長野ニ掛リマシテ直江津ノ頭カラ新發田マデ鐵道ヲ架ケル宜シイ所ガ此新瀾縣ノ百八十六万ノ人口中、其中佐渡ガ十二万デアリマスカラ、佐渡ヲ除キ七百七十三万ノ人口ガアル、諸君、御承知ノ通り新瀾ノ形勢ヲ申シマス、諸君本員ガ申サズトモ御承知デアリマセウガ、新瀾縣ハ諸君御承知ノ通り一縣デゴザリマシマスケレドモ、其面積人口ハ如何程デアリマシマス福井石川富山三縣ノ障子ヲおつぱシタノガ新瀾縣デアリマシマス、土地ノ面積人口モ幾ド同ジデアリマシマス、之ニ對シテ五十万シテ少クナイ、海岸ハ幾ド同ジデアリマシマス、唯能登國ヲ除イタ位面積ガ少ナイ、則チ殆ド三縣ニ同ジ位ノ國デアリマシマス、而シテ其地形ヲ論ジマシマス米山カラ以南ハ別國デアアル、殆ド別國ト云フテ宜シイ、ソコデ新瀾ノ形勢ハ先ヅ此幹線ヲヤリマシマスルト云フト如何ナル郡村ニ關係ヲ持ツカト云フト、唯今申シマシタル通り人口デアリマシマスカラ、此一市十五郡、一市十五郡ノ中、此中デアリテ直江津線カラ長岡マデノ間ノ關係ヲ以テ居リマシマス所ノ郡ハ御承知ノ如ク東頸城、ツレカラ刈羽郡ノ一部中頸城ト云フモノハドレ程ノ人口ガアルト云ヒマシマス、三十万少シ餘シカナイ、西頸城ヲ入レテモ富山ニ接シテ居ル直江津カラ十八里此方ニ在ル彼ノ親不知子不知、彼處ノ西頸城ノ境

界マデモ人口六万五千シカナイ、漸ク此三郡ヲ入レマシテ人口漸ク三十六七万シカナイノデアリマシマス、ツレ故ニ残り百四十万ハ則チ米山以北ニ棲息ヲシテ居リマシマス人民デアリマシマス、此幹線ヲ一本眞直ニ東京カラ前橋ヲ通りマシテ新發田マデヤリマシマスルト此百五十万ノ人間ニ大ナル關係ヲ持ッテ居ル、若シ信越ニ致シマシマスナラバ則チ關係ハ三ツシカナイノデアリマシマス、又他府縣トノ關係ノハ諸君如何デアリマシマスカ、成程長野縣ハ大縣デアアル、養蠶地テ盛シナ縣デアリマシマス、ケレドモ人口ハ百万シカナイ、諸君關八州ハドウデス、日本ノ大部分ヲ占メテ居リマシマス、ソコデ此新瀾縣デアリマシマス、若シ脊中ナル所ノ此上越線ノ幹線ノ脊骨ガ一本出來ルト此信州ニ對シテ八倍モ人口ガアル關東ノ關八州ト關係ガ容易ニナル利益ガアル、ツレ故ニ長野縣ニ大ニ關係ヲ持ツカ、將タ關東ニ大ニ關係ヲ持ツカト云フハモスルト、新瀾縣ノ七分ハ則チ關東ノ方ニ關係ヲ持ツカト云フテ宜シイノデアアル、凡ソ鐵道ヲ通ジマシマスニハ此各府縣ノ人口其他ノ關係ヲ能ク觀察ヲ致シマシテサウシテ何レニ利益ガアルカト云フコトヲ考ヘテ鐵道ヲ起スベキガ當然デアアル、ツレ故ニ本員ハ第二ニ上越線——脊骨ヲ通スト云フ關東トノ關係ガ信州ヨリ多イデアルト思フ、ツレカラ第三ニ本員ガ述べントスル所ノ精神ハ若シ此上越線ヲ所謂脊骨ニ幹線ヲ通シマシマスルト云フト里數ガ近クナルノデアリマシマス、即チ東京カラ新發田マデ起算ヲシマシテ凡ソ八十哩程近イト云フコトデアアル、五時間ノ時間ノ差ガアル、サウ致シマシマスルト云フト或ル計算ニ委シイ人カラ承リマシマスルト云フト、先ヅ貨物旅客合計致シマシテ一箇年此哩ノ短イタメニ四十二万圓ノ利益ガアリマシマス、サウ致シマシマスルト云フ所カラシテ差引シテ、ツレ程ノ利益ガアリマシマス、或ル人ハ成程ツレハ上越線ガ宜シイ、脊骨ヲ通ス宜シイ、併ナカラ金ガ餘計ニ掛ルト云フ説ガアル、併ナカラ唯今本員ガ述べマシタル如ク八十哩近イタメニ五時間ノ時間ガ減ジマシマス、之ニ對シテ則チ貨物人間ノ交通ガ便利ニナツテ則チ時間ガ縮マルト云フ所カラシテ差引シテ、ツレ程ノ利益ガアリマシマスカラシテ十箇年計算致シマシマスルト云フ所カラシテ差引シテ、ツレ程ノ利益ガアリマシマスカラシテ十年ヲ經ヌ中ニ出ル、或ハ五年テ出ルカモ知レナイ、斯ウ云フ第三ニハ經濟上ノ利益ガアリマシマスノデ、其他新瀾カラ——新發田カラ起算致シマシテ、東京マデ參リマシマス所ノ賃錢則チ乗客ノ汽車代其他色々ノ差ガアリマシマシケレドモ、是ハ暫ク論外ニ致シマシテ喋々辯ジマシマス、斯ウ云フ則チ經濟上ノ便利ガアリ、直江津線ニ比較致シマシテ大層ナ利益ガアリマシマスカラ、ツレ故ニ本員ハ此第三ニ此上越線ノ改正案ヲ提出シタ理由デアリマシマス、第四ニ本員ガ述べントスル所ノ筋ハ凡ソ鐵道ヲ敷キマシマスニハ荒村ヲ取ルガ宜シイカト試ニ尋ネタナラバ、然リ、人口ノ稠密ナル成ルタケ町々宿ノ澤山アル所ヲ取ルガ宜シイト諸君ハ御答ニナルニ相違ナイ、諸君試ニ直江津カラ長岡ニ達シマシマス迄ノ間デス、前橋カラ起算致シマシテ將タ直江津カラ起算致シマシマテ、長岡ニ達シマシマスマデノ間ノ宿々ノ關係ハ諸君如何デアリマシマスカ、柏崎以南則チ米山カラ以南、直江津カラ鉢崎ノ間ハ暫ク是ハ別問題ト致シマシマテ、米山ノ則チ唯今新井君ガ御述ニナリマシマシタケレドモ少シク地形ガ間違ッテ居リマシマス、彼ノ峠ハ除キマシテ柏崎カラ長岡ノ間ハ諸君幾ラ里數ガアリマシマスカ、此間ノ哩ノ諸君御承知モアリマセウガ、則チ柏崎カラ長岡ノ間ハ二十三

哩アリマス、此二十三哩ノ間ニ幾ラ諸君宿ガアリマスカ、則チ此間ニハ御通行ナサレマシタル井上角五郎君ノ如キハ十分御承知置カレル譯デアリマスガ、則チ此間ニ幾ラ宿ガアリマスカ、宮本村ト云フ村ガ一ツアル、尤モ其村ノ三十町程先ニ二百バカリノ村見ヤウチモノガアリマスケレドモ、是ハ論ズルニ足ラナイ(此時發言スル者アリ)ソレレゴザイマスルカ、柏崎ト長岡ノ間ハ日本ノ里數デ九里十二町凡ソ十里ノ間ニタツタ二百バカリアル所ノ宮本村ガアルバカリデゴザイマスル、諸君、上越線デ諸君如何デアリマスルカ、先ツ前橋カラシテ彼ノ清水越ヲ越エマスル所ノ山ノ中ハ暫ク是ハ副問題ニ致シテ度度柏崎カラ此方ヘ參リマシタ間ヲ比較致シマスルノデゴザイマスル、則チ湯澤カラ關マデ三哩ゴザイマス、關カラ鹽澤ヘ四哩、鹽澤カラ六日町ヘ二哩、六日町カラ五日町ヘ四哩、五日町カラ浦佐ヘ三哩、浦佐カラ小出島ヘ二哩、小出島カラ堀ノ内ヘ二哩、堀ノ内カラ川口ヘ五哩、川口カラ小千谷ヘ五哩、小千谷カラ妙見ヘ六哩、妙見カラ長岡ヘ七哩、先ツ斯ウ云フ譯デアリマスル、假ニ則チ米山以北ト鹽澤カラシテ長岡ノ間ヲ比較致シマシタノデアリマス、鐵道局長ガ言ハレル、私ハ先達テ御尋申シマシタ、斯ウ言ハレルノデアル、凡ソ鐵道ヲ築クニハ成ルタケ宿々ノ澤山アル所ヘ築カンケレバナラヌモノデアルト言ハレル、官設鐵道ハ一年ニ十萬人モ乗ルケレドモ、乘リ通フス奴ハ少イ、其宿ト宿トノ間ヲ乘ルカラシテ八里モ十里モ町ノナイ所ニ鐵道ヲ敷イテ所ガ利益ガナイ、果シテ然ラバ何ヲ以テ則チ柏崎カラ長岡ノ間、タツタ村ガ一ツシカナイ所ヘ鐵道ヲ敷ク必要ガアリマスルカ、是レ本員ガ直江津線路ヨリハ則チ上越線路ガ利益ガアルカラ此修正案ヲ提出致シマシタル所ノ第四ノ理由デアリマス、或ハ斯ウ言ハレルカモ知レヌ、サウシタナラバ若シ上越線路ノ則チ此脊骨ヲオツ通シタナラバ支線ノ枝葉、直江津カラ長岡ニ至ルマデノ所ノ鐵道ガ出來ナイデハナイカト云フ心配ヲセラレル人ガアルカモ知レヌガ、是レ大ナル杞憂ト云ハザルヲ得ズ、何トナラバ若シ此幹線ノ脊骨ガ出來マシタル上ニ即チ此幹線ノ脊骨ガ出來テ私立會社ガスルモノト假定致シマシテ、サウシテ之ガ出來上リマシタ以上ハ更ニ直江津カラ則チ長岡ノ間ハ多年則チ請願ヲシテ支線ヲ引張ツテモ宜シイ、恰モ日本鐵道會社ガ上野カラ青森マデ一本幹線ヲ通シタ上ニ水戸線ヲヤリ日光線ヲヤルト同シ事デアル、ソレ故ニ本員ハ先ツ枝ヲ先キヘヤツテ迂迴ヲシテ賃金ヲ餘計拂ツテ時間ヲ餘計ニ費ヤス不便利ナコトヲスルヨリモ、先ツ幹線ヲ築イテ然ル後ニ支線ノ枝ヲ築ク方ガ利益デアラウト考ヘマスルカラ、ソレ故ニ本案ヲ提出致シマシタル所以デアリマス、滿堂ノ諸君、冀ハクバ御贊成アラントコトヲ希望致シマスルノデアリマス、若シ此案ガ成立致シマセヌト云フト實ニ國家百年ノ大計ヲ誤ル次第デゴザイマスルカラ、何卒御贊成ヲ請ヒマス

○議長(楠本正隆君) 百八十八番内藤久寬君

(内藤久寬君演壇ニ登ル)

○内藤久寬君(百八十八番) 私ハ原案ヲ贊成致シマス者デアリマスルガ、先刻新井君ノ御説ガアリマシタケレドモ是ハ随分大變ナ間違ガアル、併シ是ハ實況ヲ能ク御承知アリマセヌ御方デスカラ是ハ據所ナイ、亞イテ長谷川君ガ喋々述ベラレマシタガ、是モ自分勝手ノ説デアリマシテドウモ診察方ガ餘程間違ツテ居ルト思フ(長谷川泰君自分ガ間違ツテ居ルト呼フ又「簡單」ト呼

フ者アリ)私ハ簡單ニ諸君ノ誤マレル所ヲ訂シテ置ク積リデアアル、第一直江津線ハ支線デアラツテ幹線デナラナイト云フコトハ一向分ラナイ話デアアル、既ニ鐵道敷設法案ニチヤント書イテアル、敦賀ヨリ富山等ヲ經テ直江津ニ達スル北陸線トアル、又青森ヨリ新發田ニ達スル奥羽線ガアル、此直江津新發田ノ間ヲ聯絡スルモノハ則チ直江津線ヲ伸バスヨリ外ニ仕方ハナイ、其點ニ至リマシテハ上越線ト云フモノハ殆ド關係ガ違フノデアアル、若シ上越線トシマシタナラバ長岡ヨリ直江津ニ至ル殆ド五十哩バカリノ間ハ一向通路ヲ斷ツト云フモノデアアル、然ラバ此北陸線ト奥羽線ヲ聯絡スル所ノ此一大幹線ト云フモノハ遂ニ途ヲ絶タナケレバナラヌコトニナル、此等ハ一向上越線ト云フモノヲ持出シテ用テ足スト云フコトハ間違ツテ居ル、ソレカラ又上越線ト云フモノガ新井君ノ御説ノ中ニハ七十哩程近クナルト云フコトデアアル、然レドモ七十哩モ近クハナラナイ(新井君)里デハナイ哩ダト呼フ)凡ソ五十哩程近クナル、其五十哩ガ五時間バカリ時間ガ延ビルト云フコトデアリマスガ、五十哩延ビルタメニ五時間延ビルト云フコトハ一向分ラナイ、此節ノぬるい鐵道デモ凡ソ二十哩位ハ走ルデアラウ、殊ニ又上越線ニ至ツテハ三十分ノ勾配ノ所モアルカラ、随分走リ方ハぬるい(新井君)鐵道廳ノ私ナシタ、ソレガ化物屋敷ノ化物屋敷タル所デアルト呼フ)實際ニ於テハ何程ノ違モナイデアラウ、僅ニ一時間カ一時間ノ違デ左程違ハナイト考ヘル(大ナル誤リ)ト呼フ者アリ又「信州ヲ迂迴スルトドウダ」ト呼フ者アリ)先刻米山ノ險ガアツテ砂漠ノ上ニ鐵道ヲ敷クト云フコトデアアルガ、ソレハ一向分ラナイ、今米山ハ立派ニ車道ガ出來テ立派ニ車ガ通ル、ソナ御心配ハイラナイ(合算スルト二哩以上ノ隧道ガアル)ト呼フ者アリ)長谷川君ノ説ノ中ニハ米山以南ノ方ハ別國デアルト云フコトデアアルガ、其別國ヲ何所マデモ分離セシメテ新潟縣ヲ二ツニ割クト云フコトガ果シテ新潟縣ノタメニ利益デアアルカ、又此一國ノ交通ノ便ヲ開クト云フコトガ新潟縣ノタメニ利益デアアルカ、實ニ長谷川君ノ説ハ間違フテ居ル(長谷川泰君)間違ハナイト呼フ)ソレカラシテ長野ト關東ノ關係デアリマスガ、長野ヨリハ關東ヲ近クスル方ガ宜シイト云フ話デアリマス、併ナガラ中央線ト云フモノガ出來レバ、其中央線ト云フモノハ則チ直江津カラシテ關係ヲ及ボスノデ關東ト越後ノ關係ヲ見マシテハ中央線ハ随分大ナル關係ヲ有ツテ居リマス(簡單ニヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ)如何ニ關東ト新發田ノ間ガ近クナルト云フヲ以テ北越全體ノ利害ヲ論ズルハ大變ニ誤ツテ居ルト思ヒマス、ソレカラ柏崎ヨリ長岡間二十二哩ノ間ニ村ガ無イト云フコトデアリマスガ、是ハ二三里毎ニ皆相當ナ村ガアル、長谷川君ナドモ始終通ツテ知ツテ居ラレルノニ、此等ハ實ニ嘘ヲハノ話デアリマス、ソレカラ殊ニ直江津柏崎ノ間ニ人口ノ五百以上モアル村ガ三ツモアリマス、總テ大要ヲ申シテ見マシレバ直江津線ト申スモノハ越後ノ中央ヲ貫クモノデア、之ヲ越エテ停車場ガ多ク出來テ(長谷川泰君)沿岸ガ中央ニナルカト呼フ)效用ヲ收メルト云フ線路ハ他ニナイノデアリマス(長谷川泰君)嘘八百ヨ云フナト呼フ)先刻來(政府委員トシテハ御下手デスナ)ト呼フ者アリ)先刻來長谷川君ノ御論ニハ(長谷川泰君)止メロ止メロト呼フ)一番ノ幹線ヲ一本貫イテ、ソレカラ支線ヲ張ルト云フコトデアリマスガ、單ニ東京ト新發田間ノ……(望月右内君)頼メバ鐵道ハ直グニ出來ルト呼フ者アリ)若シ利益デ

アルト致シマシテモ「簡單ノ」ト呼フ者アリ東京ト新發田間ノ運搬荷物或ハ乗客バカリデナシニ總テ鐵道ト云フモノハ各停車場ガ多クアツテ、而シテ其停車場ノ間ニ降リタリ乗ツタリスル者ガ多クナケレバ效用ヲ廣ク收メルコトガ出來ヌ、今上越線ノ方ハ殆ド深山幽谷ノ間ヲ過ギ通リマシテ僅カ前橋ヨリ小千谷ニ來ルマテ大シテ町村ハ殆ドナイ、三十分一ノ勾配ヲ通ツテ三哩程ノ隧道ヲ通シテ而シテ漸ク廣クシタ所ヘ出ルト云フ譯ニナル、斯ノ如キ場合ニ至リマシテハ工事モ甚ダ難イコトデアリマスカラ、三年五年六年ノ間ニハ成功スルコトハ出來ナイ、故ニ今日ノ急速ヲ要シ、又廣ク效用ヲ收メナケレバナラヌ、ツレデ直江津線ノ延長ヨリ外ニ道ハナイト考ヘマス

○野出鎔三郎君(二百六番) 討論終結
(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 二百六番ヨリ討論終局ノ動議ガ出テ居リマス、決議ヲ採リマス(異議ナシ)異議ナシ)通告ガ大分アリマスカラ決議ヲ採リマス、討論終局ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、前例ニ從ツテ修正案ヨリ決議ヲ採リマス、修正案ノ朝讀ハ省キマス、新井毫君ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、次ハ原案——原案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、原案ニ決シマス

○野出鎔三郎君(二百六番) 直ニ三讀會ヲ開クコトヲ(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 三讀會ヲ開クヤ如何ノ決議ヲ採リマス
(異議ナシ)異議ナシ)ノ聲起ル

(乙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第三讀會

○議長(楠本正隆君) 然ラバ三讀會ヲ開キ(異議ナシ)異議ナシ)確定議ノ決ヲ採リマス、該案ニ對シ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、該案ノ確定ヲ報シマス、次ニ明日ノ議事日程ヲ朗讀致シマス

(水野書記官長期讀)

議事日程 第八號 明治二十七年五月二十四日(水曜日)

午後一時開議

- 第一 國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スル 第一讀會
法律案(政府提出緊急事件)
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
明治二十二年法律第二十五號中追加法律案
- 第三 (政府提出緊急事件) 第一讀會
右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第一讀會
(政府提出)

衆議院議事速記第七號 明治二十七年五月二十三日 (乙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第三讀會

第六(丁) 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第七(戊) 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第八(甲) 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可 ノ件ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第九(乙) 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可 ノ件ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十(丙) 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可 ノ件ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十二(己) 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十三 國稅徵收法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十四 明治二十二年勅令第四百一十一號第一條改正 法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十五 明治二十二年法律第四號中改正法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員) 長報告
第十六 東京砲兵工廠据置運轉資本增加ニ關スル 法律案(政府提出緊急事件)	第一讀會
第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 府縣非常土木費國庫補助法案(林有造君外 三名提出)	第一讀會
第十九 震災地方未納地租延納法案(小室重弘君外 八名提出)	第一讀會
○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報シマスル 午後五時五十六分散會	

衆議院議事速記第五號正誤

頁段 行 誤	頁段 行 誤
一〇二上三五 利益	一〇九上二二 不活
正 利器	正 不治

衆議院議事速記第六號正誤

頁段 行 誤	頁段 行 誤
一八下 七 ゴザイマシテ	二六下 一七 限ツテ
一九下 一七 マシタル	二六下 二二 コトハ
二四上 三五 アルガ如キ	二七上 二三 鞏固ナル
正 ゴザイマシタ	代ツテ
正 フラタル	コトデハ
正 アレガ如キ	鞏固ナル人ガ
	代ツテ

